

目次

晴ヶ丘老人ホーム	1
はるが丘介護支援センター	11
はるが丘デイサービスセンター	16
グループホームはるが丘	23
三沢老人ホーム	30
三沢介護支援センター	38
松園ケアラウンジ・スカイ	44
松園デイサービス・スカイ	51
松園グループホーム・スカイ	58
栄町ぬくもりの家	65
栄町コラボケアセンター	73
三沢訪問看護ステーション	80
ホームヘルプステーション青空	86
訪問入浴サービスステーション青空	91
岡三沢ぬくもりの家	96
岡三沢コラボケアセンター	103
松原ぬくもりの家	110
松原コラボケアセンター	117
シニアライフ大津	124
三沢デイサービスセンター	131
障害多機能型	138
障害相談	145
障害GH	151
大町児童デイサービスセンターひかり	155
堀口児童デイサービスセンターひかり	160
緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり	166
世田谷希望丘ホーム	171
世田谷希望丘ホームショートステイ	179
都市型軽費老人ホーム トラスト希望丘	185
世田谷希望丘コラボケアセンター	191
ソーシャルワークセンター	197
親子安心ネットワーク・みさわ	201
ウィメンズライツみさわ	203
共同参画フォーラム「ユアサイド」	204
無料定額宿泊所	205
居住支援法人	210

晴ヶ丘老人ホーム 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・(一般型特定施設入居者生活介護)養護老人ホーム ・介護保険法：指定(介護予防)特定施設入居者生活介護事業所 ・老人福祉法：養護老人ホーム 第十七条第一項に基づく	
創 設 昭和43年4月 晴ヶ丘ホーム創設(楽晴会が創立し最初に創設された施設) 平成29年6月1日に介護保険法「(介護予防)特定施設入居者生活介護」取得	
住 所	青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字堀切沢 59 番地 54
連絡先	0176-53-2481
定 員	70 名
入居対象者	環境上の理由や経済的理由により在宅で生活していくことが困難な65歳以上の方(入居は自治体の決定による、安定した生活を目指す入居施設)
入居可能地域	限定無し
営業日	年中無休 24 時間(生活活動時間 6:00～21:00)

《施設環境》

施設			
2 人部屋 23 室 一人当たり 7.40 m ²		4 人部屋 6 室 一人当たり 4.58 m ²	
静養室 21.69 m ²	食堂 178.20 m ²	浴 室 25.92 m ²	医務室 12.96 m ²
娯楽室 33.84 m ² (1 階)20.88 m ² (2 階)		面談室 23.40 m ²	寮母室 24.48 m ²
送迎用車両			
送迎・病院受診用車両：3 台			

《晴ヶ丘老人ホーム 基本方針》

処遇計画に基づき入居者の社会復帰の促進、自立のための指導及び訓練、援助を通じご本人の有する能力に応じて、意思決定及び人格を尊重し、自立した生活を営むことができるように支援します。また地域や家庭との結び付きを重視する運営をし、保健・医療・福祉サービスとの連携を図ることで、お客様が安心して生活できる環境を整えます。

人権擁護、虐待防止のための体制整備及び研修の実施により職員の資質向上を図ります。

1【重点目標】

目標	結果
経営基盤の安定した施設づくり ・稼働率の安定 ・改築計画構想案	3【本年度の利用状況の報告】の通り、措置者減・稼働率低下のまま年度を終え今期は特に不安定な経営状況であり未達成、養護老人ホームの存続についてMR等の議題として継続し検討している
入居者主体の施設づくり ・自治会の機能向上 ・苦情・要望・満足度の調査検討や公表体制整備	4【主なサービスメニュー】(1)施設介護サービスに記載の通り お客様の声 8 件(不満 5 件、満足 3 件、苦情 1 件) 満足度調査は未実施 機関紙にて公表に留まる(HP 活用は検討中)
地域に開かれた施設づくり ・地域との交流 ・災害時連携強化	・地域美化活動(5 月・8 月) ・ボランティア受入れ (定期 2 名、不定期 1 名、行事 9 名) ・地域活動団体との交流(4 団体) ・大曲小学校へ手縫い雑巾寄付(120 枚) ・晴ヶ丘拠点防災協力員 8 名の協力を得て災害時訓練を実施
職員が幸福を感じる施設づくり ・個人目標の取り組みとケアの質の向上 ・生産性向上委員会の取り組みによる職員満足度向上	・各職種別研修実施によるスキル向上、個人目標が施設運営における役割において発揮され、質の高いサービス提供へと繋がるような取り組みを実施した ・研究活動は「生産性向上とは∞～引き算の介護でいきいきとした暮らしを～」の取り組みで、法人内研究大会審査員長賞受賞(同大会で職員優秀賞 1 名受賞)

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	228,492,476.00	223,451,754.00	213,568,291.00
経費合計	74,698,752.00	72,803,431.00	72,623,524.00
差引収益	153,793,724.00	150,648,323.00	140,944,767.00
総時間	64,847.00	66,759.69	66,867.69
時間当り	2,371.60	2,256.60	2,107.80

3【本年度の利用状況の報告】

《利用者》 定員						
利用者年齢	平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
68 歳～98 歳	83.2 歳	24 名	29 名	10 名		
《利用区分》						
介護保険	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
	0 名	0 名	11 名	12 名	2 名	3.68
お客様 ADL		自立歩行 12 名 手介助 1 名 杖・歩行器歩行 17 名 車いす 26 名				
年度の終結		総数 17 名内訳：転居(他施設入居)5 名、死亡 9 名、3 ヶ月入院 3 名				

・利用状況

《入所状況／人》 営業日数 366日													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
措置入所	58	57	55	56	56	55	54	54	53	53	52	51	54.5
契約入所	1	1	1	1	2	3	4	4	3	3	2	2	2.3
緊急時ステイ				1	1								
《費用徴収基準月額》													
0～8,000	～10,000		～30,000		～50,000		～70,000		～90,000				
15	3		15		12		5		1				

4【主なサービスメニュー】

(1)施設介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
お客様の自主性・主体性を尊重した生活支援	自主性を尊重した活動「木いちごサロン」の活性化／地域貢献活動(1回)、外部資源の活用(2回)サロンメンバーに留まらず、多数のお客様が自主参加を希望するなど意欲向上に繋がった
安心・安全・快適な生活環境の提供	・事故防止委員会活動のヒヤリハットやリスク予知の対策について周知機能改善の実施 ・お客様のADLに合わせた居室替えの必要時には多職種と協議し対応・評価を実践
個別ニーズを反映した支援及び介護の提供	生活改善の取り組みとして各係(食事・入浴・排泄)を設け改善体制を整え活動／グループ会議にて情報共有し課題については会議で検討し、全職員に周知し提供

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)		
配置医師との医療連携	配置医師の齊藤聡医師(三沢市立三沢病院)が第 2・4 水曜日 12：15～13：30 に往診、指示を受けた必要な処置等を行う 入居者 42 名の健康管理、療養上の指導及び施設の保健衛生の管理指導		
看取り	精神面ケアを中心に、指示点滴、麻薬管理等の実施 8 名のお看取り実施		
配置医師以外の受診状況			
三沢市立病院	高松病院	おおぞらクリニック	あいざわクリニック
十和田中央メンタル	岡三沢診療所	平山皮膚科医院	むつみ眼科
石要歯科	小松ヶ丘歯科医院	第二黒田歯科	福田眼科医院
サイトウ整形	さいとう耳鼻科	得居泌尿器科	鳴海医院

・入居者の状況

既往症				
高血圧	うつ病	心筋梗塞	狭心症	認知症
慢性心不全	脳動脈瘤	統合失調症	糖尿病	乳癌術後
甲状腺機能低下症	聴覚障害	不整脈	大腸癌術後	人工肛門
胃癌	脳梗塞後遺症	関節リウマチ	パーキンソン病	肺癌術後
脳出血後遺症	慢性閉塞性肺疾患	非定型抗酸菌症	膵臓癌	てんかん
大動脈弁狭窄症	視覚障害	尿閉(尿バルーン)	一過性脳虚血発作	肝臓癌
知的障害	大腸癌(術後含む)			
《上記に必要な処置等の状況》				
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布、褥瘡処置	浣腸、排便	
疼痛管理	劇薬管理	点滴管理	採血	
点眼	在宅酸素療法管理	インスリン補助	バルーンカテーテル管理	
ストーマケア	喀痰吸引			

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)
フレイル・サルコペニア対策	・晴ヶ丘いきいきクラブ 令和 6 年 5 月立ち上げ、1~2 週間に 1 回の頻度で集団体操や屋外歩行、ラジオ体操の促し等を行った クラブ活動回数: 33 回 (うち六戸町社会福祉協議会出前講座依頼: 4 回 ボッチャ、任天堂 switch e スポーツ)

	・二階のお客様を対象に年 2 回の頻度で筋力(握力)、身体機能を歩行速度、立ち上がりテスト、Timed up and go test の 4 項目で評価(下表参照) 評価の結果、サルコペニア・フレイル該当なし+1 名 予備軍-3 名、該当者+1 名となった／加齢や疾病による体調変化の影響もあるがクラブ活動を通じて比較的身体機能面の維持・向上を図れた	
評価結果		
評価日(対象者人数)	R6 年 7/23～26(24 名)	R7 年 1/28、2/24～25 (23 名)
サルコペニア非該当	4 名	5 名
予備軍	10 名	7 名
該当者(転倒リスク↑)	10 名	11 名
特定施設生活介護 25 名の個別機能訓練計画書作成(3 カ月に 1 回見直し)	歩行状態や起居移乗動作など日常生活の中で付き添い、見守りしながら評価、日常的に行っている動作を生活リハビリとして取り組めるよう介護支援員と連携し、練習内容を計画して取り組んだ	
上記で行っている訓練内容		
歩行練習	関節可動域練習	離床機会の確保・座位保持練習
筋力強化・維持練習	リラクセーション・ストレッチ	集団体操参加促し
立位保持・バランス練習	車いす自操練習	移乗練習
口腔体操	介助時協力動作の促し	体位交換・ポジショニング
更衣動作練習	IADL 練習	その他(歩行器使用促し等

(4)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
日常生活上の困りごとやご家族の心配等含め、生活相談員が必要な相談やその他の援助	・各自治体措置担当者、各部署、各関係機関との連絡調整/選挙権行使の援助/事故等の対応 ・入所者の収入申告、確定申告等諸手続き ・金銭に関する助言、指導や返済計画等による債務整理援助/成年後見人制度利用援助 ・住宅家財整理等援助
相談件数	17 件
その他活動	ボランティア受入れ調整/地域資源との交流調整/苦情他
緊急対応	虐待ケース保護等に関する申請書手続き

(5)食事サービス

取り組み		実施内容	
食事サービス		年2回の顧客満足度調査の結果をもとに、食事に関する要望や改善点を栄養士へ報告し、食事サービスの満足度向上に努めている	
行事食		季節や行事に合わせ、旬の物や習わしを取り入れた食事を提供 お花見弁当、端午の節句、七夕、土用の丑、納涼祭、お盆、敬老会、選択メニュー(主食の選択メニュー)、冬至、クリスマス、元旦、春の七草、新年会、バレンタイン、ひなまつり	
栄養管理の状況(年間平均)			
	リスク割合(%)	主なリスク要因	
低リスク者	40.7%(昨年度比較：11.8%減)		
中リスク者	53.7%(昨年度比較：10.4%増)	BMI18.5 未満、体重減少率、血清アルブミン値、食事摂取量 75%以下、HbA1c6.5 以上等	
高リスク者	5.6%(昨年度比較：1.4%増)	褥瘡、ターミナル期、在宅酸素等	
給食管理の状況(年間平均)			
食 種	常 食	きざみ食	ムース食
食種割合(%)	61.1%(昨年比：4.2%減)	25.9%(昨年比：3%増)	13%(昨年比：1.2%増)

(6)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策(十和田)(13)
5	美化活動(六戸町)(6)、大曲小学校運動会(2)、スイーツバイキング(57)
6	ドライブ散策(三沢市・八戸市)(7)、みさわフラ愛好会チャリティー鑑賞(3)
7	納涼祭(56)
8	買い物散策(10)
9	敬老会(57)
10	ランチ散策(12)、秋の収穫祭(57)
11	ミニ運動会(57)
12	忘年会(57)
1	新年楽しもう会(55)、なべこ団子作り(55)、新春リサイクルフェア(20)
2	節分(56)
3	ひな祭り(54)
月	施設計画(行事以外)
8	総合避難訓練
7	ボイラー点検

11	総合避難訓練 消防設備点検
12	貯水槽清掃 水質検査
1	消防設備点検

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
拠点会議	月 1 回	施設長、各部門責任者、主任
職員会議(安全衛生含む)	月 1 回	施設長補佐、部門責任者、主任、参加可能な範囲
介護・看護会議	月 1 回	施設長補佐、主任、計画作成担当者、各リーダー、介護職員
グループ会議	月 1 回	グループリーダー、グループ担当介護職員
給食会議	月 1 回	施設長、給食部門責任者(栄養士)、調理員
事故防止委員会	月 1 回	委員会組織図メンバー
身体拘束適正化委員会	年 4 回	委員会組織図メンバー
高齢者虐待防止委員会	年 4 回	委員会組織図メンバー
褥瘡予防委員会	月 1 回	委員会組織図メンバー
感染(食中毒)対策委員会	年 4 回	委員会組織図メンバー
生産性向上委員会	年 6 回	委員会組織図メンバー
安全衛生委員会	月 1 回	拠点委員会組織図メンバー

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
通報訓練	4/30、1/20
地域交流	納涼祭 7/26(ボランティア様 9 名)、地域防災 6/24、10/22 他：重点目標(3)に記載
こども宅食	開催時 2 名参加

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	主任生活相談員 1 名	生活相談員 1 名	計画作成担当 1 名
主任支援員 1 名	支援員兼介護職員 18 名	看護職員 2 名	理学療法士 1 名
管理栄養士 1 名	調理職員 5 名	その他 6 名	
目標	業務効率、生産性を高め支援員の減員を図る		
方法	生産性向上委員会の継続的業務改善と効果確認 ハウスキーパー業務の拡大と介護職員との連携強化		

(2)人員配置活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	主任生活相談員 1 名	生活相談員 1 名	計画作成担当 1 名
主任支援員 1 名	支援員兼介護職員 17 名(-1)	看護職員 3 名(+1)	理学療法士 1 名
管理栄養士 1 名	調理職員 5 名	その他 6 名	
結果	支援員 1 名減(他事業所へ異動)、看護師 1 名増(長期療養中の補充)		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
実施の法定の研修	(4)の研修年間表 内部研修に記載
人材育成の取り組み	キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導担当の配置と各種研修参加支援 キャリアラダー推薦 2 名
技能実習生	介護技術を学びながら日本語のレベルアップ(日本語能力検定合格)を目標に就業介護初級試験合格 2 名、N2(日本語能力検定)合格 1 名

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 13 名	主事 5 名	介護支援専門員 2 名	防災士 2 名
看護師 3 名	准看護師 1 名	理学療法士 1 名	管理栄養士 1 名
調理師 3 名	青森県災害福祉支援チーム員登録 2 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護福祉士	2 名合格		
第二種衛生管理	1 名合格		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	11/29 2/20
ハラスメント防止啓発活動	2/20
倫理・法令遵守に係る研修	4/23

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	社是・経営理念・品質方針 倫理及び法令遵守	全員
	口腔ケアの必要性について【介護部門】	全員
	非常時の対応について【給食部門】	全員

	記録システム勉強会【介護部門】	全員
	排泄用品(イワツキ)について【介護部門】	全員
5	権利擁護(高齢者虐待防止・成年後見制度)について	全員
	看取りの研修会【介護部門】	全員
	生産性向上について【介護部門】	全員
	ノーリフティングケアについて【介護部門】	全員
6	身体拘束廃止について(スピーチロック)	全員
	夏場の食中毒と衛生	全員
	介護技術(排泄介助・陰部洗浄)【介護部門】	全員
	レジリエンスについて(安全衛生委員会)	全員
	自然災害 BCP 訓練	18 名
7	事故発生防止について	全員
	ノーリフティング(基本の動き・福祉用具)【介護部門】	全員
	感染症予防(スタンダードプリコーション・手指衛生)	全員
	食中毒の予防訓練【給食部門】	4 名
8	急変時の対応について アンガーマネジメントについて	全員
	疾病と治療食について【給食部門】	全員
9	褥瘡発生ゼロを目指して	全員
	個人情報及びプライバシー保護について	全員
	災害時のアクションカード使用訓練【介護部門】	5 名
10	自然災害 BCP 訓練(防災協力員参加)	20 名
	ストレスコーピングとは	全員
	感染症 BCP 訓練	12 名
	認知症ケアと理解【介護部門】	全員
11	感染症(インフルエンザ)について	全員
	介護現場に求められる接遇マナー【介護部門】	全員
	陰部洗浄の基本的知識・皮膚トラブルの陰部洗浄の仕方【介護部門】	全員
	ハラスメント防止研修	全員
12	感染症研修(吐物処理の方法) 高齢者虐待について	全員
1	リスクマネジメントについて	全員
	安楽な姿勢・基本的なポジショニング【介護部門】	全員
	冬場の食中毒と衛生について	全員
2	精神的ケア、心の病気について【介護部門】	全員
	ハラスメント防止研修	全員
3	職員間のコミュニケーションスキル向上について【介護部門】	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
5	介護職員の口腔ケアに対する知識・技術の習得	1
7	内部監査員養成1日コース	1
	令和6年度介護テクノロジー展&実践事例から学ぶ業務改善セミナー	2
	第4回介護ロボット・ICT機器展示・体験会	3
	メンタルヘルス講習会	1
8	介護施設における安全対策担当者養成研修	1
9	青森県認知症介護実践者研修	1
	令和6年度東北ブロック老人福祉施設大会・研究会	3
	防災フォーラムⅢ	2
10	令和6年度介護施設・事業所におけるハラスメント対策セミナー	1
	令和6年度看取り研修	1
	改定「介護保険における福祉用具の選定に判断基準」	1
	ノロウイルス食中毒予防講習会	1
	令和6年度「本人の意思を尊重した意思決定のための研修会 相談員研修会」	2
	安全運転管理者講習	1
	第73回青森県社会福祉大会	1
11	リスクマネジメント研究会	2
12	防火管理者	1
1	令和6年度自立支援総合研修～認知症・BPSDについて～	6
	介護職員の口腔ケアに対する知識・技術の習得 口腔衛生管理体制の研修会	1

はるが丘介護支援センター 令和 6 年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・介護保険法：指定居宅介護支援事業所の青森県指定「0272502030」事業所 ・老人福祉法：老人居宅生活支援事業(第五条の二)に基づいている	
開設日	平成 12 年 11 月 はるが丘介護支援センター開設
住 所	青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字堀切沢 59 番地 54
連絡先	0176-50-2121
定 員	介護支援専門員 1 名 35 件×2 人配置
利用対象者	要介護 1～5 の認定を受けた高齢者
利用可能地域	六戸町と近隣市町村
営業日	月～土 8：30～17：30 24 時間連絡体制を確保 必要に応じて利用者等の相談に対応

《施設環境》

施設		
相談室 11.17 m ²	事務所 14.49 m ²	展示室 12.42 m ²
車両		
2 台		

《はるが丘介護支援センター 基本方針》

QOL の向上をベースに人が生活を営み、住み慣れた地域で暮らしていけるよう自己決定や尊厳が確保された生活ができるよう対応できるようにする。

地域関係機関、多職種と連携を図り、地域で支えるケアプランの質を高める。

給付管理件数を伸ばし、安定した運営が行われるようにする。

1【重点目標】

目標	結果
検討事例研修会の企画開催 (年4回)参加	介護支援専門員、在宅介護支援センターの職員として、地域ケア会議への参加、介護支援専門員連絡協議会への参加、検討事例研修では事例提供し、他居宅の介護支援専門員、他事業所の多職種の方々から様々な意見を頂いた／地域高齢者の健康状態、社会資源の把握、サービス化された支援だけではなく「8050問題、経済的困窮、孤立、さまざまな依存症、ひきこもり、多重介護、ヤングケアラー等支援者や家族も含めた課題について今後も取り組んでいく
医療連携	訪問診療：六戸町1名、三沢市2名、訪問看護を利用し医療連携を図り、利用者の「人生を自分らしく生きること」「看取り」を支えることができた また、入退院時、医療連携室・病棟等との連携、退院後の方向性の情報共有、在宅復帰を目指し退院前のカンファレンス、家屋調査など実施、退院後の在宅生活を支えることができた

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	13,350,197.00	12,832,147.00	12,868,623.00
経費合計	2,549,384.00	2,596,147.00	2,592,091.00
差引収益	10,800,813.00	10,236,000.00	10,276,532.00
総時間	4,009.50	3,831.12	3,781.00
時間当り	2,693.80	2,671.80	2,717.90

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
60 歳代～100 歳代		84.5 歳	32 名	60 名	40 名		
《介護度》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
5 人	8 人	23 人	22 人	18 人	9 人	6 人	2.39
主な ADL		自立歩行 30 名 介助 11 名 歩行器 10 名 杖歩行 8 名 車椅子 33 名					
年度の終結		総数 32 名内訳：特養 5 名、永眠 11 名、入院後終結 3 名、GH2 名、老健 1 名、有料施設 2 名、包括 1 名、居宅変更 7 名					

・利用状況

《利用状況／人》												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケース数	76	75	79	77	80	80	84	85	83	80	80	78
総合/予防	14	16	15	14	13	13	13	13	13	13	13	14
常勤換算	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

4【主なサービスメニュー】

(1)居宅サービス

取り組み	実施内容(結果)			
居宅介護支援サービス	介護保険法を遵守したケアマネジメントを実施、利用者の権利に基づき、ご家族・他職種の意見等を含め居宅介護サービス計画を作成			
サービス担当者会議	サービス担当者会議 153 回(区分変更、更新、サービス変更、サービス追加主に福祉用具・短期入所)			
困難ケースの連携プロセス	虐待(疑いも含む)の場合、サービス事業所、家族等など⇒相談⇒地域包括、市区町村へ一報(事実確認・面談など実態把握)⇒関連サービスとの連携(再発防止)⇒サービスの調整・在宅サービスを支えた			
相談経路	直接相談 4 件、地域包括 29 件、以前利用していた家族 4 件、当会職員 3 件			
その他	地域包括とのケース会議 (年間 4 回開催) 介護支援専門員連絡会議 (年間 3 回開催)			
困難事例ケース				
重度認知症 1 名	高齢者世帯 4 名	虐待(疑い含む)3 名	経済的困窮 2 名	多重介護 1 名

(2)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
支援・受付月例会議	月 1 回	事業所内職員全員参加
拠点会議	月 1 回	事業所内職員 1 名参加
防災対策委員会	月 1 回	事業所内職員 1 名参加
安全衛生委員会	月 1 回	事業所内職員 1 名参加
身体拘束適正化・高齢者虐待防止会議	年 1 回	事業所内職員全員参加

(3)外部連携

団体	実施内容(結果)
県介護支援専門員協会研修	7/23 ヤングケアラー 9/27 課題分析標準項目を実施するために 10/8 アセスメントとモニタリングは多職種連携で 10/11 介護保険における福祉用具の判定基準
三沢ケアマネジャー連絡協議会	5/21 介護報酬改定についての情報共有 6/18 適切なケアマネジメント 7/16 ヤングケアラー 9/17 福祉用具の情報提供

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容(結果)
こども宅食事業参加	7/27 : 1 名参加
地域防災訓練	10/22 実施

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標		
管理者 1 名(主任介護支援専門員)	主任介護支援専門員 1 名	
目標	1 名増員で 3 名体制となることで特定事業所加算Ⅲを目指す	
方法	・ハローワークへの求人情報掲載、法人内職員の介護支援専門員取得等促進 ・地域包括、医療と信頼関係を維持・連携し顧客の集客に努める	

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)		
管理者 1 名(主任介護支援専門員)	主任介護支援専門員 1 名	
結果	採用できなかったが担当件数平均 35 件以上を維持することができた	

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
研修の参加	外部連携や研修などに参加できるようバックアップ 4【主なサービスメニュー】(3)や7【研修・人材育成】に記載

(2)資格取得目標

保持資格状況	
主任介護支援専門員 2 名	
目標の取得資格名	実施内容(結果)
資格所持済み	自己研鑽のため研修や事例検討会へ出席

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
倫理・法令遵守に係る研修	4/23
ストレスに折れないメンタルの作り方	6/17

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加数
4	(法)倫理及び法令順守、虐待委員会研修	全員
4	(法)身体的拘束適正化委員会研修	全員
5	権利擁護	全員
6	BCP 自然災害 読み合わせ机上訓練	全員
8	認知症ケア	全員
9	BCP 自然災害 シミュレーション訓練	全員
9	介護のプライバシー保護の取り組み	全員
10	介護のプライバシー保護の取り組み	全員
12	高齢者虐待について	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加数
6	県包括・在介協議会：高齢者施設について	1 名
12	地域連携における ACP 支援を考える	2 名
1	在宅医療・看取り	1 名

はるが丘デイサービスセンター 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・通常型通所介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業 ・介護保険法：指定通所介護事業所、指定介護予防・日常生活支援総合事業 ・老人福祉法：老人デイサービス事業	
開設日	平成12年11月はるが丘デイサービスセンター開設
住所	青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字堀切沢59番地54
連絡先	0176-50-2122
定員	25名
利用対象者	要介護1～5の認定を受けた方(予防：要支援者と65歳以上の方)
利用可能地域	六戸町 三沢市 おいらせ町
営業日	月～土 午前8時15分～午後5時15分

《施設環境》

施設		
居室(全 18 個室)13.64 m ² ～13.72 m ² 全室トイレ・洗面台付		
食堂・機能訓練室 81.81 m ²	事務所・休憩室 10.9 m ²	健康管理室 12.7 m ²
食堂 47.29 m ²	機能訓練室 35.94 m ²	静養室 6.21 m ²
事務所(相談室)4.96 m ²	浴室(特殊浴槽 1, リフト浴 1)	
送迎用車両		
リフト付き福祉車両 2 台、福祉車両 1 台		

《はるが丘デイサービスセンター 基本方針》

- (1)「自己選択」「自己決定」を重視したサービスで支援する。
- (2)働きやすい職場環境づくりに努める。
- (3)ご家族や地域とのかかわりを大切にする。

1【重点目標】

目標	結果
お客様満足度の向上	顧客満足度調査 2 回実施 7 月：満足 88% どちらともいえない 12% 不満 0% 12 月：満足 95% どちらともいえない 5% 不満 0%
経営目標の達成	登録者数名 45 名(3 月時点) 差引収益 67.7% 時間当り 2,032.3 円

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	40,967,645.00	38,973,806.00	36,967,612.00
経費合計	12,269,665.00	12,501,784.00	11,955,160.00
差引収益	28,697,980.00	26,472,022.00	25,012,452.00
総時間	13,993.04	13,722.83	12,308.00
時間当り	2,050.90	1,929.00	2,032.30

3【お客様の現況】

《利用者》 定員 25 名						
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》	
60 歳代～100 歳代		85.0 歳	14 名	31 名	19 名	
《利用区分》						
総合事業	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
5 人	10 人	15 人	10 人	4 人	1 人	2.24
お客様 ADL	自立歩行 11 名 手介助 1 名 歩行補助具(杖他)歩行 15 名 車いす 18 名					
年度の終結	総数 23 名内訳：転居(他施設)11 名、永眠 7 名、他サービス切替等 5 名					

・利用状況

《利用状況／人》													
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
稼働日	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	26
利用数	427	433	405	416	412	374	359	367	370	351	371	375	388
日平均	16.4	16.0	16.2	15.4	15.3	14.9	13.3	14.2	14.8	14.6	15.5	15.0	15.1
《費用徴収基準月額》 ※食費 1 日あたり 520 円													
0～8,000	～10,000		～20,000		～30,000		～40,000		～50,000				
15 人	8 人		18 人		4 人		0 人		0 人				

4【主なサービスメニュー】

(1) 通所介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
6ヶ月毎のモニタリング	通所介護計画書をもとにサービスを展開
疾患別ケア	車椅子 18 人 麻痺 8 人 認知症による行動障害 10 人 不安愁訴 9 人
処遇計画に多職種の視点 で計画・実施・評価	個別ニーズを反映した支援及び介護の提供のため、生活改善の取り組みとして各係(食事・入浴・排泄)を設け改善体制を整え活動、検討課題については会議で検討し、全職員に周知している

・1日の流れ

AM	メニュー	PM	メニュー
～10:00	送迎	～13:30	静養・余暇
～10:30	血圧・体温・体調チェック	～14:30	体操、機能訓練
～11:30	余暇・趣味、機能訓練、入浴	～15:30	レクリエーション、おやつ
～12:30	昼食、口腔ケア	15:30～	送迎
午後のアクティビティ			
個別：クラフト制作、塗り絵、手芸、トランプ、オセロ			
個別：脳トレ(毎日)お客様のご要望に合わせて提供(計算・間違い探し・クロスワードパズルなど)			
団体：体操(毎日)、輪投げ・的当て・バグゲーゲーム・魚釣り・DVD鑑賞など、散策、季節行事			

(2) 医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)		
体調管理	体調管理(バイタル測定)		
処置	服薬管理、医師の指示のもと患部処置		
既往症			
脳梗塞		脳出血	心疾患
骨折		高血圧症	消化器系疾患
レビー小体型認知症		アルツハイマー型認知症	皮膚疾患
脳血管性認知症		骨粗鬆症	その他

(3) 機能訓練サービス

項目	実施内容(結果)
機能訓練	機能訓練指導員(看護師兼務)と PT により評価、計画、実施

訓練内容		
歩行練習・平行棒内歩行	筋力・移乗能力の維持	座位保持練習
筋力強化・維持練習	骨盤の後傾位改善	生活習慣の改善
角度維持・バランス練習	車いす自操、上肢機能維持	歩行器練習

(4)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援	お客様やご家族の介護・生活上の悩み等の相談に生活相談員や職員が応じている
担当者会議	年間 52 件

(5)食事サービス

取り組み	実施内容			
食事サービス	年 2 回の顧客満足度調査の結果をもとに、食事に関する要望や改善点を栄養士へ報告し、食事サービスの満足度向上に努めている			
行事食	納涼祭メニュー(7/26)		敬老会メニュー(9/17～19)	
	ひな祭りメニュー(3/3)		選択メニュー(7/24、10/30)	
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース	経管栄養
食種割合(%)	84.5%	11.1%	2.2%	2.2%

(6)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策(下田方面)(37)
5	はるデイ Café(18)、音楽クラブ(9)
6	ドライブ散策(上北道の駅)(33)、音楽クラブ(9)
7	納涼祭(17)、音楽クラブ(9)
8	夏遊び(11)
9	敬老会(44)、音楽クラブ(6)
10	バグゲーゲーム(24)、音楽クラブ(10)
11	はるデイ Café(42)、音楽クラブ(8)、あすなろコーラス来所(9)
12	クリスマス会(29)、音楽クラブ(10)
1	小正月行事(14)
2	節分行事(16)、音楽クラブ(9)
3	ひな祭り&はるデイ Café(16)
	施設計画(行事以外)
5	消防立入検査 5/21 ボイラー保守点検 5/13

7	内部監査 7/12	顧客満足度調査
8	職員腰痛検査	職員健康診断 8/26
9	職業体験(七百中学校 3名)	9/9、10
10	地域防災(拠点)	10/22
11	消防立会い避難訓練(拠点)	11/14
12	ボイラー保守点検 12/20	顧客満足度調査
2	通報訓練(拠点)2/3	職員腰痛検査
3	避難訓練(11)	3/19

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
拠点会議	月 1 回	施設長、各部門責任者、主任
職員会議	月 1 回	全職員
感染対策委員会	年 4 回	委員会組織メンバー
事故防止委員会	月 1 回	委員会組織メンバー
身体拘束・高齢者虐待防止委員会	年 4 回	委員会組織メンバー
安全衛生委員会	月 1 回	施設長、委員会メンバー
事業継続計画委員会	年 2 回	委員会組織メンバー
防災対策委員会	年 3 回	委員会組織メンバー

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
雑巾寄付	大曲小学校へ雑巾寄付(拠点)7/19
こども宅食	5/25、7/27、9/20、11/30、3/29

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標	
管理者 1 名(相談員兼務)	生活相談員 2 名(介護兼務)
介護職員 5 名(専従 4 名・兼務 1 名)	看護職員 2 名(機能訓練兼務)
機能訓練指導員 2 名(看護兼務)	
目標	・サービス提供体制強化加算Ⅱ以上を取得することを目標とする ・職員を増員することなく業務の負担を軽減し、より働きやすい環境を整える
方法	・介護福祉士の資格取得を促進、または適切な人員配置の見直しを進める ・業務プロセスの改善と効率化を推進する

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)	
管理者 1 名(相談員兼務)	生活相談員 2 名(介護兼務)
介護職員 5 名(専従 4 名・兼務 1 名)	看護職員 2 名(機能訓練兼務)
機能訓練指導員 2 名(看護兼務)	
結果	・介護福祉士 1 名の資格取得と人事異動により加算要件を満たし、令和 7 年度からサービス提供体制強化加算 I を取得 ・ICT を活用した情報共有により申し送り時間を短縮、業務担当を明確にし、環境整備を徹底することで、利用者対応の時間を確保

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーを活用した職員のスキルアップ指導と本人の努力により、1 名 R1-3⇒R2 にキャリアアップ

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 5 名	社会福祉主事 1 名	介護職員初任者研修 1 名	看護師 2 名
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
社会福祉士 1 名	資格取得を目指し、計画的に研鑽を積んでいる		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月
倫理・法令遵守に係る研修	4
ストレスに折れないメンタルの作り方	スピーチロックについて
効果的なコミュニケーション	7
ハラスメント防止啓発活動	12
ハラスメント防止研修	2

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	(法)倫理及び法令順守／(法)身体拘束・高齢者虐待防止	全員
5	緊急時対応(法)高齢者虐待防止法について 管理者向け研修	全員 1 名

6	(法)感染症・食中毒の予防と蔓延防止／夏場の食中毒と衛生 ストレスに折れないメンタルヘルスの作り方 スピーチロック 褥瘡発生防止について	全員 〃 看護2名
7	効果的なコミュニケーション／(法)事故防止	全員
8	(法)事故防止・再発防止／緊急時対応 ソーシャルワークの取組みと理解 リキャップ針について	全員 2名 看護2名
9	(法)プライバシー保護	全員
10	接遇・マナー／(法)非常災害 BCP／ストレスコーピングについて リベラルアーツ研修	全員 1名
11	(法)感染症 BCP	全員
12	吐物処理について／(法)介護技術の向上(入浴他)／(法)高齢者虐待防止 感染者発生時の初動対応と感染拡大時の管理について	全員 看護2名
1	高齢者の健康管理(薬の副作用・褥瘡予防)／リスクマネジメントについて	全員
2	(法)認知症及び認知症ケア／(法)ハラスメント防止	全員
3	(法)災害時の対応	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
9	防災フォーラムⅢ	1名
3	バーセルインデックス評価研修／ごっちゃり研修(三沢市)	1名
6	介護施設における安全対策担当者養成研修	1名
7	社会福祉士援助技術Ⅰ応用編	1名

グループホームはるが丘 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・(介護予防)認知症対応型共同生活介護 ・介護保険法： 指定(介護予防)認知症対応型共同生活介護 ・老人福祉法： 認知症対応型老人共同生活援助事業(第五条の二)	
開設日	平成12年10月グループホームはるが丘開設
住 所	青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字堀切沢59番地54
連絡先	0176-50-2162
定 員	9名
利用対象者	要支援2又は要介護1以上の認定を受けた方で医師に認知症の診断を受けた事業者と同一の市町村に住んでいる方
利用可能地域	六戸町
営業日	年中無休 24時間 稼働時間：生活活動時間6:00～21:00

《施設環境》

施設	
居室(全個室)13.66 m ² (9室)	食堂 29.81 m ²
集会室①10.5 m ² ②8.25 m ² ③24.8 m ²	リビング 42.54 m ²
事務所(相談室)12.24 m ²	浴室 8.82 m ²
調理室 9.94 m ²	

《グループホームはるが丘 基本方針》

お客様が共同生活において家庭的な環境のもとで日常生活上の必要な介護、機能訓練を行う事により、お客様がその有する能力に応じ自立した生活を営むことができるように支援します。

1【重点目標】

目標	取り組みおよび結果
機能訓練(自立歩行の継続)	訪問リハスタッフと情報共有を行い歩行における個別の課題を抽出、個々に合わせたリハビリメニューを作成、毎日実施、歩行時間の増加として館内歩行をすすめ、シルバーカー等の福祉用具を使用しながら9名全員が歩行継続できている
GHにおける看取りのケアの充実	退居者3名のうち1名はGHで看取りを実施、ご本人やご家族の意向をくみ取りながらケアを実施、振り返りカンファを実施し良かった点、改善点を挙げ職員へ周知し次回へ活かす取り組みを行い、研修を通して最期を迎えるご本人やご家族との向き合い方を学んだ
生産性の向上	福祉の森タブレットを活用しお客様の日々の記録を入力、一元化し、ケアの合間に入力を行うことで記録時間の短縮を実現した

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	40,960,449.00	38,429,164.00	38,765,667.00
経費合計	8,316,194.00	7,630,843.00	7,937,792.00
差引収益	32,644,255.00	30,798,321.00	30,827,875.00
総時間	14,271.00	13,957.00	13,674.00
時間当り	2,287.40	2,206.70	2,254.40

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
60 歳代～100 歳代		91.8 歳	2 名	7 名	3 名		
《介護度》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 人	0 人	0 人	3 人	5 人	1 人	人	2.8
お客様 ADL		自立歩行 7 名 手介助 1 名 シルバーカー 4 名					
年度の終結		総数 3 名内訳：死亡 3 名					

・利用状況

《入居状況 月／人》												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
8.8	9	9	9	9	9	9	9	9	8.4	8.8	9	8.9
《利用料》 食費：1日1450円 居室代1日1000円												
～100,000	～120,000	～140,000	～160,000	180,000		～200,000						
0人	1人	6人	0人	2人		0人						

4【主なサービスメニュー】

(1)施設介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
施設サービス計画書	6カ月ごとに見直し 個々の活動参加と支援のため、ニーズに合わせ必要なサービスを柔軟に対応する
ケアカンファレンス	月1回開催 本人、ご家族の意向を踏まえて個々のニーズを捉えたケアプランを作成し必要な支援を検討、実施
改善活動 認知症ケア	対象のアルツハイマー型認知症のお客様について、これまでの生活歴、嗜好、性格、生活しているうえでの言動等をアセスメントし、本人の望む生活を実現できるよう職員全員で目標、支援内容を設定、ケア内容を統一することによりこれまでみられなかったご本人の言動や笑顔を引き出すことができた
アクティビティ	＜回想法をとりいれたアクティビティ＞ 唱歌、風船バレー、計算プリント、かるた、トランプ ＜生活歴や趣味、特技から残存機能を活用しているもの＞ お菓子作り、洗濯作業、裁縫、パズル、読書、書写 いずれかから毎日実施
行事	散策・季節行事・お誕生日会5回・お楽しみ会

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
協力医師との連携	阪中淳也医師(鳴海外科医院)が毎月1回往診 浅原歯科 年2回往診
医療連携	三沢訪問看護ステーションと医療連携 看護師の定期訪問(週1回) 24時間看護師と連絡がとれるよう体制を確保 訪問リハスタッフによる集団体操(月1回)
服薬管理	お客様の服薬管理、服薬後の経過観察、報告
看取り	退居者3名のうち1名はGHで看取りを実施、振り返りカンファを実施し良かった点、改善点を挙げ職員へ周知し次回へ生かす取り組みを行った

・利用者の状況

既往症	既往症	既往症
アルツハイマー型認知症	悪性新生物	高脂血症
脂質異常症	高血圧症	糖尿病
狭心症	白内障	貧血
脳梗塞	うつ病	肺炎
骨折	便秘症	片頭痛

≪上記に必要な処置等の状況≫		
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布
疼痛管理(頓服・湿布)	採血(通院)	点眼

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)	
機能訓練 (自立歩行の継続)	訪問リハスタッフと情報共有を行い歩行における個別の課題を抽出、個々に合わせたリハビリメニューを作成、毎日実施、歩行時間の増加として館内歩行をすすめ、シルバーカー等の福祉用具を使用しながら 9 名全員が歩行継続できている	
集団体操	作業療法士(三沢訪問看護ステーション)が月 1 回来所し集団体操を実施、上下肢運動、発声練習、手指運動実施、毎月 9 名参加できている	
制作活動	作業療法士が題材を準備し、介護スタッフがアクティビティとして実施／一つの作品をお客様全員で制作(12 月～1 月)	
個別リハビリ	個別の課題を抽出し作業療法士が個別リハビリメニューを作成、介護スタッフが余暇時間に実施、結果歩行の継続ができている	
訓練内容		
歩行練習	筋力維持運動	上肢機能維持
筋力強化・維持練習	柔軟体操	発声練習・口腔体操
角度維持・バランス練習		

(4)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)		
食事提供		・ 管理栄養士が献立作成と食材発注し、職員が調理し提供 ・ 季節毎にメニューを工夫		
行事食		イベントや季節行事のお膳、敬老のお祝い膳などを提供		
お楽しみ会		季節やなつかしさを感じられるおやつ作りをお客様と職員と一緒に調理、召し上がって頂いている		
栄養管理体制加算取得		月 1 回管理栄養士と話し合いを実施、食事について必要栄養量や困難ケース、衛生管理について助言、検討を行っている		
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース	ミキサー
食種割合(%)	77.8%	11.1%	0%	11.1%

(5)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加数
4	花見散策(館野公園)(9)書道クラブ(3) 誕生会(9)

5	園芸活動(7) 音楽クラブ(7) お楽しみ会(9)
6	音楽クラブ(3) 誕生会(9)
7	音楽クラブ(3) 習字クラブ(3) 納涼祭(晴ヶ丘拠点)(9) お楽しみ会(9) 七夕行事(9)
8	誕生会(9) 散策(七戸道の駅)(8) 音楽クラブ(3)
9	敬老会(9) 誕生会(9) 六戸まつり(7)
10	紅葉散策(7) お楽しみ会(9)
11	お楽しみ会(9) 誕生会(9) あすなろコンサート(3)
12	クリスマス会(9)
1	新年会(9)
2	節分(9) 誕生会(9) お楽しみ会
3	ひな祭り(9) お楽しみ会(9) ミニ運動会(9)
施設計画(行事以外)	
5	避難訓練 地域運営推進会議
7	地域運営推進会議
8	感染症 BCP 訓練
9	災害時 BCP 訓練 地域運営推進会議
10	地域防災訓練(災害時 BCP)(拠点) 避難訓練(図上)
11	総合避難訓練(拠点) 地域運営推進会議
12	感染症 BCP 訓練
2	通報訓練(拠点)
3	地域運営推進会議

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
安全衛生委員会(拠点)	月 1 回	施設長 施設内担当職員
拠点会議	月 1 回	施設長 施設長補佐 各部門責
職員会議	月 1 回	GH 全職員
サービス担当者会議	月 1 回	GH 全職員
栄養管理体制に係る会議	月 1 回	栄養士 所長
事故防止委員会	月 1 回	担当職員
感染対策委員会	年 4 回	担当職員
虐待防止委員会	年 4 回	担当職員
身体拘束適正化委委員会	年 4 回	担当職員
災害対策委員会	年 4 回	担当職員
地域運営推進会議	年 6 回	地域住民 六戸町職員 施設長 担当職員
入所判定会議(法人)	年 6 回	

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容(結果)
こども宅食事業参加	2 か月に 1 回開催(計 4 回参加)
地域防災訓練(晴ヶ丘拠点)	年 1 回 10 月に開催

6【職員状況】

(1)員配置目標

計画時の配置員と目標			
管理者 1 名	計画作成担当 1 名兼	介護職員 6 名	
目標	業務効率を推進し職員を増員しない		
方法	記録作業の改善		

(2)員配置の活動結果

年度末現在の配置員(結果)			
管理者 1 名	計画作成担当 1 名兼	介護職員 6 名	
結果	記録システムを活用し記録時間の短縮につながった		

7【研修・材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	法人階層別研修に参加

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 7 名	主事 2 名	介護支援専門員 1 名	
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
	新規資格取得なし		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
倫理・法令遵守について 経営倫理	4/30
ハラスメント防止	2/28
リスクマネジメント	3/10
プライバシー保護	9/30
ノーリフティング	5/28

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加数
4	(法)倫理及び法令順守／経営倫理／介護の魅力とは(伝達研修)	全員
5	ノーリフティング／(法)高齢者虐待	全員
6	(法)身体拘束適正化／レジリエンス／食中毒・衛生／皮膚トラブル・褥瘡ケア	全員
8	緊急時の対応／(法)感染症 BCP	全員
9	プライバシー保護／(法)災害時 BCP／みとり	全員
10	防火安全研修(伝達研修)／(法)リスクマネジメント・KYT／(法)災害時 BCP	全員
11	(法)虐待防止／(法)認知症について	全員
12	(法)感染症 BCP	全員
1	口腔衛生	全員
2	(法)ハラスメント防止	全員
3	リスクマネジメント／(法)身体拘束適正化／食中毒	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加数
6	スキンケア	1 名
9	認知症実践者研修	1 名
10	看取り	1 名
11	リスクマネジメント	1 名
12	感染対策	1 名
1	口腔衛生	1 名

三沢老人ホーム 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・指定介護老人福祉施設 ・介護保険法：介護老人福祉施設 ・老人福祉法：特別養護老人ホーム 第五条の三、第二十条の五に基づく	
創 設：昭和48年4月1日 当会2番目の施設として三沢市に創設	
住 所	青森県三沢市大字三沢字園沢156番地8号
連 絡 先	0176-54-2534
定 員	長期60名 短期11名 令和6年12月10日より短期11名から10名
入居対象者	要介護度3以上で65歳以上の方、特定疾患が認められた要介護度3以上の40~64歳以上の方、要介護1~2の特例措置該当の方
入居可能地域	定めなし
営 業 日	年中無休 24時間

《施設環境》

施設 (新)新施設 令和 6 年 12 月 10 日よりユニット個室			
(居室個室)13.68～14.04 m ² (70 室)		(個室基準 10.65 m ² 以上)	
介護課 20 m ² (新) —	機能訓練室 40 m ² (新)2 階ホール 16 m ²	浴室：脱衣 64 m ² (新)4 室計 89.76 m ²	医務室 34 m ² (新)18.01 m ²
スタッフ R 80 m ² ×2 (新)4 室計 93.61 m ²	ロビー20 m ² (新)相談室 5.4 m ²	厨房 49 m ² (新)107.26 m ²	事務所 32 m ² (新)21.76 m ²
宿直室 20 m ² (新)更衣室 2 室計 31.96 m ²	喫茶店 54 m ² (新)1 階ホール 16 m ²	食堂(ホール) 242.5 m ² ×2 (新)110.540 m ² ×7 ホール	
車両			
車両台数：3 台(入退居送迎 病院受診 在宅訪問 等)			

《三沢老人ホーム 基本方針》

改築に備えた人材教育と事業活動への参画

地域の福祉避難所施設としての体制強化と被災時受け入れ等を担う基盤構築

働きやすい職場環境作りの継続的探求

1【重点目標】

目標	取り組みおよび結果
人材の育成、資格取得の支援	ユニットリーダー7名の資格取得 R6年12月10日より新体制で実施
委員会活動見直し加算の取得	R6年介護報酬改定 新加算にむけた生産性向上委員会の設置 取り組み結果年度末の研究発表では最優秀賞受賞
自然災害BCP7 マニュアル浸透	マニュアルを活用した自然災害 BCP 訓練を年3回実施
離職率 10%以下 有給取得率 60%以上	離職者3名、離職率5% 有給取得率70.5% 取得日数585日、付与日数830日

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	313,344,243.00	318,040,881.00	308,715,626.00
経費合計	91,633,408.00	84,236,552.00	89,885,336.00
差引収益	221,710,835.00	233,804,329.00	218,830,290.00
総時間	83,035.00	86,594.00	85,147.59
時間当り	2,670.10	2,700.00	2,570.00

3【お客様の現況】

《利用者》 定員 60人							
利用者年齢		平均	男性		女性		《うち新規利用者》
60 歳代～100 歳代		86.8 歳	22 名		48 名		35 名
《利用区分》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 名	0 名	0 名	0 名	9 名	31 名	19 名	4.21
お客様 ADL		車いす 59 名 歩行器 1 名					
年度の終結		総数 35 名内訳：他施設入居 8 名、お看取り 24 名、入院後転院 3 名					

・利用状況

《入所状況／人》													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
入所	1,799	1,831	1,770	1,802	1,807	1,690	1,857	1,788	1,847	1,829	1,647	1,851	1,824.3
短期	276	309	310	333	294	238	276	310	245	250	221	290	314.6
《費用徴収基準月額》													
～30,000		～50,000		～70,000		～90,000		～130,000		130,000～			
6名		0名		12名		15名		18名		9名			

4【主なサービスメニュー】

(1)施設介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
ケアカンファレンス	6 カ月毎に更新、状態変化時は適宜カンファレンス実施 長期入居者に対して年 2 回以上の実施
生産性向上委員会設置 協力医療連携の取り組み	新加算取得 三沢市立病院と令和 7 年 1 月 30 日協定契約し次年度の取り組みのための会議の検討を実施する ※協力医療機関と連携・感染症対応 協力医療機関・配置医師との医療連携 協力医療機関連携会議 第一回 3 月 13 日開催
多床室からユニットケア	新施設にて 12 月 10 日よりユニットケア対応実施

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
配置医師の処置	毎週 水曜日午後診療
状態変化時には昼夜問わず都度、医師に連絡し指示を受ける体制	家族の希望を医療側に伝える事で必要に応じた処置検討を促す役割、各医院への紹介状依頼、救急搬送後の情報提供 ※下表に処置の状況記載 末期や必要時は回診時に指示受ける
劇薬など薬の管理	医務室管理庫で看護師が管理
看取り	精神面ケアを中心に、指示点滴、麻薬管理等の疼痛コントロールの実施： 24 名のお看取り実施

・入居者の状況

既往症	既往症	既往症
レビー小体型認知症	アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症
脳梗塞	脳出血	誤嚥性肺炎
混合型認知症	パーキンソン病	悪性新生物
その他(高血圧症、骨粗鬆症等)	甲状腺機能亢進症	心不全
慢性腎不全	糖尿病	
≪ 上記に必要な処置等の状況 ≫		
バイタルチェック	内服管理、投与	軟膏塗布
疼痛管理(頓服・湿布)	劇薬(抗精神病薬)管理	点滴管理
浣腸,摘便	採血	点眼
膀胱留置カテーテル管理	軟膏塗布、褥瘡処置	在宅酸素療法管理
血糖測定	インスリン	CV ポート管理
褥瘡処置	麻薬管理	

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)	
・ADL(改善項目：整容、移乗、トイレ動作)能力改善 ・個別機能訓練計画書の作成・更新・LIFE 提出	・Barthel Index(トイレ動作)改善 4 名(全介助から一部介助) トイレ動作の改善については建て替えによる環境整備の影響が大きい、トイレ環境が整備されたことで、本来有していた身体機能、基本動作能力を活用することが可能となったことが要因 ・その他 Barthel Index 評価項目に数値上の変化なし ・多職種連携による個別機能訓練計画書の作成(3 ヶ月に 1 回の頻度で更新) ・LIFE フィードバックの活用	
改善活動	・外部 ST と多職種との連携促進、強化 ・LIFE を活用した取り組み(ADL 維持・改善、褥瘡予防)	
訓練内容		
起居動作練習	起立・着座練習	移乗動作練習
座位・立位バランス練習	歩行練習(平行棒)	応用歩行練習
関節可動域運動	シーティング	ポジショニング評価・指導
移乗介助方法の評価・指導	各 ADL 介助方法の指導	摂食・嚥下評価(外部 ST と連携)

(4)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
入居者又はそのご家族様からの相談	お客様の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者又はそのご家族様からの相談に応じるとともに、必要な助言その他の援助を行う
相談件数	・ 入所者との入所契約 35 名(うち家族との代理契約 35 名) ・ 意思確認等のケースワーク 8 件 ・ 入所希望者家族との面談 39 名 ・ ケースカンファレンス 4 月～3 月 128 件
その他活動	居宅ケアマネからの相談、医療機関地域連携室からの相談(医療行為にどこまで対応できるか等)を受け、受け入れ可能であれば繋げていく
在宅復帰支援	医療機関退院後の在宅復帰困難に伴う施設短期入所者に対し多職種連携によるアプローチにより在宅復帰へ繋げるサービスを展開、今年度はロングショート利用者 1 名が在宅復帰
緊急ショート対応	ネグレクトや虐待等による在宅生活困難者に対する緊急ショートでの受け入れ体制を整え退所後を想定し、医療機関・他施設・在宅等、退去調整のソーシャルワークを展開、実績として 5 名の緊急受け入れを行っている

(5)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)			
新調理方にて給食部門の働き方改革		12月より調理員の勤務時間 1.5 時間短縮　日中集中型 朝 6 時から夕 19 時 1 朝 7 時から夕 18 時勤務			
ムース食導入の検討		刻み食を廃止し、ムース食へ変更し、ムース食を全て既製品から一部手作りへ変更			
残渣量の減少		23 年度の月残渣平均 2.94kg、24 年度の月残渣平均 2.99kg で削減は出来ていない(新施設移行後は残渣集計を行っていない為、11 月までの平均)			
食事形態					
食種	常食	一口大	ムース	ミキサー	経管栄養
食種割合(%)	17.7%	26.5%	33.8%	8.8%	13.2%

(6)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策(30)
5	オープンカフェ(40)
9	敬老会(60)
11	新嘗祭(59)
1	セフィロ／そよ風(30)
施設計画(行事以外)	
4	消防立ち入り検査
6	総合避難訓練、消防設備点検
9	防災訓練(BCP)
10	三沢市合同訓練 (BCP 防災、福祉避難所)
12	図上訓練(消防来所)、消防設備点検
3	防火図上訓練

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
感染・褥瘡・喀痰吸引委員会	月1回	拠点長、各事業所看護職員
安全衛生委員会	月1回	拠点長、法人安全衛生委員会委員
事故防止委員会	月1回	拠点長、担当職員
虐待防止・身体拘束委員会	月1回	拠点長、担当職員
給食委員会	月1回	拠点長、担当職員
看取り委員会	月1回	拠点長、担当職員
防災委員会	月1回	拠点長、担当職員

生産性向上委員会	月 1 回	拠点長、担当職員
拠点職員会議	月 1 回	全職員対象

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
地域交流	市内関連企業、地域住民から出る古新聞等を回収し施設にてリサイクル
こども宅食事業参加	ボランティアコーディネーター1名配置、3月登録者数36名 三沢市ボランティア連絡協議会、第1・2回理事会出席、総会及び研修会出席
ボランティア受入れ	ボランティア活動相談、登録受付、保険加入手続き、活動日誌回収及び活動集計 会員証明書発行、施設地域との連携の会議等に参加 カットボランティア 月1回 第1月曜日
その他活動	青森県 DCAT 石川県七尾市へ2名派遣(令和6年能登半島地震)

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者1名	介護支援専門員1名	生活相談員2名	理学療法士2名
看護師5名	介護福祉士30名	介護職員8名	管理栄養士1名
栄養士1名	調理職員5名	事務員1名	その他7名
目標	1ユニット介護職員5名定員での稼働 介護職員に関してはショート除く長期入居は2ユニット20名のお客さんを24時間・職員10名で対応(夜勤者7名)		
方法	ハローワーク・紹介会社		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者1名	介護支援専門員2名	生活相談員2名	理学療法士1名
看護師2名	看護職員3名	介護福祉士27名	介護職員9名
管理栄養士1名	調理員5名	栄養士1名	その他9名
結果	法人内異動4名 紹介会社3名 ハローワーク3名 10名の職員増 歯科衛生士・看護師採用無(看護業務に関してはオンコール対応検討) 介護職員 20名 喀痰吸引資格保持者 R7年4月より 夜勤職員配置加算算定予定		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
喀痰吸引職員の増員	夜勤配置加算取得と看護師のオンコール対応に向け、介護職員の喀痰吸引者 24 時間配置を目標とする、現在 20 名の介護職員が取得目標 R7 年加算取得
技能実習生の育成	介護技術を学びながら日本語のレベルアップ(日本語能力検定合格)を目標に就業介護試験合格 2 名、N3(日本語能力検定)合格 1 名

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 31 名	社会福祉士 4 名	介護支援専門員 3 名	防災士 3 名
看護師 2 名	准看護師 3 名	理学療法士 1 名	管理栄養士 1 名
調理師・栄養士 6 名	青森県災害福祉支援チーム員登録 2 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護福祉士	1 名合格		
喀痰吸引	5 名増 登録(合計 20 名)		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	4 月 9 日
倫理・法令遵守に係る研修	4 月 9 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	就業規則について 職業倫理(ハラスメント防止)について	14 名
4	給食 非常食の動きについて(BCP)	全員
5	(法)BCP 教育	14 名
6	(法)高齢者虐待防止について、身体拘束、事故防止、看取りの指針について 夏場の食中毒について	全員 7 名
7	コミュニケーションについて	20 名
8	(法)感染症対策 疾病と治療食について	30 名 7 名

10	(法)災害対策 BCP ISO リスクマネジメント(身体拘束、事故防止、虐待)	8 名
11	認知症研修 冬場の食中毒について	20 名 7 名
2	(法)事故防止研修 (法)感染症研修	20 名
3	口腔ケア研修	30 名

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
5	ユニットリーダー研修 実地研修	2 名
6	安全運転管理者講習 高齢者虐待支援 介護福祉士実習指導者講習会	1 名 1 名 1 名
7	認知症介護実践者研修	1 名
8	介護施設における安全対策担当者養成研修	1 名
9	ユニットリーダー研修 実地研修	1 名
12	ユニットリーダー研修 実地研修	1 名

三沢介護支援センター 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・介護保険法：指定居宅介護支援事業所の青森県指定「0272502030」事業所 ・老人福祉法：老人居宅生活支援事業(第五条の二)に基づいている	
開設日	平成4年3月1日三沢支援センター開設
住 所	青森県三沢市大字三沢字園沢 156-8
連絡先	0176-54-3933
定 員	介護支援専門員 1 名 35 件×3.8 人配置 管理者：主任介護支援専門員 1 名(同一敷地内施設長兼務)
利用対象者	要介護 1～5 の認定を受けた高齢者
利用可能地域	三沢市、上十三区域
営業日	月～土 8：30～17：30 24 時間連絡体制を確保 必要に応じて利用者等の相談に対応

《施設環境》※令和7年12月10日より新施設となる

施設		
相談室 15.75 m ² (旧) 4.58 m ² (新)	事務所 10.27 m ² (旧) 16.42 m ² (新)	展示室 47.2 m ² (旧) -
車両		
三沢介護支援 3 台、在介宅介護支援センター1 台		

《三沢介護支援センター 基本方針》

QOL の向上をベースに人が生活を営み、住み慣れた地域で暮らしていけるよう自己決定や尊厳が確保された生活ができるよう対応できるようにする。

地域関係機関、多職種と連携を図り、地域で支えるケアプランの質を高める。

給付管理件数を伸ばし、安定した運営が行われるようにする。

1【重点目標】

目標	結果
地域ケア会議参加 (定例会議の開催)	検討事例研修会の企画開催(年2回)介護支援専門員、在宅介護支援センターの職員として、地域高齢者の健康状態社会資源等の把握、サービス化された支援だけではなく8050問題、経済的困窮、孤立、さまざまな依存症、ひきこもり、多重介護、ヤングケアラー等支援者や家族も含めた課題についての検討会に参加し課題の抽出、新たな地域資源を発掘につなげる
医療連携	地域医療、在宅訪問診療所等医療連携、各関係機関との連携を図り、情報の相互理解ができ高齢者が継続的に住み慣れた地域で暮らすことを可能にする

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	24,373,379.00	26,635,395.00	26,439,916.00
経費合計	6,282,653.00	6,405,367.00	5,510,108.00
差引収益	18,090,726.00	20,230,028.00	20,929,808.00
総時間	9,715.00	8,092.00	7,866.00
時間当り	1,862.20	2,500.00	2,660.80

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
60 歳代～100 歳代		82.5 歳	44 名	81 名	68 名		
《介護度》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
4 人	6 人	39 人	38 人	22 人	12 人	4 人	2.2
主な ADL		自立歩行 45 名 手介助 12 名 杖歩行 7 名 車いす 37 名					
年度の終結		総数 25 名内訳：転居(他施設入居)15 名、死亡 8 名、3 ヶ月入院 2 名					

・利用状況

《利用状況／人》												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケース数	108	109	110	112	112	114	115	116	120	116	123	121
総合/予防	7	7	7	8	7	8	7	7	7	9	9	10
常勤換算	4.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8

4【主なサービスメニュー】

(1)居宅介護支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
居宅介護支援サービス	介護保険法を遵守したケアマネジメントを実施 介護支援専門員が利用者の権利に基づいて居宅介護サービス計画を作成する
サービス担当者会議	ケアマネジメント会議(週1回開催：年間46回開催) 施設内ケース会議 (年間3回開催) 病院内ケース会議 (コロナ感染対策の為、未実施) 地域包括とのケース会議 (年間4回開催)
困難ケースの連携プロセス	認知症等により在宅生活が困難な場合、DV(虐待)など⇒相談⇒地域包括、市区町村、ソーシャルワークセンターと連携し成年後見人制度利用等⇒各サービスの紹介
相談経路	直接相談、地域包括、病院等、福祉事務所、高齢者事業所、等
その他	寺子屋、家族介護者教室の企画開催支援(三沢在宅介護支援センター委託事業)
困難ケースの内訳	
認知症独居 1	高齢者世帯 2
虐待 0	後見人 0
	障害 2

(2)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
特定事業所加算定例会議	週1回	事業所内職員全員参加(在介含む)
職員会議	月1回	事業所内職員全員参加(在介含む)
拠点会議：安全衛生会議	年6回	三沢拠点内責任者
支援：LSA:在介会議	年2回	各事業所職員

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容(結果)
こども宅食事業参加	隔月開催(各回2名参加)
災害時訓練	年2回 6・10月に開催 地域民生員参加
クリーン作戦	4/6実施

6【職員状況】

(1)員配置目標

計画時の配置員と目標	
主任介護支援専門員 1 名	介護支援専門員常勤 3 名・パート 1 名
目標	特定事業所加算取得のため必要員の増強 要件主任介護支援専門員 1 名(現在拠点長兼務)その他介護支援専門員 3 名以上
方法	今年度 1 名の主任 CM 取得、ハローワーク他求人、研修会参加等で発信

(2)員配置の活動結果

年度末現在の配置員(結果)	
主任介護支援専門員 2 名	介護支援専門員常勤 2 名・パート 1 名
結果	今年度 1 名が主任 CM 取得したが、1 名の職員が退職となり 1 名増員するが配置職員数には変動なし、継続目標とする 有給取得率 76.5 日/付与日数 102 日 取得率 75%

7【研修・材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアアップ	キャリアラダーに沿って研鑽

(2)資格取得目標

保持資格状況			
主任介護支援専門員 2 名	介護支援専門員 5 名	介護福祉士 5 名	社会福祉士 2 名
訪問介護員 2 名	防災士 1 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護支援専門員更新	1 名更新		
主任介護支援専門員	1 名取得		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止啓発活動	令和 6 年 5 月

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加数
4	(法)倫理及び法令順守 就業規則について	全員
6	(法)BCP 教育研修	全員
6	高齢者虐待支援研修	全員
7	口腔衛生 リハビリテーション	全員
8	(法)BCP 防災活動	全員
10	合同事例検討会	全員
12	成年後見研修 適切なケアマネジメント手法	全員
1	ユニットケアについて	全員
2	多職種・医療連携研修	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加数
6	高齢者虐待防止研修会	4 名
8	地域防災活動と福祉施設との連携	1 名
10	排泄ケア・福祉用具の選定	3 名
10	意思決定支援について	4 名
11	障がい者の権利擁護と成年後見制度	1 名
3	口腔ケア研修	1 名

三沢在宅介護支援センター（三沢市委託事業）事業目標

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	2,630,340.00	2,724,200.00	2,810,740.00
経費合計	479,898.00	426,592.00	522,556.00
差引収益	2,150,442.00	2,297,608.00	2,288,184.00
総時間	1,223.00	1,602.00	1,463.00
時間当り	1,758.30	1,434.20	1,564.00

1【重点目標】

目標	結果
* 地域包括センターの協力機関として	地域の相談窓口として、福祉や介護の専門知識を有する相談員が、支援を要する高齢者や障害者の実態把握を通して多様化・複雑化していく地域住民のニーズを、地域包括支援センターと共有するし、課題解決に必要な資源開発や地域作り・社会基盤の整備を、地域住民や行政と協同・連携することで地域におけるケアシステムの構築を図る

2【活動内容】　　《三沢市からの在宅介護支援センターの年間の委託費 2,000,000 円》

取り組み	実施内容(結果)
調整ケース	サービス申請 3 件、包括と調整ケース 2 件
介護予防活動レクリエーション支援	介護予防活動寺子屋のレク支援活動レク支援等 前平地区 14 回、鹿中寺子屋 12 回 南山地区 12 回 泉町地区 1 回 東町地区 1 回
実態把握・ひとり暮らし調査	活動を通じ前年度 592,600 円実績、今年度も同金額以上見込 令和 6 年 実績 237 件(男性 59 件 女性 178 件)
家族介護者教室	年 4 回開催予定(一回 30,000 円)年間 120,000 円

第 1 回	6 月 18 日(火)	『フラワーアレンジメント』	13 名参加
第 2 回	8 月 27 日(木)	『ミニ巾着づくり』	11 名参加
第 3 回	10 月 22 日(火)	『郷土料理づくり』	10 名参加
第 4 回	12 月 17 日(火)	『未来ノート(A C P)学習とクリスマス会』	10 名参加

※家族介護者教室とは介護を行っている(行っていた)ご家族を対象に年 4 回、手芸や体験などを通じ介護生活のリフレッシュ、他者との交流、介護の勉強を図る集いです。

松園ケアラウンジ・スカイ 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・(介護予防)特定施設入居者生活介護 ・介護保険法：特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護 ・老人福祉法：有料老人ホーム(第29条に基づく)	
開設日	平成15年6月 松園ケアラウンジ・スカイ開設 平成15年6月 介護保険法「(介護予防)特定施設入居者生活介護」取得
住所	青森県三沢市松園町二丁目7番7号
連絡先	0176-57-5751
定員	18名
入居対象者	要支援・要介護認定を受けている方、特定疾患の40~64歳以上の方
入居可能地域	定めなし
営業日	年中無休 24時間、日中稼働時間:6:00~21:00(夜間も常駐)

《施設環境》

施設		
居室(全 18 個室)13.64 m ² ~13.72 m ² 全室トイレ・洗面台付		
食堂・機能訓練室 81.81 m ²	事務所・休憩室 10.9 m ²	健康管理室 12.7 m ²

《松園ケアラウンジ・スカイ 基本方針》

松園ケアラウンジ・スカイとして、 ① お客様満足 ② 職員の満足 ③ 地球温暖化対策 ④ 地域防災 についての取り組みを重点的に行い、人と環境、地域に優しい事業所として発展していけるように取り組んでいきます。

1【重点目標】

目標	取り組みおよび結果
お客様満足 「接遇心得」の浸透	・毎日朝礼時の「接遇心得」唱和 ・外部接遇研修への参加と内部研修の実施
職員の満足 「松園ルールブック(仮)」の活用	・職員一人一人に携行してもらい、いつでも見て確認できるように「松園ルールブック」を全職員に配布 ・新人や中途採用入職時にも配布し研修実施
地球温暖化対策 設備全面見直し	・未実施(空調設備、給湯設備(ボイラー)見積もり予算超えの為次年度へ持ち越し
地域防災 防災訓練と災害想定炊出し訓練	・地域協力員等合同防災訓練は 7/3・10/21 の 2 回実施、合同炊き出し訓練を 10/21 実施

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	85,701,641.00	84,269,570.00	80,424,762.00
経費合計	36,422,525.00	36,339,870.00	37,508,144.00
差引収益	49,279,116.00	47,929,700.00	42,916,618.00
総時間	26,637.36	26,335.00	24,101.00
時間当り	1,850.00	1,820.00	1,780.70

3【お客様の現況】

《利用者》 定員 18 名							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
50 歳代～100 歳代		89.4 歳	7 名	11 名	8 名		
《利用区分》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 名	0 名	1 名	6 名	3 名	4 名	4 名	3.22
お客様 ADL		自立歩行 2 名 手介助 0 名 杖・歩行器等歩行 4 名 車いす 12 名					
年度の終結		総数 9 名内訳：転居(他施設入居)1 名、死亡 8 名、入院等 0 名					

・利用状況

《入所状況／人》							
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	平均
入所	540	558	540	558	534	509	
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	535.9
入所	558	540	557	517	473	547	

《費用徴収基準月額》 ※食費 1 日あたり 1,445 円 ※居室費 1 日あたり 855 円						
～100,000	～120,000	～140,000	～160,000	～180,000	～200,000	200,000～
0 名	0 名	1 名	1 名	5 名	7 名	3 名

4【主なサービスメニュー】

(1)介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
施設サービス計画書	介護計画の立案、ケアマネがケアプラン作成し実施
サービス担当者会議	サービス担当者会議はお客様別に半年に 1 回以上開催し、年間約 36 回実施
行事・レク	毎月開催→22 回実施 ミニレク・外食・外出散策 1～2 か月に 1 回開催 サマーガーデン・敬老会・忘年会等の季節行事実施
個別支援	お客様やご家族希望による個別の外出支援等も実施

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
入居者の主治医との医療連携	協力医の三沢市立三沢病院、第二黒田歯科の他、主治医の岡三沢診療所、あいざわクリニック等と医療連携、サービスの提供中にお客様の病状等が急変、またはその他緊急事態が生じた時は、速やかに主治医又は協力医療機関に連絡、搬送する等の必要な措置を講じ、状況をご家族へご連絡する
看取り	精神面ケアを中心に、指示点滴、麻薬管理等の実施 8 名のお看取り実施

・入居者の状況

既往症	既往症	既往症
アルツハイマー型認知症	脳出血	脳梗塞
パーキンソン病	糖尿病	心疾患
潰瘍性大腸炎	全身性エリトマトーデス	大腸癌
乳癌	胃癌	その他(高血圧症、骨粗鬆症等)
《上記に必要な処置等の状況》		
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布、褥瘡処置
疼痛管理(頓服・湿布)	劇薬(抗精神病薬)管理	点滴管理
浣腸,摘便	採血	点眼
バルーンカテーテル管理	軟膏塗布、褥瘡処置	

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)	
ADL(改善項目：整容、移乗、トイレ動作)能力改善	外部の理学療法士月 1 回訪問により実施 機能訓練指導員(看護師)により実施	
訓練内容		
歩行練習	関節可動域練習	座位保持練習
筋力強化・維持練習	リラクゼーション・ストレッチ	棒体操等集団体操参加促し
立位保持・バランス練習	車椅子自操練習	移乗練習
嚥下機能練習	介助時協力動作の促し	体位交換・ポジショニング

(4)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援	お客様やご家族の介護・生活上の悩み等の相談に生活相談員や職員が応じる

(5)食事サービス

取り組み	実施内容(結果)			
食事の提供	日清医療食品の栄養士による栄養管理された食事の提供			
給食会議の開催	日清栄養士と毎月開催し、食事への要望等について意見交換			
行事食	行事・イベント食 月1回以上			
わくわくメニュー	お客様の希望に沿った毎月1回わくわくメニュー提供 計12回			
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース	栄養補助食品
食種割合(%)	66.7%	27.8%	27.1%	5.5%

(6)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	かっぱ寿司散策(9) お花見散策七戸方面(8)
5	グリーンデイ(地域住民 4)、お楽しみ会(16)
6	十和田湖散策(6)、白い森ケーキ散策(4)
7	サマーガーデンバーベキュー(18 名+地域住民 5 名)、マエダストア買物散策(2)
8	流しそうめん(8)
9	敬老会(16)、ゲーム大会(4)
10	種差海岸散策(6)、まるまつランチ散策(6)、ボウリング大会(10)
11	かっぱ寿司散策(7)、お楽しみ会(13)
12	忘年会・クリスマス会(18)
1	お正月行事(18)

2	節分豆まき大会(11)、運動会(15)
3	ひな祭り(18)、合唱レク(10)
	施設計画(行事以外)
7	総合避難訓練
10	総合避難訓練・炊き出し訓練
12	館内ワックスがけ 貯水槽清掃 水質検査

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
拠点会議	毎月	施設長、各部門責任者、リーダー
職員会議	毎月	全職員
事故防止委員会	毎月	委員会組織メンバー
給食委員会	毎月	施設長、各部門責任者、委員会メンバー
安全衛生委員会	毎月	施設長、各部門責任者、委員会メンバー
感染対策委員会	年 6 回	委員会組織メンバー
災害対策委員会	年 4 回	委員会組織メンバー

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
地域交流	5/10 グリーンデイ 7/12 サマーガーデン
こども宅食事業参加	年 6 回開催(各回 1～2 名参加)
地域清掃活動	4/21 3 名参加(駐車場及び近隣公園)
ボランティア受入れ	カットボランティア(不定期)
その他活動	職場体験受入れ(三沢市立第一中学校 2 名)

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	生活相談員 1 名	計画作成担当 1 名	看護職員 2 名
機能訓練指導員 2 名	介護職員 9 名	ハウスキーパー 1 名	事務職員 1 名(兼務)
栄養士(委託)	調理員(委託)		
目標	生産性向上を推進し、介護職員配置の見直し		
方法	・介護・看護・ハウスキーパー業務の見直し ・ICT 導入による間接業務の効率化		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	生活相談員 1 名	計画作成担当者 1 名	看護職員 2 名
機能訓練指導員 1 名	介護職員 8 名	ハウスキーパー 1 名	事務職員 1 名(兼務)
栄養士(委託)	調理員(委託)		
結果	・介護職員常勤 1 名減 ※シーツ交換等の間接業務をハウスキーパーへ移行 ※レクレーションを ICT 活用し、業務時間約 35 分減少		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	・キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導 ・外部研修参加支援 ・キャリアアップ チーム L⇒サブ L1 名 CW⇒チーム L の計 2 名ランクアップ
技能実習生の育成	日本語のレベルアップ(日本語能力検定合格)を目標にオンライン授業支援 現在 N2:1 名 N3:2 名

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 7 名	主事 2 名	介護支援専門員 2 名	看護師 1 名
准看護師 1 名	認知症実践者研修 3 名	認定特定行為 4 名	
青森県災害福祉支援チーム員登録 1 名			
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護支援専門員	1 名合格		
認知症介護実践者研修	1 名取得		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	12 月 26 日
ハラスメント防止啓発活動	毎月(安全衛生委員会)
倫理・法令遵守に係る研修	5 月 24 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
5	(法)倫理及び法令順守	全員
6	(法)身体拘束廃止／ユマニチュード／口腔ケア	全員
7	(法)高齢者虐待／感染症及び食中毒	全員
9	(法) 自然災害 BCP／災害発生時の対応	全員
8	(法) 感染症 BCP	全員
10	(法) 感染症 BCP／自然災害 BCP	全員
12	(法)ハラスメント／認知症／ターミナルケア／生産性の向上	全員
2	(法)身体拘束廃止／高齢者虐待防止／職場の安全衛生	全員
3	(法) 事故発生予防の KYT	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
6	高齢者虐待防止(三沢市福祉課)	1 名
8	身体拘束廃止／高齢者虐待防止(介護労働安全センター)	1 名
7	認知症介護実践者研修	1 名
11	感染症対策研修会	2 名
11	生産性向上研修	1 名

松園デイサービス・スカイ 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・通常型通所介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業 ・介護保険法：指定通所介護事業所、指定介護予防・日常生活支援総合事業 ・老人福祉法：老人デイサービス事業	
開設日	平成15年6月松園デイサービス・スカイ開設
住所	青森県三沢市松園町二丁目7番7号
連絡先	0176-57-5752
定員	18名
利用対象者	要介護1～5の認定を受けた方(予防：要支援者と65歳以上の方)
利用可能地域	三沢市
営業日	月～土 午前8時15分～午後5時15分

《施設環境》

施設		
食堂兼機能訓練室 85 m ²	静養室 8.1 m ²	相談室 5.7 m ²
脱衣室 16.4 m ²	浴室 23.6 m ²	
送迎用車両		
リフト付き福祉車両1台、福祉車両2台		

《松園デイサービス・スカイ 基本方針》

「お客様満足」「職員の満足」「地球温暖化対策」「地域防災についての取り組み」を重点的に行い、人と環境、地球に優しい事業所として発展していきえるように取り組んでます。

1【重点目標】

目標	取り組みおよび結果
お客様満足：「接遇心得」の浸透	毎日朝礼時に社是・経営理念・品質方針と一緒に「接遇心得」唱和
職員の満足：「松園ルールブック(仮)」の活用	職員一人一人に携行してもらい、いつでも見て確認できるように「松園ルールブック(仮)」全職員に配布し内部研修も実施
地球温暖化対策：設備全面見直し	空調設備、給湯設備、照明等が老朽化、光熱水費の高騰もある為全面見直し、補助金・リースも検討し、11月LED入れ替え工事实施、空調・給湯設備は次年度に見直し予定
地域防災：防災訓練と災害想定炊き出し訓練	・地域協力員等合同防災訓練は7/3・10/21の2回実施、合同炊き出し訓練を10/21実施

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	40,430,314.00	44,735,124.00	41,213,986.00
経費合計	15,869,717.00	18,379,080.00	18,193,320.00
差引収益	24,560,597.00	26,356,044.00	23,020,666.00
総時間	11,579.61	12,332.76	144,765.58
時間当り	2,121.00	2,137.10	1,590.20

3【お客様の現況】

《利用者》 定員 名						
利用者年齢	平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
60 歳代～100 歳代	82.7 歳	8 名	35 名	37 名		
《利用区分》						
総合事業	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
10 人	13 人	10 人	6 人	4 人	0 人	2.03
お客様 ADL	自立歩行 18 名 歩行器 5 名 杖歩行 14 名 車いす 6 名					
年度の終結	総数 22 名内訳：転居(他施設入居)9 名、死亡 11 名、対象外 1 名、その他 1 名					

・利用状況

《利用状況／人》													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働日	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	
利用数	421	435	416	412	447	429	454	433	407	380	405	402	420
日平均	16.2	16.1	16.6	15.3	16.6	17.2	16.8	16.7	16.3	15.8	16.9	15.5	16.3
《費用徴収基準月額》 ※食費 1日あたり 1,445 円 ※居室費 1日あたり 855 円													
0～8,000	～10,000			～20,000			～30,000			～40,000			～50,000
21 人	17 人			5 人			0 人			0 人			0 人

6【主なサービスメニュー】

(2) 通所介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
6ヶ月毎のモニタリング	通所介護計画書をもとにサービスを展開
サービス提供	お客様に合わせ、入浴・食事・排泄サービス、健康管理・リハビリを行う

・1日の流れ

AM	メニュー	PM	メニュー
～10:00	送迎	～13:30	静養・余暇
～10:30	血圧・体温・体調チェック	～14:30	体操、機能訓練
～11:30	余暇・趣味、機能訓練、入浴	～15:30	レクリエーション、おやつ
～12:30	昼食、口腔ケア	15:40～	送迎
午後のアクティビティ			
塗り絵、制作活動、トランプ、オセロ			
脳トレ・体操(毎日)、要望に合わせ提供(計算・間違い探し・クロスワード・パズルなど)			
団体レク(輪投げ・ボーリング・ボール入れ・物送り・DVD鑑賞など)週に2回程度実施			

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)		
体調管理	体調管理(バイタル測定)		
処置	服薬管理、医師の指示のもと患部処置		
既往症			
脳梗塞	脳出血	心疾患	
骨粗鬆症等	高血圧症	内臓疾患	
パーキンソン病	皮膚疾患	その他	

(3) 機能訓練サービス

項目	実施内容(結果)	
機能訓練	機能訓練指導員(看護師兼務)と PT により評価、計画、実施	
訓練内容		
歩行練習	筋力・移乗能力の維持	座位保持練習
筋力強化・維持練習	介助時協力動作の促し	嚥下機能訓練
立位保持・バランス練習	車いす自操、上肢機能維持	歩行器練習

(4) 相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援	お客様やご家族の介護・生活上の悩み等の相談に生活相談員や職員が応じる
担当者会議	年間 25 件

(5) 食事サービス

取り組み		実施内容		
給食会議の開催		会議を毎月開催し、食事に対する要望や改善点を解決し、食事サービスの満足度向上に努める		
食事の提供		日清医療食品の栄養士による栄養管理された食事の提供		
行事食		行事・イベント食 月 1 回以上		
わくわくメニュー		お客様の希望で、食べたいお食事を、毎月 1 回わくわくメニューとして提供 計 12 回開催		
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース	ミキサー
食種割合(%)	82%	18%	0%	0%

(6) 年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策(十和田)(20 名)
5	買物散策(10 名)
6	スイーツバイキング(40 名)
7	サマーガーデン(18 名)
8	納涼祭
9	敬老会(18 名)
10	焼き芋会(18 名)
11	お菓子作り(18 名)

12	忘年会(36 名)
1	小正月(36 名)
2	節分(18 名)
3	ひな祭り(18 名)
	施設計画(行事以外)
7	総合避難訓練
10	総合避難訓練・炊き出し訓練
12	館内ワックスがけ・貯水槽清掃・水質検査

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
拠点会議	毎月	施設長、各部門責任者、リーダー
職員会議	毎月	全職員
事故防止委員会	毎月	委員会組織メンバー
給食委員会	毎月	施設長、各部門責任者、委員会メンバー
安全衛生委員会	毎月	施設長、各部門責任者、委員会メンバー
感染対策委員会	年 6 回	委員会組織メンバー
災害対策委員会	年 4 回	委員会組織メンバー

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
地域交流	5/10 グリーンデイ 7/12 サマーガーデン
こども宅食事業参加	年 6 回開催(各回 1 名参加)
ボランティア受入れ	カットボランティア(不定期)

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	生活相談員 2 名	介護職員 4 名	看護職員 2 名
機能訓練指導員 2 名	事務員 1 名	栄養士(委託)1 名	調理員(委託)
目標	生産性向上を推進し、介護職員の勤務時間の見直し		
方法	・業務の見直し・業務の見える化 ・ICT 導入による間接業務の効率化		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	生活相談員 2 名	介護職員 4 名	看護職員 2 名
機能訓練指導員 2 名	事務員 1 名	栄養士(委託)1 名	調理員(委託)
結果	・間接業務の ICT 化(食洗機・お掃除ロボット導入) ・朝のお茶作成を無くし送迎業務の強化 ・レクリエーションを ICT 活用により個人差によるレクを減らす		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導 パート→限定正職員 1 名

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 5 名	主事 1 名	看護師 1 名	准看護師 1 名
防災士 1 名			
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護支援専門員	受験するも取得ならず		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	6 月 20 日
ハラスメント防止啓発活動	毎月(安全衛生委員会)
倫理・法令遵守に係る研修	5 月 24 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	事故防止対策	全員
5	(法)倫理及び法令順守	全員
6	ハラスメント防止	全員
7	介護技術(入浴)	全員
8	感染症 BCP	全員

9	(法) 自然災害 BCP 災害発生時の対応	全員
10	(法) 感染症 BCP 自然災害 BCP	全員
1	虐待予防、身体拘束	全員
3	緊急時の対応	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
5	安全対策担当者養成研修	1
6	介護技術研修	1
7	相談業務に係る研修	1
9	防災士養成講座	1
10	防火安全研修	1
11	小規模多機能型サービス等計画担当者研修	1
12	入浴介助加算研修	1
1	介護職員の口腔ケアに対する知識・技術取得研修	1

松園グループホーム・スカイ 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・(介護予防)認知症対応型共同生活介護 ・介護保険法： 指定(介護予防)認知症対応型共同生活介護 ・老人福祉法： 認知症対応型老人共同生活援助事業(第五条の二)	
開設日	平成 15 年 6 月松園グループホーム・スカイ開設
住 所	青森県三沢市松園町二丁目 7 番 7 号
連絡先	0176-57-5753
定 員	9 名
利用対象者	要支援 2 又は要介護 1 以上の認定を受けた方で医師に認知症の診断を受けた事業者と同一の市町村に住んでいる方
利用可能地域	三沢市
営業日	年中無休 24 時間 稼働時間：生活活動時間 6：00～21：00

《施設環境》

施設	
居室(全個室)10,9 m ² (9 室)	食堂・居間・オープンキッチン 47,3 m ²
浴室 4,0 m ²	脱衣室 4,2 m ²
事務所(休憩室)8.2 m ²	

《松園グループホーム・スカイ 基本方針》

松園グループホーム・スカイとして、

- ② 「お客様満足」
- ③ 「職員の満足」
- ④ 「地球温暖化対策」
- ⑤ 「地域防災についての取り組み」

を重点的に行い、人と環境、地球に優しい事業所として発展していけるよう取り組んでいきます。

1【重点目標】

目標	取り組みおよび結果
お客様満足：「接遇心得」の浸透	・「接遇心得」「社是・経営理念・品質方針」を掲示し、確認周知している ・内部研修の実施
職員の満足：「松園ルールブック」の浸透	・職員一人一人に携行してもらい、いつでも見て確認できるように「松園ルールブック」全職員に配布し拠点職員としての意識付け
地球温暖化対策:光熱水費の高騰もある為全面見直し	空調設備、給湯設備、照明等が老朽化、補助金・リースも検討も予算超えの為次年度へ持ち越し(空調設備、給湯設備(ボイラー)見積もり実施
地域防災：年2回の防災訓練と炊き出し訓練	地域協力員等と合同防災訓練は7/3・10/21の2回実施、松園町内会と合同炊き出し訓練は10/21実施

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	42,532,206.00	42,344,446.00	41,929,766.00
経費合計	15,743,627.00	16,094,755.00	16,041,097.00
差引収益	26,788,579.00	26,249,691.00	25,888,669.00
総時間	13,820.00	13,852.69	13,788.00
時間当たり	1,938.40	1,895.00	1,877.60

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
60 歳代～100 歳代		89.22 歳	0 名	9 名	0 名		
《介護度》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 人	0 人	0 人	3 人	3 人	2 人	1 人	3.11
お客様 ADL		自立歩行 4 名 シルバーカー 1 名 歩行器 1 名 車いす 4 名					
年度の終結		総数 0 名内訳：					

・利用状況

《入居状況 月／人》												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	273.8

≪利用料≫ 食費：一日 1,600 円					
～100,000	～120,000	～140,000	～160,000	180,000	～200,000
1 人	1 人	7 人	0 人	0 人	0 人

4【主なサービスメニュー】

(1)施設介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
施設サービス計画書	居室担当者による介護計画の立案、ケアマネがケアプラン作成実施、本人・ご家族の意向を踏まえて個々のニーズを捉えたケアプランを作成し必要な支援を検討、実施
ケアカンファレンス モニタリング	月 1 回開催(12 回)、3 ヶ月ごとに居室担当者によるモニタリング評価、ケアマネが評価確認
お客様満足	ご家族様へ日常の様子(写真)を郵送又は手渡している(年 4 回実施)
アクティビティ	個々に合わせた活動計画で機能維持⇒アクティビティ、生活リハビリ、体操、脳トレ、レクリエーションのいずれかから毎日実施
行事・個別支援	毎月開催：お誕生日会又はお楽しみ会→18 回実施 季節の行事、個別支援(買い物・美容室・自宅等)外出散策

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
主治医・協力医師との医療連携	主治医の三沢市立三沢病院、鳴海外科医院、定期受診・報告 第二黒田歯科往診
医療連携	三沢訪問看護ステーションと医療連携、24 時間連絡体制と週 1 回看護師による訪問、状態により主治医への連絡、ご家族へ連絡、密に連携している
服薬管理	お客様の服薬管理、服薬後の経過観察、報告

・利用者の状況

既往症	既往症	既往症
アルツハイマー型認知症	認知症	統合失調症
脳梗塞	脳出血	心疾患
その他(高血圧症、骨粗鬆症等)	糖尿病	大腸癌
≪上記に必要な処置等の状況≫		
血圧(一日 2 回測定)	内服投与	軟膏塗布
疼痛管理(頓服・湿布)	点眼	湿布貼付
バルーンカテーテル管理	軟膏塗布	バイタルチェック

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)	
理学療法	三沢訪問看護ステーションより、理学療法士が月 1 回来所し集 団体操や個別訓練実施、機能維持・生活リハビリの提案、事業 所職員が日常生活に取り入れ実施・評価	
訓練内容		
集団体操	筋力・移乗能力の維持	座位保持練習
筋力強化・維持練習	骨盤の後傾位改善	生活習慣の改善
角度維持・バランス練習	車いす自操、上肢機能維持	歩行器練習

(4)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)		
食事提供		日清医療食品の栄養士による管理された食事の提供		
給食会議の開催		日清医療食品の栄養士と毎月開催し、食事への要望等について意見交換		
行事食		イベントや季節行事、敬老のお祝いのお膳など提供(月 1 回以上)		
お楽しみメニュー		毎月のワクワクメニュー：職員がお客様の意向を聞き、季節ごとにメニューを工夫し職員が考案、年 12 回開催		
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース	経管栄養
食種割合(%)	78%	0%	22%	0%

(5)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策 アグリの里(6)、上北道の駅(3)、個別支援(3)
5	地域交流グリーンデイ(9)、つつじ七戸方面散策(4)
6	開設記念日、お楽しみ会(9)、個別支援(2)
7	夏祭りサマーガーデン BBQ(9)、個別支援(2)
8	納涼祭、買い物散策(4)
9	敬老会(9)、誕生日会(9)、個別支援(2)
10	秋の運動会(9)、誕生日会(9)
11	お楽しみ会(9)、個別支援(2)
12	誕生日会(9)、年末感謝祭(インフルエンザ流行のため中止)
1	小正月もちつき(9)、誕生日会(9)、個別支援(2)
2	節分(9)、お楽しみ会(9)、個別支援(1)
3	春まつ会(9)

	施設計画(行事以外)
4	グリストラップ清掃(7/1、 1/28)
5	ボイラー点検(5/28)
6	総合避難訓練(7/3)地域住民 3 名参加
9	総合避難訓練(10/21)地域住民 7 名参加、 消防設備点検(7/24、 1/28)
12	貯水槽清掃(12/2)、 水質検査(12/2：飲料水、8/20:浴槽水)
1	消防設備点検(7/24、 1/28)

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
職員会議	月 1 回	全職員
地域運営推進会議	年 6 回	施設長、運営推進委員、所長、GH 担当職員
身体拘束廃止・虐待防止委員会	月 1 回	施設長、所長、担当職員
事故防止委員会	月 1 回	担当職員(ヒヤリ集計・分析)
拠点：給食サービス会議	月 1 回	施設長、相談員、所長、担当職員、日清栄養士
拠点：感染対策委委員会	奇数月 1 回	施設長、相談員、所長、担当職員
拠点：安全衛生委員会	奇数月 1 回	施設長、相談員、所長、担当職員
拠点：身体拘束・虐待防止委員会	月 1 回	施設長、相談員、所長、担当職員
拠点：災害対策委委員会	偶数月 1 回	施設長、相談員、所長、担当職員
拠点：事故防止委員会	偶数月 1 回	施設長、相談員、所長、担当職員

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容(結果)
地域交流グリーンデイ	5/10(地域住民 4 名参加)
こども宅食事業参加	2 か月に 1 回開催(各回 1 名参加)
ボランティア受け入れ	カットボランティア(不定期) 歌声サロン 6 名(サマーガーデン)
地域清掃活動(三沢市クリーン作戦)	4/21 3 名参加、10/20 2 名参加
その他活動	職場体験受け入れ(三沢市立第一中学校 2 名)

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置員と目標			
管理者 1 名	介護支援専門員 1 名	介護職員 6 名	事務職員 1 名
栄養士(委託)	調理員(委託)		
目標	生産性向上の推進、生産性向上体制加算Ⅱ取得		
方法	生産性向上委員会設置、活動内容の見直し、タブレット記録の見直し		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置員(結果)			
管理者 1 名	介護支援専門員 1 名	介護職員 6 名	事務職員 1 名
栄養士(委託)	調理員(委託)		
結果	連続 3 日間有給取得 100% 生産性向上体制加算Ⅱ取得(R6.11 月より) ※生産性向上委員会議事録・活動について次年度継続目標とする		

7【研修・材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 5 名	主事 1 名	介護支援専門員 1 名	認知症実践者研修 5 名
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護福祉士実務者研修	1 名実務研修中(取得は次年度予定)		
認知症実践者研修	1 名受講取得		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	10 月 8 日
ハラスメント防止啓発活動	毎月(安全衛生委員会)
倫理・法令遵守に係る研修	5 月 23 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加数
4	(法)倫理及び法令順守／ターミナル	全員
5	(法)身体拘束廃止／認知症(ユマニチュード)	全員
6	(法)高齢者虐待防止／感染症(食中毒)	全員
7	(法)ターミナル／接遇マナーについて	全員
8	(法)身体拘束廃止／緊急時の対応	全員
9	(法) 高齢者虐待防止／災害発生時の対応	全員
10	(法)ターミナル／ハラスメントについて	全員
11	(法)身体拘束廃止／感染症(インフルエンザ)	全員
12	(法)高齢者虐待防止／事故発生予防 KYT	全員
1	(法)ターミナル／職場の安全衛生について	全員
2	(法)身体拘束廃止／認知症／自然災害 BCP	全員
3	(法)高齢者虐待／プライバシー保護	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加数
6	高齢者虐待防止／権利擁護について研修会(三沢市福祉課)	1 名
10	認知症介護実践者研修	1 名
3	口腔ケア研修	1 名

サテライト特養「栄町ぬくもりの家」令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・介護保険法：指定地域密着型介護老人福祉施設、(介護予防)短期入所生活介護事業所 ・老人福祉法：第20条の5に基づく特別養護老人ホーム	
開設日	平成17年三沢市と共同提案「サテライト型居住施設特区」認定 平成19年4月 三沢老人ホームサテライト 栄町ぬくもりの家開設 (三沢老人ホーム110床から栄町ぬくもりの家へ15床分散)
住所	青森県三沢市栄町三丁目125-1
連絡先	0176-53-1283
定員	15名(2ユニット：9名+6名)
入居対象者	要介護1～5の認定を受けた方(要支援者と65歳以上の方)
入居可能地域	三沢市
営業日	年中無休 24時間、営業日 月～金、営業時間 9時～18時

《施設環境》

施設	
居室(全個室)39.75 m ² 12室、19.87 m ² 5室、19.89 m ² 3室、19.86 m ² 3室	
食堂 ①40.99 m ² ②32.26 m ²	浴室 3.96 m ² 脱衣室 4.51 m ² ×4室
送迎用車両	
軽自動車1台	

《栄町ぬくもりの家 基本方針》

認知症でも最後まで自分らしく生活を楽しむことが出来るように支援する
知識を深め技術を学ぶ。一人一人みんな違うことを前提にサービスを進める

1【重点目標】

目標	取り組みおよび結果
ノーリフティングを継続し腰痛予防を推進する	ノーリフティングケアの理解度も高まり、移乗動作のできないお客様の移乗についてはスタンディングマシーンや床走行リフトを使用し安全に移乗ができています
ユニットケアとして食事提供を検討する	お客様に合った食事の提供を行うため、9月よりバランス弁当を導入、温かい食事を提供できるようになり、お客様の満足度も高くなっている
認知症チームケアによりお客様の生活を豊かにする	季節ごとの行事や誕生会などを開催し、お客様も楽しむ様子が見受けられた
生産性向上による働き方改革	①2025.01 眠りスキャン・アイ、センサー導入によるベッド上でのバイタル確認とカメラによる居室内の状況確認が可能になったことで、安否の確認が容易になった ②インカム導入により、離れた場所でも職員同士のコミュニケーションが可能になったことで、効率よく業務に取り組むことが可能になったが、機器の使用になれるには少し時間が必要なため、次年度も引き続き取り組んでいく

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	80,725,510.00	83,342,186.00	81,627,598.00
経費合計	25,574,772.00	27,034,038.00	30,672,992.00
差引収益	55,150,738.00	56,308,148.00	50,954,606.00
総時間	25,537.00	25,478.80	26,854.00
時間当り	2,159.60	2,210.00	1,897.50

3【お客様の現況】

《利用者》 定員 15 名							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
80 歳代～100 歳代		93.8 歳	1 名	14 名	4 名		
《利用区分》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 名	0 名	0 名	0 名	3 名	4 名	8 名	4.33
お客様 ADL		自立歩行 0 名 手介助 1 名 杖歩行 0 名 車いす 14 名					
年度の終結		総数 5 名内訳：永眠 4 名、3 ヶ月入院 1 名					

・利用状況

《入所状況／人》							
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
入所	450	465	444	448	465	450	453.7
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入所	465	445	423	431	410	445	436.5
《費用徴収基準月額》							
～160,000	～180,000	～200,000	～220,000	～240,000	240,001～		
10名	3名	0名	0名	1名	0名		

4【主なサービスメニュー】

(1)介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
サービス計画書、担当者会議、モニタリング	お客様それぞれ1年ごとまたは状態変化に伴い見直し、会議を開催し月1～2件実施、モニタリングは3か月ごとに評価
ノーリフティングケア	床走行式リフトやスタンディングマシーンを使用し、介護者の負担軽減だけではなくお客様の移乗時の身体的な負担軽減と身体機能の維持・向上
おむつ外し	トイレでの排泄を促すことで、身体機能の維持・向上やおむつなどの排泄用品の削減
行事・レク	季節ごとの行事や誕生会などを毎月開催、お客さまも楽しむ様子が見受けられる

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
配置医師の処置	嘱託医の阪中淳也医師(鳴海外科医院)が毎週水曜日に往診、指示を受けた必要な処置等を行う
状態変化時には昼夜問わず都度、医師に連絡し指示を受ける体制	家族の希望を医療側に伝える事で必要に応じた処置検討を促す役割、緊急搬送後の情報提供末期や必要時は電話にて指示を受ける
入居者の健康管理	嘱託医及び主治医及び薬剤師との医療連携(夜間のオンコール含む)、服薬管理に従事
看取り	精神面ケアを中心に、指示点滴の実施：3名の看取り実施

・入居者の状況

既往症	既往症	既往症
アルツハイマー型認知症	脳梗塞	高血圧
高脂血症	緑内障	薬剤性横紋筋融解症
逆流性食道炎	心房細動	てんかん
過活動膀胱		
≪上記に必要な処置等の状況≫		
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布、褥瘡処置
疼痛管理(頓服・湿布)	点滴管理	浣腸,摘便
採血	点眼	在宅酸素療法管理

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)	
機能訓練	外部 PT による計画の策定し ADL 維持のための生活リハビリを実施の実施・評価、機能訓練指導員が ADL 維持のための生活リハビリを実施	
訓練内容		
歩行練習	筋力・移乗能力の維持	座位保持練習
車いす自操、上肢機能維持		

(4)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援	お客様やご家族の介護・生活上の悩み等の相談に管理者・生活相談員や職員が応じる

(5)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)			
食事の提供		季節毎にメニューを提供、嚥下障害に配慮し、個人別にトロミ具合を変え、朝食は調理済み食材を業者から購入したものを職員が加熱提供し、昼食・夕食は三沢老人ホーム管理栄養士が献立作成と食材発注したものを職員が調理提供			
行事食		8月夏祭り　9月敬老会　1月新年会 イベント　月1回以上企画・開催			
給食管理の状況					
食種	常食	きざみ食	ムース	ミキサー	経管栄養
食種割合(%)	46.7%	33.3%	0%	0%	20%

(6)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策(十和田・三沢市中央公園・道の駅おがわら湖・立野公園)(13)
5	五中運動会(1) 誕生会(11)
6	白い森ケーキ散策(4) 買い物散策(2)
7	七夕行事(14) 誕生会(14)
8	夏祭り(10) 誕生会(15) 三沢祭り見物(4)
9	敬老会(15) 誕生会(10)
10	買い物散策(1) 誕生会(15) 五中祭観覧(1) 紅葉散策(5)
11	運動会(15)買い物散策(3)誕生会(15)
12	もちつき会(14) クリスマス会(14)
1	新年会(13) 誕生会(14)
2	節分行事(14) バレンタインデー(12)
3	ひな祭り(15) 誕生会スイーツバイキング(14)
	施設計画(行事以外)
6	総合避難訓練
5	ボイラー点検
7	消防設備点検
8	浴槽水水質検査(大腸菌群・レジオネラ属菌)
9	総合避難訓練
11	貯水槽清掃
12	ボイラー点検
1	消防設備点検

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
安全衛生委員会(法人)	年 6 回	センター長
安全衛生委員会(拠点)	月 1 回	センター長 施設内担当職員
サービス担当者会議	月 1 回	センター長 介護支援専門員 相談員 部門担当職員
給食会議	月 1 回	センター長 施設内担当職員
ユニット会議	毎月 2 回	相談員 施設内担当職員
感染・褥瘡対策委員会	年 4 回	センター長 施設内担当職員
身体拘束・虐待防止委員会	年 4 回	センター長 施設内担当職員
事故防止・ノーリフト推進委員会	年 4 回	センター長 施設内担当職員 (ヒヤリ集計・分析)

災害対策委員会(拠点)	月 1 回	施設内担当職員
ターミナル委員会	年 4 回	施設内担当職員
行事委員会(拠点)	月 1 回	施設内担当職員

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容(結果)
総合避難訓練	年 1 回 6 月に開催 地域民生員 8 名参加
こども宅食事業参加	7 月・9 月・11 月 3 回参加

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	生活相談員 2 名	ケアマネ 1 名	介護職員 10 名+2
看護職員 2 名	ハウスキーパー 2 名	調理職員 1 名	
目標	人員配置基準を満たすため		
方法	ハローワークへの求人、人材紹介からの採用		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	生活相談員 2 名	ケアマネ 1 名(兼務)	介護職員 11 名
看護職員 2 名	ハウスキーパー 2 名	調理職員 1 名	
結果	ケアマネは介護職員と兼務で採用したため、介護職員数は満たされている		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

取り組み	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
技能実習生の育成	介護技術を学びながら日本語のレベルアップを目標に N3(日本語能力検定)合格 1 名、専門級試験 合格 2 名 企業交流センターとの面談・情報共有

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 9 名	主事 3 名	介護支援専門員 1 名	看護師 1 名
准看護師 1 名	青森県災害福祉支援チーム員登録 1 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
認知症介護実践者研修	取得済み		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
倫理・法令遵守に係る研修	4/17
安全対策について	6/14
生産性向上の取り組み	8/9

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	(法)倫理及び法令順守／(法)高齢者虐待防止 (法)自然災害 BCP／(法)高齢者虐待防止	全員
6	認知症チームケア／安全対策について／褥瘡予防対策について (法)非常災害対策(避難・救出)／ノーリフティングケアについて	全員
7	認知症チームケア	全員
8	(法)食中毒の予防／(法)身体拘束等適正化／生産性向上について	全員
9	(法)高齢者虐待防止／認知症チームケア／非常災害対策(避難・救出)	全員
10	事故発生防止について／認知症チームケア	全員
11	ターミナルケアについて／褥瘡予防対策	全員
12	感染症の予防／褥瘡予防対策／ノーリフティングケアについて 緊急時の対応	全員
2	ターミナルケアについて／事故防止について	全員
3	ユニットケアについて	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
4	令和6年度あおりノーリフティングケア推進事業フォローアップ研修	2名
4	介護施設における法律事務	3名
4	経腸栄養関連合併症の病態解明と誤嚥性肺炎を克服する新規アプローチ	1名
4	経管栄養管理における合併症対策の最新情報	1名
5	「これだけは外せない、褥瘡ケア」	1名
6	高齢者虐待支援について	1名
6	経管栄養時の胃食道逆流とその対策	5名
7	令和6年度青森県認知症介護実践者研修	1名
7	ノーリフティングケア地区別研修会	2名
7	実践事例から学ぶ業務改善セミナー	1名
8	令和6年度青森県認知症介護実践者研修	1名
8	ノーリフティングケア研修 リーダー編	2名

9	ノーリフティングケア地区別研修会	2名
9	青森県喀痰吸引等研修	1名
10	令和6年度青森県認知症介護実践者研修	1名
10	床ずれ対策WEBセミナー	1名
11	根拠のあるケアの実践	1名
11	光洋教育プログラムフォローアップ研修	1名
11	令和6年度青森県感染予防対策特別研修会	1名
12	薬局薬剤師と介護支援専門員の情報共有について、多職種協働の「DBCシート」の活用方法について	1名
12	認定調査従事者現任研修	1名
1	人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン	1名
1	タイムマネジメント研修	1名
1	外国人介護人材受入準備セミナーⅡ&外国人介護職員指導担当者研修Ⅱ	1名
1	介護職員の口腔ケアに対する知識・技術の習得、口腔衛生の管理体制の研修会	1名
2	あおもりノーリフティングケアフォーラム	2名

栄町コラボケアセンター 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
施設サービス種別 ・介護保険法：指定(介護予防)小規模多機能型居宅介護事業所 ・老人福祉法：5条に基づく	
開設日	平成19年4月 栄町コラボケアセンター開設
住 所	青森県三沢市栄町三丁目125-1
連絡先	0176-53-1284
定 員	25人(通いサービス定員15人、宿泊サービス定員5人)
利用対象者	要介護の認定を受けた方で、事業者と同一の市町村に住んでいる方
利用可能地域	三沢市
営業日	年中無休 日中時間帯／7時～20時 通い8時30分～18時／訪問8時30分～18時／宿泊18時～8時30分 ※緊急時ならびに必要時においては柔軟に、通い、訪問および宿泊サービスを提供します

《施設環境》

施設	
宿泊室 33.58 m ² (1人当たり 11.19 m ²)	食堂・居間 122.91 m ²
浴室 33.91 m ² (機械浴、一般浴等設備あり)	
車両	
送迎車両：4台	

《栄町コラボケアセンター 基本方針》

- ・認知症があっても地域の一員として生活していけるように支援していく
- ・在宅と施設の中間に位置する事業所として、必要なサービスの見極めを行っていく

1【重点目標】

目標	結果
・認知症ケアへの取り組みによる生活の支援	なるべく住み慣れた場所で生活していただくために訪問回数や通いの利用回数を増やしていくことで排泄入浴食事だけではなく、コミュニケーションや安心感の提供を重視したケアを実施、7名終結者のうち認知機能の低下による施設入居者は2名
・ICT 推進による働き方の改善	2025.01～眠りスキャン、眠りスキャンアイの設置 宿泊者の夜間のバイタルや居室内の状況をカメラで常時確認することが可能となったため、特に夜間の業務の負担軽減につながっている 2025.02～サニタリートイレシステムの設置 直接目視確認しなくても排泄状況が確認できるため、プライバシーの保護にもつながっている
・安定経営の為の収支改善	4～10月新規なし・退会5名、11～3月新規12名・退会3名 4～9月平均利用、通い235件 訪問486件 宿泊66.17件 10～3月平均利用、通い285件 訪問484件 宿泊103.2件 新規登録者の半数は要支援者のため収入が伸びなかった

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	68,398,094.00	50,616,593.00	50,260,103.00
経費合計	20,622,329.00	17,841,297.00	18,662,072.00
差引収益	47,775,765.00	32,775,296.00	31,598,031.00
総時間	24,706.00	20,484.56	21,892.00
時間当り	1,933.70	1,600.00	1,443.30

3【お客様の現況】

《利用者》 定員 25 名							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
60 歳代～100 歳代		87.16 歳	6 名	19 名	12 名		
《介護度》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
4 人	6 人	4 人	7 人	2 人	2 人	0 人	1.58
お客様 ADL		自立歩行 13 名 シルバーカー2 名 杖歩行 5 名 車いす 5 名					
年度の終結		総数 8 名内訳：転居(他施設入居)7 名、契約解除 1 名					

・利用状況

《利用状況／人》													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通所	273	220	246	234	231	208	252	243	281	295	214	326	260
宿泊	77	75	77	51	64	53	87	71	93	129	129	110	84.67
訪問	545	545	452	476	463	436	374	442	503	517	508	558	485
《利用料》 食費：朝食 410 円 昼食 550 円 夕食 490 円 宿泊 1 泊 2,000 円													
～40,000	～60,000			～80,000			～100,000			120,000		～150,000	
22 人	人			1 人			0 人			2 人		0 人	

4【主なサービスメニュー】

(1)介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
居宅サービス計画書	6 カ月ごとに見直し ニーズに合わせ必要なサービスを柔軟に対応する
サービス担当者会議	6 カ月ごと開催、ケアプラン作成 12 人、ケアプラン見直し 16 人
モニタリング	毎月実施 月 16 名～25 名
通い	日中に事業所での入浴・食事・排泄サービス、健康管理、リハビリを行う：累計 2,889 名の利用
訪問	自宅に訪問して掃除や洗濯などの生活支援や健康管理、安否確認を行う：累計 5,372 件訪問
宿泊	夜間に自宅での生活が困難な方が利用：累計 940 名の利用

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
健康管理	お客様のバイタル、受診時(緊急時)の対応
服薬管理	お客様の服薬管理、精神科受診者の服薬後の経過観察、報告

・利用者の状況

既往症				
アルツハイマー型認知症	脳梗塞	脳出血	高血圧	糖尿病
慢性閉そく性肺疾患	慢性心不全	逆流性食道炎	腎不全	貧血
統合失調症	白内障	腎盂腎炎	てんかん	前立腺がん
《上記に必要な処置等の状況》				
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布		
疼痛管理(頓服・湿布)	在宅酸素療法管理	点眼		

(3)機能訓練サービス

取り組み		実施内容(結果)	
理学療法		委託契約の理学療法士が月 2 回来所しアセスメント後リハビリテーション計画書を作成、事業所職員が計画書を基に機能訓練実施 平行棒内歩行、階段昇降、歩行訓練、スクワット、ストレッチ等	
訓練内容			
歩行訓練	移乗能力の維持	歩行器練習	車いす自操、上肢機能維持

(4)食事サービス

取り組み	実施内容(結果)			
食事提供	管理栄養士が作成した献立で食材発注し、職員が調理し提供			
嚥下障害に配慮	個別に常食・刻み食、トロミ具合を変えて提供			
行事食	イベントや季節行事のお膳、敬老のお祝い膳などを提供			
配食サービス	主に1人暮らし、食事準備困難、買い物困難の方、低栄養傾向など個々に合わせ提供			
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース	ミキサー
食種割合(%)	95.6%	4.4%	0%	0%

(5)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加数
4	花見散策(十和田)(15)
5	五中運動会観覧(2)ランチ散策(8)
6	スイーツ散策(6)
7	ランチ散策(6)
8	バイキング(8)夏祭り(17)
9	敬老会(17)
10	スイーツ散策(3)五中祭観覧(2)ゲーム大会(12)
11	紅葉散策(6)スイーツ散策(3)
12	クリスマスイベント(15) もちつき会(21)
1	新年会(22)
2	節分(10)
3	ひな祭り(9)
	施設計画(行事以外)
6	総合避難訓練
5	ボイラー点検

7	消防設備点検
8	浴槽水水質検査(大腸菌群・レジオネラ属菌)
9	総合避難訓練
11	貯水槽清掃
12	ボイラー点検
1	消防設備点検

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
安全衛生委員会(法人)	年 6 回	拠点長(以下：施設長)
安全衛生委員会(拠点)	月 1 回	施設長 施設内担当職員
サービス担当者会議	月 1 回	介護支援専門員 部門担当職員
給食会議	月 1 回	施設長 施設内担当職員
コラボ会議	月 1 回	施設長 施設内担当職員
感染・褥瘡対策委員会	月 1 回	施設内担当職員
身体拘束等廃止委員会	月 1 回	施設内担当職員
虐待防止委員会	月 1 回	施設内担当職員
事故防止委員会	月 1 回	施設内担当職員(ヒヤリ集計・分析)
災害対策委員会	月 1 回	施設内担当職員

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容(結果)
総合避難訓練	年 1 回 6 月に開催 地域民生員 8 名参加

6【職員状況】

(1)員配置目標

計画時の配置員と目標		
管理者 1 名(兼務)	介護支援専門員 1 名(兼務)	介護職員 9 名
看護職員 1 名	調理職員 1 名	ハウスキーパー 1 名
事務員 1 名(兼務)		
目標	管理者が併設事業所管理者と介護支援専門員を兼務しているため増員必要	
方法	ハローワークを利用した採用活動を行う	

(2)員配置の活動結果

年度末現在の配置員(結果)		
管理者 1 名(兼務)	介護支援専門員 1 名(兼務)	介護職員 9 名
看護職員 1 名	調理職員 1 名	ハウスキーパー1 名
事務員 1 名(兼務)		
結果	職員の増員はなし	

7【研修・材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアアップした職員はなし

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 9 名	主事 3 名	介護支援専門員 1 名	防災士 1 名
准看護師 1 名	認知症実践者研修 6 名		
	青森県災害福祉支援チーム員登録 1 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
認知症実践者研修	1 名取得		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメントについて	2 月 16 日
チームケアについて	4 月 14 日
事故防止・危険予知対策	12 月 28 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加数
4	チームケアについて／(法)虐待防止のための指針	全員
6	(法)防災計画(BCP)／褥瘡発生予防マニュアル／介護施設における法律事務／ 認知症ケアについて	全員
7	(法)身体拘束について	全員
8	(法)虐待防止について	全員

9	災害予防(火災・地震)	全員
10	ノーリフティング／ノロウイルス食中毒予防	全員
11	成年後見制度について	全員
12	事故防止・危険予知対策	全員
1	感染症・食中毒予防／介護職員の口腔清掃に対する知識・技術の習得	全員
2	ハラスメントについて	全員
3	緊急時の対応・褥瘡予防／在宅医療・介護連携について	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加数
5	職員の口腔ケアに対する知識・技術の習得、口腔管理体制	1名
6	令和6年度高齢者スタッフ研修会	1名
6	介護施設における法律実務研修	1名
7	第4回介護ロボット・ICT 機器展示・体験会	1名
10	令和6年度青森県小規模多機能型居宅介護職員研修会	1名
10	ノロウイルス食中毒予防講習会	1名
10	令和6年度第2回高齢者スタッフ研修会	1名
1	タイムマネジメント研修会	1名
2	医療・介護連携研修ごっちゃり研修会	2名
3	令和6年度青森 DWAT コーディネート研修会	1名
3	介護テクノロジーを活用して生産性向上を効果的に進めるためのワンポイントセミナー	1名

三沢訪問看護ステーション 令和 6 年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・ 指定訪問看護・指定介護予防訪問看護事業 ・ 介護保険法：指定訪問看護・指定介護予防訪問看護事業 ・ 高齢者医療確保法：75 歳以上の後期高齢者の医療報酬に係る法律 ・ 健康保険法：第 88 条第 1 項に基づく	
開設日	平成 10 年 12 月 三沢訪問看護ステーション開設
住 所	青森県三沢市栄町三丁目 125-1
連絡先	0176-50-1139
定 員	定めなし 令和 5 年 3 月 31 日現在(利用者数)88 名
利用対象者	疾病や障がいなどがあり、居宅で療養をしながら生活をされている方で、主治医が訪問看護を必要と認めた方
利用可能地域	三沢市及び近隣市町村
営業日	月～金 8:30～17:30(土 8:30～12:30) 緊急時の電話相談 24 時間 365 日対応可 必要に応じて、緊急時訪問看護を行う体制あり

・施設環境

車両
訪問車両 9 台

《三沢訪問看護ステーション 基本方針》

- (1)健康の保持・増進・回復を考えた看護、リハビリの提供
(2)医療保険 7：介護保険 3 の収入枠

1【重点目標】

重点目標	結果
知識・技術獲得	看護の質をあげるべく知識・技術獲得に積極的な外部研修参加、1 人 5 つ、年間 1 人 4～5 研修参加
医療保険収入月 310 万	月平均収入 4,339,972 円
リハビリテーションの強化	難病及び障害のお客様確保でリハビリテーションの強化、難病、障害の新規利用者年 5 名

3【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	58,446,382.00	64,947,219.00	61,034,546.00
経費合計	13,027,634.00	13,932,374.00	14,009,534.00
差引収益	45,418,748.00	51,014,845.00	47,025,012.00
総時間	14,842.58	18,894.37	18,570.00
時間当り	3,060.00	2,700.00	2,532.30

3【お客様の現況】

《利用者》 定員(定めなし)							
利用者年齢		平均	男性	女性	《今年度新規利用者》		
10 歳代～100 歳代		85.6 歳	29 名	45 名	45 名		
《利用区分》 介護保険利用区分							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
1 名	5 名	6 名	11 名	10 名	6 名	7 名	2.8
《利用区分》 医療保険利用区分							
重度心身	特定疾患	自立支援	終末期	小児	特別指示	その他	
1 人	16 人	12 人	2 人	3 人	2 人	2.32	
お客様 ADL		自立歩行 15 名 手介助 33 名 杖歩行 12 名 車いす 20 名					
年度の終結		総数 45 名内訳：転居(他施設入居)8 名、死亡 15 名、					

・利用状況

《利用状況／人》 月合計利用者数 上段：月顧客数 下段：月延べ人数													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
総合	81	77	77	77	77	75	77	77	77	78	75	82	71.25
	606	616	580	638	610	616	558	667	690	572	654	632	619
看護	81	77	77	77	77	75	77	77	77	78	75	82	77.5
	318	302	297	330	342	341	278	382	405	286	322	302	435
リハ	40	41	40	45	44	45	46	42	40	48	47	46	43
	288	239	241	242	254	282	271	253	225	186	184	220	240
《区分別》													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
介護	49	45	44	43	43	42	43	47	45	45	42	37	40.2
医療	32	32	33	34	34	33	34	30	36	33	33	45	31.3
《お客様の利用料》介護保険／人(1割負担 35、2割負担 2、3割負担 2)													
0～8,000	～10,000			～40,000			～60,000			～80,000			～100,000
8人	18人			8人			4人			1人			0人

《お客様の利用料》医療保険／人(1 割負担 20、2 割負担 14、3 割負担 8、生保 2)					
0～8,000	～10,000	～40,000	～60,000	～80,000	～100,000
2 人	10 人	9 人	8 人	1 人	2 人

5【主なサービスメニュー】

(1)訪問看護サービス

サービス	取り組みおよび結果
訪問看護指示書により提供	医療保険:傷病や障害のある方 介護保険:要介護状態の方
訪問看護	主治医の指示書に基づき、利用者の自宅を訪問し、健康状態の観察、療養指導、医療処置、身体介護、相談対応、緊急対応など
劇薬など薬の管理	麻薬・向精神病薬の主にアンプル等の注射液は麻薬・向精神病薬取締法に則って事業所内鍵付き金庫に保管、使用後は病院へ空アンプル、注射器ごと返却(鍵は所長管理)、麻薬、向精神病薬のパッチ、内服の自己管理をされているお客様へは、訪問した際、使用状況と残薬を用紙にて管理し乱用にならないよう監視、管理している
ターミナルケア	内服薬の管理、排便コントロール、安楽な体位の保持、痛みの管理、家族への指導、療養環境の調整、本人、家族の精神的支援、病院・ケアマネ・ヘルパー・訪問入浴などとの連携
緊急時対応	月平均 13 件

・医療連携

訪問看護指示書発行病院			
三沢市立三沢病院	三沢中央病院	岡三沢診療所	あいざわクリニック
聖心会病院	ひぐちクリニック	まつぞのクリニック	サイトウ整形外科医院
鳴海外科医院	得意泌尿器科クリニック	あおぞらクリニック	中山内科医院
すずき小児科クリニック	青森県立中央病院	十和田市立中央病院	十和田第一病院
高松病院	八戸市民病院	八戸赤十字病院	青森労災病院
メディカルコート八戸西病院	おっとも脳神経外科クリニック	青南病院	おいらせ病院
東北大学病院	なるみ脳神経在宅クリニック		
往診又は訪問診療を行っている病院			
三沢市立三沢病院	十和田市立中央病院	おいらせ病院	岡三沢診療所
あいざわクリニック	鳴海外科医院	得意泌尿器科医院	

・活動内容

利用者の主な疾患				
脳血管疾患	循環器疾患	呼吸器疾患	消化器疾患	内分泌疾患
神経疾患(難病)	腎・泌尿器科疾患	婦人科疾患	骨、筋肉疾患	皮膚科疾患
眼疾患	精神科疾患	認知症	その他	

看護処置					
胃瘻管理	経鼻経管栄養管理	経鼻経管チューブ交換	吸引		
浣腸	排便	下剤調整	褥瘡処置		
導尿	膀胱留置カテーテル管理	静脈内点滴注射管理	血糖測定		
インスリン注射	人工肛門ストーマ管理	人工膀胱ウロストミー管理	気管切開呼吸器管理		
在宅酸素吸入管理	体外式人工心臓管理				
日常生活援助					
オムツ交換	陰部洗浄	全身清拭	ベッド上洗髪	爪切り	トイレ誘導
足浴	手浴	口腔ケア	シーツ交換	更衣	体位変換
環境調整	体調管理	服薬管理	介護指導	健康相談	精神科訪問看護
訪問回数					
週 1 回訪問 16 名	週 2 回訪問 8 名	週 3 回訪問 6 名	月 2 回訪問 12 名		

(2)訪問リハビリサービス

サービス		取り組みおよび結果			
リハビリ		看護師やリハビリ専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)が、患者の自宅に訪問してリハビリを行う			
他リハビリの活動		退院時の家屋調査依頼にて調査、その他運営管理:会議			
対象の障害度区分					
独歩	車いす自操	寝たきり	歩行器	車いす介助	杖歩行
四つん這い					

・活動内容

リハビリ				
起居動作訓練	バランス訓練	移乗動作訓練	職業復帰訓練	筋力アップ訓練
全身マッサージ	歩行訓練	四肢可動域訓練	筋ストレッチ	

(3)年間行事

月	主な行事
5	訪問看護ステーション連絡協議会支部総会
6	県訪問看護ステーション連絡協議会通常総会/県研修
9	問看護ステーション連絡協議会支部研修会
11	県訪問看護ステーション連絡協議会研修
	施設計画(行事以外)
6	総合避難訓練

(4) 運営管理：会議 法人内の会議

名称	開催頻度	構成
拠点会議	年 1 回	施設長、各部門責任者、主任
職員会議	毎月	全職員
災害対策委員会会議	偶数月 1 回	委員
安全衛生委員会会議	奇数月 1 回	委員
感染対策委員会会議	偶数月 1 回	委員

(5)外部参加団体会議

名称	開催頻度
上十三訪問看護ステーション連絡協会	年 6 回
青森県難病会議	年 1 回
青森県小児在宅支援会議(青森県小児在宅支援センター主催)	年 2 回
三沢市医療的ケア児支援会議(三沢市教育委員会主催)	年 2 回
三沢市認知症会議	年 2 回

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
地域防災予防夜回り	4/10～1 週間 5 名参加

6【職員状況】

(1)員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	看護師 3 名+2	理学療法士 2 名	作業療法士 2 名
目標	僻地への訪問看護活動拡大のため看護師 6 名確保、リハビリテーション訪問も同じく拡大のため随時 5 名確保		
方法	ハローワーク求人		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	看護師 4 名	理学療法士 2 名	作業療法士 3 名
結果	ハローワーク求人にて獲得		

7【研修、人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクアップ	キャリアラダーを用いた指導にて 5 年以上就業の職員ほぼ全員が R2

(2)資格取得目標

保持資格状況			
看護師 5 名	理学療法士 1 名	作業療法士 1 名	
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
研修	臨地実習指導者研修 1 名受講、研修修了		
研修	精神科訪問看護算定要件 2 名受講、研修修了		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	9 月 4 日
ハラスメント防止啓発活動	12 月 3 日、3 月 4 日
倫理、法令遵守に係る研修	4 月 28 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	診療報酬改訂の理解	全員
6	明日からの訪問看護に活かせるスキンケア	全員
8	難病患者が利用できる医療機器について	全員
9	OTC 医薬品について	6
10	精神科患者の理解 GAF の評価の仕方	全員
2	共生社会の在り方 認知症看護～マフの効果～	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
4	診療報酬改訂について	1
6	難病ネットワーク	1
7	慢性心不全とは～患者が安心して生活するための支援方法～	1
9	難病フォーラム	3
10	精神障がい者の在宅看護セミナー	2
11	明日からの訪問看護に活かせるスキンケア最前線	1
12	パーキンソン患者と共に学ぶ	2
3	共生社会に生きる～認知症看護～	10

ホームヘルパーステーション青空 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
訪問介護 ・介護保険法：指定訪問介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービス ・老人福祉法：老人居宅介護等事業(第五条の二に基づく)	
開設日	平成6年ホームヘルプ事業開始 平成14年9月ホームヘルパーステーション青空開設
住 所	三沢市栄町三丁目125-1
連絡先	0176-53-1103
定 員	登録定員の定め無し 現在57名が利用
利用対象者	要介護1～5の認定を受けた方(予防：要支援者の方)、自立支援
利用可能地域	三沢市、おいらせ町、六戸町、十和田市
営業日	年中無休 8時～20時まで ※上記時間以外でも状況に応じ対応可 ※お正月期間は状況に応じ休業する場合あり

・施設環境

車両
訪問車両5台

《ホームヘルパーステーション青空事業所 基本方針》

- (1)指定訪問介護の提供に当たっては、訪問介護計画に基づき、お客様が日常生活を営むために必要な援助を行う。
- (2)指定訪問介護の提供に当たっては、懇切丁寧に行うことを旨とし、お客様又はその家族に対し、サービス提供方法等について、理解しやすいように説明を行う。
- (3)指定訪問介護の提供に当たっては、介護技術の進歩に対応し、適切な介護技術を持ってサービスの提供を行う。
- (4)常にお客様の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、お客様又はその家族に対し、適切な相談及び助言を行う。

1【重点目標】

目標	結果
(1)ニーズを満たしつつ、保険外サービスを組み入れ稼働率向上を目指す	総合事業向けで3件自費サービス利用に繋がっているが、継続的な利用はなく、1名の訪問以外は短期間利用で終結になっている
(2)職員 NG 指定減を目指す	令和7年3月31日時点で NG 指定は1名のお客様からあり、昨年度から解消はされていない(※集計から同性介助希望者は抜いている)

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	28,871,858.00	28,769,710.00	26,910,825.00
経費合計	8,743,641.00	8,451,567.00	8,796,640.00
差引収益	20,128,217.00	20,318,143.00	18,114,185.00
総時間	12,033.00	11,731.54	11,948.00
時間当り	1,672.80	1,731.90	1,516.00

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
歳代～100 歳代		80.6 歳	30 名	41 名	15 名		
《利用区分》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
2 人	6 人	10 人	6 人	8 人	1 人	8 人	2.73
お客様 ADL		自立歩行 30 名 手介助 0 名(通常杖歩行、短距離で介助の為の手引歩行はカウントしていない) 杖歩行 14 名 車いす 27 名					
年度の終結		総数 17 名内訳：転居(他施設入居)6 名、死亡 11 名、3 ヶ月入院 0 名					

・利用状況

《利用状況(月)／件数》												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
574	546	534	604	635	606	645	616	626	566	550	551	587
週別利用状況／人												
	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜					
午前	11	11	10	9	13	4	3					
午後	12	11	11	10	15	6	3					

≪利用料≫						
0～8,000	～10,000	～30,000	～50,000	～70,000	～90,000	～110,000
10 人	5 人	25 人	12 人	3 人	1 人	3 人

6【主なサービスメニュー】

(1)訪問介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
訪問介護	利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護(身体介護)や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援(生活援助)提供
看取り	精神面のケアを中心にした看取りを実施する 2 件

(2)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談サービス	必要なご相談やご助言をお客様又はそのご家族様に対し実施家族、本人からの相談は解決できるものはその場で提案し、要件等事項はケアマネ、その他(訪看等)と連携し提案することが出来ている
多職種と連携	ソーシャルワークセンターとの連携で三沢市からの新事業の取り組みを計画、令和7年度事業開始予定となる 看取り期の連携に関しては、三沢訪問看護、訪問介護、訪問入浴と連携し対応する事が出来ている 虐待を疑われる事例について三沢訪問看護ステーションと連携し取り組むことが出来た ※看取り件数は2件、虐待を疑われる事例1件
ケアカンファレンス	カンファレンスにてモニタリングの確認、毎第一火曜日開催
ケア記録	(フォーマット)の見直し3ヶ月に一回開催

(3)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
職員会議	月1回	全職員
安全衛生委員会(法人)	年6回	施設長
安全衛生委員会(拠点)	月1回	拠点長、各事業所の担当職員
身体拘束・虐待防止委員会	月1回	担当職員
事故防止委員会	月1回	担当職員

接遇マナー向上委員会	月 1 回	担当職員
看取り委員会	月 1 回	担当職員

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
地域交流	年 2 回、地域防災活動に参加
こども宅食事業参加	年 6 回開催(参加回数 2 回)
その他活動	認知症キャラバンで地域、学校へ講師として訪問(4 回)

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	サービス提供責任者 3 名	介護職員 2 名	登録ヘルパー 2 名 + 2
目標	登録ヘルパー 2 名増		
方法	登録ヘルパーは職安を使用できない業務形態のため、楽晴会 OB を含む人との繋がりでリクルート活動を行う		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	サービス提供責任者 3 名	介護職員 1 名	登録ヘルパー 2 名
結果	職員人事異動のため、介護職員 1 名減 登録ヘルパーは就労までつながっておらず 0 名		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	限定職員から正職員へ 1 名変更となる

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 7 名	主事 2 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
略痰吸引 2 名	職員 2 名予定通り取得する		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	4/1
ハラスメント防止啓発活動	12/3、3/4
倫理・法令遵守に係る研修	5/14

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	ハラスメント	全員
5	虐待、身体拘束研修	全員
6	リスクマネジメント	全員
7	BCP 訓練	全員
8	感染症	全員
9	アメーバ経営について	全員
10	介護技術	全員
11	介護技術	全員
12	感染症(二回目)	全員
1	虐待に関する研修	全員
2	BCP 訓練(二回目)	全員
3	介護技術	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
7	喀痰吸引研修	2 名

訪問入浴サービスステーション青空 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
訪問入浴 介護保険法：指定訪問介護事業所 介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービス	
開設日	平成12年2月14日 訪問入浴サービスステーション青空 開設
住 所	青森県三沢市栄町三丁目125-1
連絡先	0176-50-1102
定 員	定めなし 現在29名が利用
利用対象者	要介護1～5の認定を受けた方(予防：要支援者の方)
利用可能地域	三沢市及び近隣市町村
営業日	月～土曜日 9時～16時30分 ※月～土曜日が祝日の場合も営業

・施設環境

車両
給湯システム(ボイラー積載)付き車両1台

《訪問入浴サービスステーション青空 基本方針》

- ・ICT化を促進しスムーズな情報共有、ペーパー管理を減らし労働環境を整え、残業時間月5時間未満、有給取得率70%、離職率0%を目標とする
- ・内部、外部研修を充実させることで個々のモチベーションアップ

1【重点目標】

目標	結果
(1) 利用申し込み時のキャンセルもしくは待機を減らし、6便目の稼働率を上げ、年間収益増を目指す	年間を通して週2便を6便目利用で固定することが出来た、コンスタントに上記+1件も6便目を利用する事が出来た

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	18,443,591.00	21,691,925.00	20,357,217.00
経費合計	5,639,453.00	5,671,083.00	5,853,814.00
差引収益	12,804,138.00	16,020,842.00	14,503,403.00
総時間	8,089.00	8,587.83	8,542.00
時間当り	1,583.00	1,865.50	1,698.00

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
歳代～100 歳代		84.5 歳	12 名	14 名	32 名		
《利用区分》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
2 人	11 人	6 人	12 人	2 人	4 人	3 人	2.48
お客様 ADL		車いす 26 名					
年度の終結		総数 30 名内訳：転居(他施設入居)3 名、死亡 26 名、3 ヶ月入院 1 名					

・利用状況

《利用状況(月)／件数》												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
137	127	118	118	125	111	117	123	134	109	115	124	111.6
週別利用状況／人												
	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜					
午前	3	3	3	3	3	3	0					
午後	2	2	2	3	2	3	0					
《利用料》												
0～3,000	～6,000	～9,000	～10,000	～30,000	～60,000	～100,000						
0 人	0 人	0 人	0 人	8 人	12 人	7 人						

6【主なサービスメニュー】

(1)訪問介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
訪問入浴	看護職員 1 名以上を含めた 3 名以上のスタッフが自宅に訪問し、お客様の健康を確認したうえで専用の簡易浴槽を使って入浴サービスを提供

ケアカンファレンス	ケアカンファレンス毎月第一週火曜日に開催 ケア記録(フォーマット)の見直し 3 ヶ月に 1 回開催
-----------	--

・利用者状況

パーキンソン病	脳梗塞	がん	心疾患	認知症
---------	-----	----	-----	-----

(2)看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
入浴前の健康チェックと健康状態の観察	血圧・脈拍・体温、皮膚疾患など、利用者が入浴可能な健康状態か、入浴後の体調に異常はないか等を看護職員が確認
処置(医療行為に該当しない範囲)	入浴前後の創傷保護や保湿ケア、湿布の貼付など、医療行為に該当しない範囲での処置を行う
相談対応及び医療連携	利用者や家族からの健康に関する相談に対応、入浴中に異常を発見した場合、訪問看護師や主治医と連携し、必要な医療対応
看取りケア	訪問看護、ケアマネジャー、ヘルパーと連携を取り入浴での看取りケアを行なう 看取り件数 24 件

(3)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援サービス	必要なご相談やご助言をお客様又はそのご家族様に対し実施、体調面、金銭面(介護単位の助言)で家族から求められた助言には適切にアドバイスすることが出来ている うち、助言ののち利用回数増につながったお客様 2 名あり

(4)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
職員会議	月 1 回	全職員
安全衛生委員会(法人)	年 6 回	センター長
安全衛生委員会(拠点)	月 1 回	拠点長、各事業所の担当職員
身体拘束・虐待防止委員会	月 1 回	担当職員
事故防止委員会	月 1 回	担当職員
接遇マナー向上委員会	月 1 回	担当職員
看取り委員会	月 1 回	担当職員

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
地域交流	年2回、地域防災活動に参加
こども宅食事業参加	年6回開催(参加回数2回)
その他活動	認知症キャラバンで地域、学校へ講師として訪問(4回)

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者1名	看護職員2名	介護職員2名	
目標	職員現状維持、業務効率化により、常勤職員の残業時間月3時間未満を目標とする		
方法	曜日指定のないお客様に関して訪問の組み合わせにより、稼働と効率化を図る		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者1名	看護職員2名	介護職員2名	
結果	常勤職員の残業時間は平均2時間未満に抑える事が出来ている		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアアップ	内部研修で知識・技術の研鑽※ランクアップ該当職員は現在なし

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士2名	准看護師2名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
自己研鑽	サービス技術向上と福祉の理解を深めるため内部研修を実施		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	4/1
ハラスメント防止啓発活動	12/3、3/4
倫理・法令遵守に係る研修	5/14

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名	参加人数
4	ハラスメント	全員
5	虐待、身体拘束研修	全員
6	リスクマネジメント	全員
7	BCP 訓練	全員
8	感染症	全員
9	アメーバ経営について	全員
10	設備メンテナンス	全員
11	介護技術	全員
12	感染症(二回目)	全員
1	虐待に関する研修(二回目)	全員
2	BCP 訓練(二回目)	全員
3	介護技術	全員

・外部 参加研修 なし

サテライト特養「岡三沢ぬくもりの家」令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・介護保険法：指定地域密着型介護老人福祉施設、(介護予防)短期入所生活介護事業所 ・老人福祉法：第20条の5に基づく特別養護老人ホーム	
開設日	平成17年三沢市と共同提案「サテライト型居住施設特区」認定 平成19年1月 三沢老人ホームサテライト 岡三沢ぬくもりの家開設 (三沢老人ホーム110床から15床分散のち1床増)
住所	青森県三沢市岡三沢一丁目1-97
連絡先	0176-52-6146
定員	16名(2ユニット 9名+7名)
入居対象者	要介護1～5の認定を受けた方(要支援者と65歳以上の方)
入居可能地域	三沢市
営業日	年中無休 24時間、営業日 月～金、営業時間 9時～18時

《施設環境》

施設	
居室(全個室 23.19 m ² /10室、11 m ² /2室、13.08 m ² /2室、40.60 m ² /1室、46.37 m ² /1室)	
食堂兼訓練室①69.56 m ²	食堂兼訓練室②25.33 m ²
送迎用車両	
車両台数：4台(病院受診、散策等)	

《岡三沢ぬくもりの家 基本方針》

お客様への介護サービスをさらに専門性を高め提供していきます。

働きやすい職場環境づくりに取り組みます。

1【重点目標】

目標	取り組みおよび結果
口腔衛生、機能訓練の各専門分野の介入により、新しい知識と技術を身につけ提供する	口腔衛生は歯科医師の研修を受講、また外部の研修も2つ受講し、内部研修を実施し周知実践している 本体施設の理学療法士と委託契約の理学療法士から評価や指示を頂き、生活リハビリは計画的に実施できている
職員の満足度向上の為「ルールブック」を全職員に配布、委員会、面談、会議に用いる	職員満足度調査結果は良好、ルールブックには熱中症対策や喫煙に関するルールを追加し周知している
お客様・ご家族様より満足度調査を行い、双方の満足度から事業所の改善を図る	お客様からの聞き取りは定型の文書では行えず、生活や行事の中での表情や、発語より満足度を確認 面会に關しての改善を対策

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	85,642,785.00	87,733,527.00	85,592,801.00
経費合計	28,912,197.00	27,420,633.00	31,489,622.00
差引収益	56,730,588.00	60,312,894.00	54,103,179.00
総時間	24,261.00	25,841.00	25,016.00
時間当り	2,338.30	2,334.00	2,162.80

3【お客様の現況】

《利用者》							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
70 歳代～100 歳代		89.3 歳	2 名	14 名	3 名		
《利用区分》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 名	0 名	0 名	0 名	1 名	8 名	7 名	4.37
お客様 ADL		自立歩行 0 名 手介助 0 名 杖歩行 0 名 車いす 16 名					
年度の終結		総数 3 名内訳：転居(他施設入居)1 名、死亡 1 名、入院 1 名					

・利用状況

＜入所状況／人＞												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
469	459	478	496	478	464	496	480	496	496	448	496	485

≪費用徴収基準月額≫					
～100,000	～120,000	～140,000	～160,000	～180,000	180,001～
3 名	2 名	4 名	5 名	1 名	1 名

4【主なサービスメニュー】

(1)介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
サービス計画書	お客様それぞれ1年ごとまたは状態変化に伴い見直し、会議を開催(年16回)
担当者会議、モニタリング	モニタリングは3か月ごとに評価
おむつ外しに向けた取り組み	布パンツ着用率50%達成、排便コントロールのための水分摂取やヤクルト、チーズ、ヨーグルト等にて改善し、下剤の服用量を減少させている

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
医療サービス ・嘱託医師の処置	嘱託医師の阪中淳也医師(鳴海外科医院)が毎水曜日の16:00～17:00に施設往診、お客様の健康管理、療養上の指導及び施設の保健衛生の管理指導、往診以外は看護職員が電話で医師の指示を受け、必要時には受診
看護サービス ・入居者の健康管理	看護師1名配置、お客様の健康状態把握に努め異常時には早めの医療処置対応により悪化を防ぎ、感染対策・感染予防のため定期的な会議・研修により情報共有、1年に1回全お客様の健康診断を鳴海外科で行う、その計画と実行
職員の窓口	健康診断・予防接種・各検査等の法人の事業所窓口となる
看取り	1名実施

・入居者の状況

既往症		
レビー小体型認知症	アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症
脳梗塞	脳出血	心疾患
混合型認知症	パーキンソン病	悪性新生物
その他(高血圧症、骨粗鬆症等)		
≪上記に必要な処置等の状況≫		
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布、褥瘡処置
疼痛管理(頓服・湿布)	在宅酸素管理	点滴管理
浣腸、排便	採血	点眼

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)		
理学療法	本体施設の理学療法士と委託契約の理学療法士が月 2 回ずつ来所しアセスメント後リハビリテーション計画書を作成、事業所職員が計画書を基に機能訓練実施		
改善活動	生活リハビリの強化を行い、毎日実施できているお客様が 10 名		
訓練内容			
歩行練習	筋力・移乗能力の維持	座位保持・体幹筋力の保持	
股関節柔軟性の改善	体幹アライメントの維持	体動・座位・移乗動作の維持	
角度維持・バランス練習	車いす自操、上肢機能維持	歩行器練習	
筋力・可動域の維持	起居・移動能力の維持	下肢筋力維持	

(4)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援	お客様やご家族の介護・生活上の悩み等の相談に生活相談員や職員が応じる

(5)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)		
食事の提供		本体施設の栄養士が作成した献立を調理し提供		
行事食		行事・イベント食 月1回以上		
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース食	経管栄養
食種割合(%)	35.7%	35.7%	28.5%	0%

(6)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策(東北町 3)(三沢市内 1)(六戸町 2)
5	グリーンデイ(1 家族参加) 道の駅散策(七戸町 3)
6	外食(まるまつ 3 名)
7	岡三沢こども園マーチング
8	フレッシュサークル(住民 2 名参加) バーベキュー
9	敬老会 散策(アグリ の里 2)
10	外食散策(はま寿司 2)
12	忘年会 100 歳を祝う会
1	初詣(岡三沢神社 3)

2	バレンタインカフェ
3	外食散策(はま寿司 2)
	施設計画(行事以外)
5	総合避難訓練 ボイラー点検
7	貯水槽(受水槽)清掃
8	浴槽水・飲料水・原水検査
10	消防署立入検査
2	消防設備点検

(7)その他運営管理：会議

拠点長(以下：センター長)

名称	開催頻度	構成
地域運営推進会議	年 6 回	地域住民(民生委員・中学校校長・ご家族) センター長 相談員 介護支援専門員
安全衛生委員会(法人)	年 6 回	センター長
安全衛生委員会(拠点)	年 6 回	センター長 施設内担当職員
サービス担当者会議	月 1 回	介護支援専門員 相談員 部門担当職員
ユニット会議(あじさい・つばき)	月 1 回	センター長 施設内担当職員
感染・褥瘡対策委員会	年 4 回	施設内担当職員
身体拘束・虐待防止委員会	年 4 回	施設内担当職員
事故防止・喀痰吸引等安全委員会	月 1 回	施設内担当職員(ヒヤリ集計・分析)
事業継続計画委員会	年 4 回	施設内担当職員
生産性向上委員会	年 4 回	施設内担当職員
給食委員会	年 4 回	施設内担当職員
広報委員会	年 4 回	施設内担当職員
学習委員会	月 1 回	施設内担当職員

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
地域交流	5/20 グリーンデイ 7/12 岡三沢こども園マーチング 8/28 11/29 1/21 フレッシュサークル Oka
こども宅食事業参加	年 6 回開催(各回 1 名参加)
ボランティア受入れ	カットボランティア 2 名

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	生活相談員 2 名	介護職員 6 名+1	看護職員 1 名+1
本体理学療法士 1 名	本体管理栄養士 1 名	調理職員 2 名	介護支援専門員 1 名
目標	・看護職員 1 名増員することで看護体制加算と看取り体制加算算定可能また人員配置で本体理学療法士の介入は無い体制を作れる ・介護職員 1 名増員することでユニットケアの充実を図ることができる		
方法	・ハローワークへの求人 ・外国人特定技能の受入れ		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	生活相談員 2 名	介護職員 7 名	看護職員 1 名
本体理学療法士 1 名	本体管理栄養士 1 名	調理職員 2 名	介護支援専門員 1 名
結果	・看護師は増員ならず、加算の取得へは至らなかった ・外国人特定技能 1 名を 8 月より受入れ、シフトに幅が出来たため朝の対応が充実する		

7【研修・人材育成】

(1) 人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアアップのための資格取得	介護福祉士 合格 1 名
技能実習生の育成	介護技術試験(専門級)合格 1 名

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 8 名	主事 3 名	介護支援専門員 1 名	防災士 1 名
看護師 1 名	調理師 2 名	青森県災害福祉支援チーム員登録 1 名	
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護福祉士	合格 1 名		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
倫理・法令遵守に係る研修	4 月 15 日
ハラスメント防止研修	3 月 30 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	(法)倫理及び法令順守	全員
4	楽晴会経営倫理 看取り	専門職
5	(法)虐待予防／身体拘束／非常災害対策	全員
6	(法)事故発生防止／喀痰吸引	全員
6	ノーリフティングケア	専門職
7	(法)夏場に発生する食中毒／生産性向上／緊急時の対応	専門職
8	(法)感染症の予防	専門職
10	介護記録 認知症ケア／(法)冬場に発生する食中毒	専門職
11	(法)口腔ケア 非常災害対策 生産性向上	専門職
11	(法)身体拘束、虐待防止、感染症 BCP、自然災害 BCP	専門職
1	(法)事故発生防止、褥瘡予防 医療に関する事	専門職
3	(法)喀痰吸引、感染症の予防 口腔ケア、ハラスメント防止	専門職

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
6	高齢者虐待防止	1 名
9	喀痰吸引等研修(指導者の伝達研修) ／介護記録	各 1 名
10	ハラスメント対策セミナー／口腔衛生管理体制／看取り研修 本人の意向を尊重した意思決定のための研修会	各 1 名
11	生産性向上推進セミナー／意思決定支援について考えるターミナル編	各 1 名
12	施設介護支援専門員研修	1 名
1	口腔衛生管理体制	1 名
2	ノーリフティングケア	1 名

岡三沢コラボケアセンター 令和 6 年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
施設サービス種別 ・介護保険法：指定(介護予防)小規模多機能型居宅介護事業所 ・老人福祉法： 5 条に基づく	
開設日	平成 18 年 12 月 岡三沢コラボケアセンター開設
住 所	青森県三沢市岡三沢一丁目 1-97
連絡先	0176-52-6100
定 員	25 人(通いサービス定員 15 人、宿泊サービス定員 5 人)
利用対象者	要介護の認定を受けた方で、事業者と同一の市町村に住んでいる方
利用可能地域	三沢市
営業日	年中無休 日中時間帯／7 時～20 時 通い 8 時 30 分～18 時／訪問 8 時 30 分～18 時／宿泊 18 時～8 時 30 分 ※緊急時ならびに必要時においては柔軟に、通い、訪問および宿泊サービスを提供します

《施設環境》

施設	
宿泊室 33.12 m ² (1 人当たり 8.28 m ²)	居間・食堂 135.81 m ² (1 人当たり 9.05 m ²)
台所 25.67 m ²	浴室 26.91 m ² (機械浴、一般浴等設備あり)
車両	
リフト車 1 台 軽自動車 3 台(内 2 台介護車両)	

《岡三沢コラボケアセンター 基本方針》

お客様への介護サービスをさらに専門性を高め提供していきます。

働きやすい職場環境づくりに取り組みます。

1【重点目標】

目標	結果
口腔衛生、機能訓練の各専門分野の介入により、新しい知識と技術を身につけ提供する	口腔衛生は歯科医師の研修を受講、また外部の研修も受講し内部研修を実施している 委託契約の理学療法士から評価や指示を頂き、生活リハビリは計画的に実施できている
職員の満足度向上の為「ルールブック」を全職員に配布、委員会、面談、会議に用いる	職員満足度調査結果をもとに設備の検討と役割りの体制作りに取り組み、ルールブックは熱中症対策や喫煙に関するルールを追加し周知している
お客様・ご家族様より満足度調査を行い、事業所の改善を図る	説明不足と情報共有に関しての意見があり、共有できるよう作業環境を改善している

2【事業所の経営目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	61,584,140.00	70,883,200.00	57,532,610.00
経費合計	15,687,344.00	16,693,091.00	18,484,066.00
差引収益	45,896,796.00	54,190,109.00	39,048,544.00
総時間	22,919.00	25,676.00	21,889.00
時間当り	2,002.60	2,110.50	1,783.90

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
70 歳代～100 歳代		87.9 歳	7 名	13 名	12 名		
《介護度》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
1 人	1 人	4 人	5 人	4 人	3 人	2 人	2.45
お客様 ADL		自立歩行 8 名 手介助 3 名 歩行器 2 名 車いす 7 名					
年度の終結		総数 8 名内訳：施設入居 2 名、死亡 1 名、入院 5 名					

・利用状況

≪利用状況／人≫	上段：通所		中段：宿泊		下段：訪問		定休日なし							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
通所	289	315	250	266	267	286	297	280	291	282	269	272	280	
宿泊	54	76	40	54	62	87	90	85	91	109	88	94	77.5	
訪問	236	240	216	200	234	290	267	317	400	334	305	341	281	

《利用料》 食費：朝食 410 円 昼食 550 円 夕食 490 円 宿泊 1 泊 2,000 円					
～20,000	～40,000	～60,000	～80,000	100,000	100,001～
2 人	8 人	7 人	2 人	1 人	0 人

4【主なサービスメニュー】

(1)施設介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
居宅サービス計画書	新規利用時や更新認定、サービスの見直し ニーズに合わせ必要なサービスを柔軟に対応している
サービス担当者会議	12 カ月ごとに開催もしくは区分変更 更新認定 12 名
モニタリング	3 カ月ごとに評価 毎月実施 月 17 名～20 名
通い	入浴、機能訓練、レクリエーション、軽作業、手芸、料理
訪問	配食、食事準備、服薬管理、排泄介助、掃除、健康観察
宿泊	食事準備、服薬管理、就寝・起床介助、排泄介助

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
健康管理	お客様のバイタル、受診時(緊急時)の対応
服薬管理	お客様の服薬管理、精神科受診者の服薬後の経過観察、報告
感染対策	感染対策を実施し、感染はあったもののクラスターには至らなかった

・利用者の状況

既往症		
アルツハイマー型認知症	気管支喘息	糖尿病
脳梗塞	脳出血	心疾患
前立腺肥大	パーキンソン病	悪性新生物
高コレステロール血症	その他(高血圧症、骨粗鬆症等)	
《上記に必要な処置等の状況》		
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布、褥瘡処置
疼痛管理(頓服・湿布)	浣腸, 摘便	点眼

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)		
理学療法	委託契約の理学療法士が月 2 回来所しアセスメント後リハビリテーション計画書を作成、事業所職員が計画書を基に機能訓練実施		
訓練内容			
可動域の拡大(股・膝)	移乗能力の維持	活動性の維持・向上	
下肢筋力の維持	体幹を伸展位保持筋力の向上	歩行能力の維持	
歩行器練習			

(4)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)		
食事提供		管理栄養士が献立作成と食材発注し、調理員が調理し提供		
嚥下障害に配慮		個人別にトロミ具合を変えて提供、常食・刻み食・ソフト食・低残渣食(腸疾患)		
配食サービス		主に一人暮らし食事準備困難、買い物困難の方へ、低栄養傾向など個々に合わせ提供		
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース食	低残渣
食種割合(%)	60%	30%	5%	5%

(5)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策(三沢市内)
5	グリーンデイ
6	おやつ作り
7	岡三沢こども園マーチング披露
8	バーベキュー
9	敬老会
10	おやつ作り
11	おやつ作り
12	忘年会
1	おやつ作り
2	バレンタインカフェ 節分
3	ひな祭り(15)、おやつ作り
	施設計画(行事以外)
5	総合避難訓練 ボイラー点検
7	貯水槽(受水槽)清掃
8	浴槽水・飲料水・原水検査

10	消防署立入検査
2	消防設備点検

(6)その他運営管理：会議

拠点長(以下：センター長)

名称	開催頻度	構成
感染・褥瘡・喀痰吸引委員会	月 1 回	センター長、各事業所看護職員
地域運営推進会議	年 6 回	地域住民(民生委員・中学校校長・ご家族) センター長 相談員 介護支援専門員
安全衛生委員会(法人)	年 6 回	センター長
安全衛生委員会(拠点)	年 6 回	センター長 施設内担当職員
サービス担当者会議	月 1 回	介護支援専門員 相談員 部門担当職員
コラボ会議	月 1 回	施設内職員
感染・褥瘡対策委員会	年 4 回	施設内担当職員
身体拘束・虐待防止委員会	年 4 回	施設内担当職員
事故防止・喀痰吸引等安全委員会	月 1 回	施設内担当職員(ヒヤリ集計・分析)
事業継続計画委員会	年 4 回	施設内担当職員
生産性向上委員会	年 4 回	施設内担当職員
給食委員会	年 4 回	施設内担当職員
広報委員会	年 4 回	施設内担当職員
学習委員会	月 1 回	施設内担当職員

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
地域交流	5/20 グリーンデイ 7/12 岡三沢こども園マーチング 8/28 11/29 1/21 フレッシュサークル Oka
こども宅食事業参加	年 6 回開催(各回 1 名参加)
ボランティア受入れ	カットボランティア 2 名

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	介護支援専門員 1 名	介護職員 9 名	看護職員 1 名
事務員 1 名			
目標	人員配置の適正人数の維持		
方法	体調管理を行う		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	介護支援専門員 1 名	介護職員 9 名	看護職員 1 名
事務員 1 名			
結果	介護職員退職者 3 名だったが、紹介会社より 3 名入職しており維持が来ている		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアアップのための研修参加	認知症実践者研修修了
技能実習生の育成	5 月に退職

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 8 名	主事 5 名	介護支援専門員 1 名	防災士 1 名
准看護師 1 名			
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
認知症実践者	1 名修了		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
倫理・法令遵守に係る研修	4 月 15 日
ハラスメント防止研修	3 月 30 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	(法)倫理及び法令順守	全員
4	楽晴会経営倫理	全員
5	(法)虐待予防、身体拘束／非常災害対策	全員
5	接遇	全員
6	(法)事故発生防止／喀痰吸引	専門職
6	ノーリフティングケア	専門職
7	(法)夏場に発生する食中毒	専門職
7	生産性向上／緊急時の対応	専門職
8	(法)感染症の予防／感染症 BCP	専門職

10	介護記録／認知症ケア	専門職
10	(法)冬場に発生する食中毒	専門職
11	(法)口腔ケア／非常災害対策／生産性向上	専門職
11	(法)身体拘束／虐待防止／自然災害 BCP	専門職
12	感染症 BCP	専門職
1	(法)事故発生防止／褥瘡予防／医療に関する事	専門職
3	(法)喀痰吸引／感染症の予防／口腔ケア／ハラスメント防止	専門職

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
6	高齢者虐待防止	1 名
6	福祉用具選定の判断基準改定	1 名
7	認知症実践者研修	1 名
11	ノーリフティングケア	1 名

サテライト特養「松原ぬくもりの家」令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・介護保険法：指定地域密着型介護老人福祉施設、(介護予防)短期入所生活介護事業所 ・老人福祉法：第20条の5に基づく特別養護老人ホーム	
開設日	平成17年三沢市と共同提案「サテライト型居住施設特区」認定 平成23年5月 三沢老人ホームサテライト 松原ぬくもりの家開設 (三沢老人ホーム110床から松原ぬくもりの家へ20床分散)
住所	青森県三沢市松原町1丁目31-3704
連絡先	0176-53-3708
定員	20名(2ユニット 10名+10名)
入居対象者	要介護1～5の認定を受けた方(要支援者と65歳以上の方)
入居可能地域	三沢市
営業日	年中無休 24時間、営業日 月～金、営業時間 9時～18時

《施設環境》

施設	
居室(全個室)16.4㎡12室、16.2㎡8室	食堂兼機能訓練室①55.4㎡②64.4㎡
個浴室 8.24㎡(脱衣室 6.7㎡)	大浴室 23.3㎡(脱衣室 16.15㎡)
送迎用車両	
車両台数：4台(病院受診、散策等)	

《松原ぬくもりの家 基本方針》

私達は地域の要介護高齢者へ、日常生活支援(身体介護・生活援助)・健康管理・レクリエーション・機能訓練等のケアサービスを提供し、施設での暮らしを成り立たせるために、必要なことは何かを見極め、あなたらしい暮らしを考えていきます

1【重点目標】

目標	取り組みおよび結果
月の残業時間を 10.0h 以内の実現	《年間平均残業 28.0 h》業務の見直し、看護師の薬作りを時間内に設定し、令和 7 年 2 月から 8 時間シフトへ変更することで 3 月は平均残業 4.0 h 単月ではあるが目標達成となったため、次年度も取り組み継続予定
委員会活動等 ・生産性向上委員会 ・身体拘束委員会 ・喀痰吸引等安全委員会 ・業務継続計画委員会	年間予定表でモレなく調整、活動は 8 委員会毎に開催 厨房の操作マニュアルが完成 スピーチロックや記録の問題提起により気づきを得ることができた 全員へ手技を再確認、他 2 名の資格合格 訓練により実際の BCP 発動時に職員が率先して動くことができたことが訓練の成果と感じている
議事録、評価、改訂 作業の効率性を高める ために改善する	議事録：1 年を通して期日内提出を呼びかけるも個人差があったが、現在までになかなり早い段階で提出できるようになった 評価：全員が議事録に対して感じたことを記載することで理解度により評価とした 改訂：ぬくもり管理機規定の全面改訂と地域運営推進会議の計画・報告の書式を作成し資料に追加した
ケース会議の開催手順を明確に示し、問題解決力を高める	ケース会議は日程調整がつかず定期開催が難しく、遅れて実施されることが多かった一方で、ユニット会議では各ユニットの課題を共有し、全職員で情報共有ができ、ユニット会議・ぬくもり会議ともに活発な討議が行われた

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	98,432,195.00	106,376,862.00	104,290,050.00
経費合計	34,834,904.00	35,129,829.00	36,546,728.00
差引収益	63,597,291.00	71,247,033.00	67,743,322.00
総時間	34,431.00	32,194.26	32,225.00
時間当り	1,847.00	2,213.00	2,102.20

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
50 歳代～100 歳代		88.5 歳	6 名	14 名	3 名		
《介護度》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 名	0 名	0 名	0 名	5 名	11 名	4 名	4.05

お客様 ADL	自立歩行 0 名 手介助 1 名 歩行器 1 名 車いす 18 名
年度の終結	総数 3 名内訳：死亡 3 名

・利用状況

《入所状況／人》							
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	平均
入所	20	20	20	20	20	20	20
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
入所	20	20	20	20	20	20	20
《費用徴収基準月額》							
～160,000	～180,000	～200,000	～220,000	～240,000	240,001～		
18 名	2 名	0 名	0 名	0 名	0 名		

4【主なサービスメニュー】

(1)介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
施設サービス計画書、担当者会議、	お客様それぞれ 1 年ごとまたは状態変化に伴い見直し、会議を開催：月平均 5 件
モニタリング	3 か月ごとに評価
科学的介護記録(ライフ)	毎月 10 日提出
ユニット会議	ケアカンファレンス・業務改善・日程 月 2 回
行事・レク	毎月 1 回以上開催→24 回実施 誕生日会、季節ごとの行事及びレクリエーションを開催

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
医療サービス ・配置医師の処置	嘱託医、鳴海外科医院の阪中医師、毎週水曜日 16：00～17：30 に往診。指示を受けた必要な処置等を行う
・医師に連絡し指示を受ける体制	家族の希望を医療側に伝える事で必要に応じた処置検討を促す役割、末期や必要時は回診時に指示を受ける
看護サービス ・入居者の健康管理	看取り看護、看取り期には、週 1 回カンファレンス開催する 家族の意向や本人様への支援を検討し緩和ケアを進める 毎年 1 回、全お客様は健康診断を受けている
・劇薬など薬の管理	事務室管理庫で看護師が鍵付きロッカーにて残薬保存、毎日の薬は看護師管理

・入居者の状況

既往症	既往症	既往症
レビー小体型認知症	アルツハイマー型認知症	自律神経失調症
脳血栓	左被殻出血	慢性腎不全

脊柱管狭窄症	パーキンソン病	悪性新生物
左脳梗塞	ネフローゼ	前立腺肥大症
その他(高血圧症、骨粗鬆症等)		
《上記に必要な処置等の状況》		
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布、褥瘡処置
疼痛管理(頓服・湿布)	抗精神病薬管理	点滴管理
浣腸,摘便	採血	点眼
在宅酸素療法管理		

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)	
理学療法	委託契約の理学療法士が月 2 回来所しアセスメント後リハビリテーション計画書を作成、事業所職員が計画書を基に機能訓練実施、歩行訓練、座位保持、可動域訓練、ストレッチ等	
訓練内容		
歩行練習	可動域訓練	座位保持練習
筋力維持練習	車いす移乗・操作	生活習慣の改善
体重移動訓練		

(4)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援	お客様やご家族の介護・生活上の悩み等の相談に生活相談員や職員が応じる

(5)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)		
食事の提供		季節毎にメニューを提供、嚥下障害に配慮し、個人別にトロミ具合を変え、朝食は調理済み食材を業者から購入したものを職員が加熱提供し、昼食・夕食は三沢老人ホーム管理栄養士が献立作成と食材発注したものを職員が調理提供		
行事食		季節や行事に合わせ、旬の物や習わしに合わせた食事を提供		
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース	経鼻経管
食種割合(%)	55%	65%	15%	5%

(6)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策(十和田)(4)

5	お酒を嗜む会(15)
6	ボウリング・デザートバイキング(20)
7	七夕行事(12)
8	夏祭り(20)
9	敬老会(20)、秋を楽しむ会(20)
10	寿司の日(19)、月見会(20)
11	お酒を嗜む会(15)、ドライブ散策(2)
12	クリスマス会(20)
1	小正月もちつき(19)
2	節分(20)
3	ひな祭り(20)
	施設計画(行事以外)
6	総合避難訓練
7	ボイラー点検
10	総合避難訓練 消防設備点検
12	貯水槽清掃 水質検査
1	消防設備点検

(7)その他運営管理：会議

拠点長(以下：センター長)

名称	開催頻度	構成
安全衛生委員会(法人)	年 6 回	センター長
地域運営推進会議	年 6 回	センター長 介護支援専門員
サービス担当者会議	月 1 回	介護支援専門員 相談員 部門担当職員
職員会議	月 1 回	全職員
部門会議	月 1 回	全職員
ユニット会議	月 2 回	ユニットリーダー・ユニット職員
委員会(9 委員会)	年 4 回	センター長 施設内担当職員
ターミナルケアカンファレンス	週 1 回	センター長 施設担当職員 看護師

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
地域交流	5/20 運動会 4 名参加
こども宅食事業参加	年 6 回開催(各回 1～2 名参加)
地域清掃活動	春・秋のクリーン作戦参加
ボランティア受入れ	毎月散髪ボランティア～理容室・美容室

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	介護支援専門員 1 名	生活相談員 2 名	介護職員 10 名
看護師 2 名	支援員 2 名	調理員 1 名	
目標	＊日常生活継続支援加算Ⅰ取得のため介護福祉士資格人員の増強 ＊業務効率を推進し職員を増員せず残業月平均 1 時間の短縮		
方法	＊現在の職員の離職防止に努める ＊ノーリフトの推進、記録作業の改善、ICT の有効利用		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	介護支援専門員 1 名	生活相談員 2 名	介護職員 9 名
看護師 2 名	支援員 2 名	調理員 1 名	
結果	＊日常生活継続支援加算Ⅱ取得から変更なし、資格保持者不足のため未達 ＊眠りスキャン・インカム・室内カメラ導入にて業務効率と職員負担減 ＊業務時間のすべてのシフトを 8 時間労働に変更をした		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	ユニットリーダーからケアワーカーまで、キャリアアップとはならなかった
意識改革	個別のモチベーションアップのため役割と責任が取れるように働きかけたこと、報告書提出もルール化して無理なく取り組めるようにしたことで、職員の意識に変化がみられるようになった
技能実習生の育成	介護技術を学びながら日本語のレベルアップ(日本語能力検定合格)を目標に就業介護初級試験合格 2 名

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 6 名	主事 3 名	介護支援専門員 1 名	看護師 2 名
調理師 0 名	青森県災害福祉支援チーム員登録 2 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護福祉士	実務者研修修了者 1 名、介護福祉士資格取得できず		
認知症基礎研修	2 名取得		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
楽晴会ケア、倫理及び法令順守	5月22日
自然災害(BCP)訓練	11月27日
マインドフルネス	2月21日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加数
5	(法)倫理及び法令順守	全員
6	(法)虐待予防、身体拘束・事故防止・喀痰吸引	全員
7	感染症(BCP)訓練・褥瘡予防	全員
8	自然災害(BCP)訓練	全員
10	緊急時の対応	全員
11	感染症(BCP)訓練・総合火災訓練・自然災害(BCP)訓練	全員
12	福祉避難所開設訓練	全員
1	職場の安全衛生	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加数
5	青森県災害福祉支援チーム登録研修	1名
6	熱中症予防教育講習会、青森県喀痰吸引研修	各1名
7	令和6年度介護テクノロジー展&実践事例から学ぶ業務改善セミナー	1名
7	令和6年度青森県老人福祉施設大会	1名
8	令和6年度青森県認知症介護実践研修	1名
8	心理学で支える認知症	1名
8	安全衛生推進者養成講習会	1名
8	令和6年度介護施設における安全対策担当者養成研修	1名
9	青森県介護テクノロジートライアル事業展示会	2名
9	東北ブロック老人福祉施設大会・研究会	1名
9	令和6年度認知症キャラバン・メイト養成研修	1名
9	令和6年度介護記録研修会	1名
10	令和6年度介護サービス情報の公表制度「10の研修テーマ」	2名
10	ノロウイルス食中毒予防講習会	1名
10	上十三保健所地域保健関係者研修	1名
11	自分の心と相手の心をまもるためのメンタルヘルス研修	1名
11	ノーリフティング地域別研修会	2名
12	看看連携で深める地域づくり研修会	1名
2	あおりノーリフティングフォーラム～管理者編・実践報告会	2名

松原コラボケアセンター 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・介護保険法：指定(介護予防)小規模多機能型居宅介護事業所 ・老人福祉法：5条に基づく	
開設日	平成23年5月 松原コラボケアセンター開設
住 所	青森県三沢市松原町1丁目31-3704
連絡先	0176-53-3783
定 員	25人(通いサービス定員15人、宿泊サービス定員5人)
利用対象者	要介護の認定を受けた方で、事業者と同一の市町村に住んでいる方
利用可能地域	三沢市
営業日	年中無休 日中時間帯／7時～20時 通い8時30分～18時／訪問8時30分～18時／宿泊18時～8時30分 ※緊急時ならびに必要時においては柔軟に、通い、訪問および宿泊サービスを提供します

・施設環境

施設	
宿泊室 11.96 m ² 、12.12 m ² 、7.44 m ²	食堂兼機能訓練室 45.3 m ²
浴室 23.30 m ² (脱衣室 16.15 m ²)	
車両	
乗用車(福祉車両)3台、軽自動車1台	

《松原コラボケアセンター 基本方針》

私達は地域の要介護高齢者へ、通いサービス・宿泊サービス・訪問サービス・レクリエーション・機能訓練・その他必要なサービス(訪問看護、福祉用具)を提供し、自宅での暮らしを成り立たせるために、必要なことは何かを見極め、あなたらしい暮らしを考えていきます。

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
年間総サービス提供高 6,000 万以上の実現	年間 63,331,143 円の結果となり、目標達成となる 時間当たりは 2323.3 円と昨年より 417.8 円増
役割分担、人員配置の効率性を高めるために改善する	9 月から常勤職員 1 名増員し、新規受け入れ体制を作り、お客様のニーズに合わせたサービスを提供し、12 月初めから 25 人の登録を維持できるようになった
安心して自宅で過ごせるように、訪問サービスのバリエーションを開発する	新規のお客様のサービス内容が決定できるまでに本人、家族、職員と何度も調整、職員の出勤時間の変更により柔軟な対応を行い、それをきっかけに訪問や通い時の送迎に変化がでてきた
2 週間ごとに週間空き状況等を関係各所に配信し、認知度を高める	困難ケースを引き受けてから小多機の利用方法を確実に理解した居宅支援や地域包括から新規の相談が来るようになり、25 人登録となっても相談が来ていることから、小多機の認知度が上がったと感じる

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	52,655,210.00	62,737,620.00	63,331,143.00
経費合計	16,977,687.00	17,425,711.00	17,875,985.00
差引収益	35,677,523.00	45,311,909.00	45,455,158.00
総時間	18,724.00	19,463.58	19,565.00
時間当り	1,905.50	2,328.00	2,323.30

3【お客様の現況】

≪利用者≫ 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	≪うち新規利用者≫		
70 歳代～90 歳代		88.2 歳	6 名	19 名	1 名		
≪介護度≫							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
1 人	3 人	7 人	7 人	6 人	1 人	0 人	2.05
お客様 ADL		自立歩行 12 名 手介助 3 名 杖歩行 3 名 歩行器 3 名 車椅子 4 名					
年度の終結		総数 10 名内訳：転居(他施設入居)4 名、自宅復帰 2 名、入院 4 名					

・利用状況 (生保1人～0円)

《利用状況／人》													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通所	275	278	224	244	267	262	263	277	279	263	258	341	269
宿泊	93	95	87	69	91	88	80	78	59	80	77	121	85
訪問	198	299	284	210	325	333	332	330	443	379	359	390	332
《利用料》 食費：朝食410円 昼食550円 夕食490円 宿泊1泊2,000円													
～40,000	～60,000			～80,000			～100,000			120,000		～150,000	
13人	3人			4人			2人			1人		1人	

4【主なサービスメニュー】

(1)介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
居宅サービス計画書	居宅サービス計画書…6カ月ごとに見直し
サービス担当者会議	サービス担当者会議6カ月ごとに開催 11月3件 1月3件 2月1件 3月4件
モニタリング	モニタリング6カ月ごとに評価、毎月実施 月25名
通い	入浴、機能訓練、レクリエーション、軽作業、手芸、料理
訪問	配食、食事準備、服薬管理、排泄介助、掃除、健康観察
宿泊	夕食、服薬介助、口腔ケア、排泄介助、就寝ケア、見守り

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
健康管理	お客様のバイタル、受診時(緊急時)の対応、排便管理、配食サービス
服薬管理	お客様の服薬管理、精神科受診者の服薬後の経過観察、報告

・利用者の状況

既往症	既往症	既往症
レビー小体型認知症	アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症
脳梗塞	脳出血	心疾患
水頭症	パーキンソン病	悪性新生物
その他(高血圧症、骨粗鬆症等)	慢性硬膜下血腫	変形性膝関節症
《上記に必要な処置等の状況》		
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布
疼痛管理(頓服・湿布)	劇薬(抗精神病薬)管理	点眼

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)		
理学療法	委託契約の理学療法士が月 2 回来所しアセスメント後リハビリテーション計画書を作成、事業所職員が計画書を基に機能訓練実施、平行棒内歩行、階段昇降、歩行訓練、スクワット、ストレッチ等		
訓練内容			
歩行練習	筋力・移乗能力の維持	座位保持練習	
筋力強化・維持練習	骨盤の後傾位改善	生活習慣の改善	
角度維持・バランス練習	車いす自操、上肢機能維持	歩行器練習	

(4)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)		
食事提供		・ 本体施設の管理栄養士が献立作成と食材発注し、職員が調理し提供 ・ 季節毎にメニューを工夫		
嚥下障害に配慮		個別に常食・刻み食・ソフト食・低残渣食(腸疾患)、トロミ具合を変えて提供		
行事食		イベントや季節行事のお膳、敬老のお祝い膳などを提供		
配食サービス		主に一人暮らし食事準備困難、買い物困難の方へ、低栄養傾向など個々に合わせ提供		
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース	ミキサー
食種割合(%)	88.0%	12.0%	0%	0%

5)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策～おいらせ町(11)・誕生会
5	母の日&誕生会(5)
6	ランチ散策(3)・誕生会
7	七夕行事、誕生会(9)・バーベキュー
8	買い物散策(5)、夏祭り(15)
9	敬老会(12)
10	収穫祭(10)
11	十和田湖方面散策(5)、誕生会、ミニ運動会
12	芸能披露&餅つき会(15)、クリスマス会(7)
2	節分(15)、誕生会
3	ひな祭り(15)、誕生会、外食散策(八食センター)

	施設計画(行事以外)
6	総合避難訓練
7	ボイラー点検
9	総合避難訓練 消防設備点検
12	水質検査
1	消防設備点検

(6)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
喀痰吸引委員会	毎月1回	拠点長、各事業所看護職員
身体的拘束適正委員会	年4回	拠点長、担当職員
事故防止対策委員会	年4回	拠点長、担当職員
褥瘡予防委員会	年4回	拠点長、担当職員
感染対策委員会	年4回	拠点長、担当職員
虐待防止委員会	年4回	拠点長、担当職員
生産性向上委員会	年4回	拠点長、担当職員
事業継続計画委員会	年4回	拠点長、担当職員
コラボ会議	月1～2回	拠点長、ケアマネ、介護・看護職員
地域運営推進会議	年6回	運営推進委員(地域)担当職員
職員会議	月1回	拠点長、ケアマネ、介護・看護職員

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
こども宅食事業参加	9月、11月(各回1名参加)
クリーン作戦	10/20実施

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者1名	介護支援専門員1名	サブリーダー1名	介護職員10名
事務員1名	看護職員1名		
目標	＊訪問体制加算取得のため必要人員の増強 ＊業務効率を推進し職員を増員せず残業月平均1時間の短縮		
方法	＊拠点内での人事異動にて人員確保 ＊9時間勤務を削除し、シフト変更にてすべての勤務を8時間勤務とする		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	介護支援専門員 1 名	サブリーダー1 名	介護職員 10 名
事務員 1 名	看護職員 1 名		
結果	＊1 名増員で訪問体制加算取得となる ＊8 時間勤務としてシフト変更する		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアアップとしてサブリーダーがアセッサー研修にのぞみ、資格取得した、また防火管理者講習参加により 1 名資格取得し、日々の避難訓練及び B C P 訓練時に活躍している
技能実習生の育成	介護技術を学びながら日本語のレベルアップ(日本語能力検定合格)を目標に就業介護初級試験合格 2 名

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 6 名	主事 4 名	介護支援専門員 1 名	准看護師 1 名
事務員 1 名	青森県災害福祉支援チーム員登録 1 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
アセッサー	1 名資格取得		
防火管理者	1 名資格取得		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
楽晴会ケア、倫理及び法令順守	5 月 22 日
自然災害(B C P)訓練	11 月 27 日
マインドフルネス	2 月 21 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	(法)倫理及び法令順守	全員
5	(法)虐待予防、身体拘束 接遇マナー研修	全員
6	総合火災訓練	全員

7	感染(BCP)訓練 褥瘡予防	全員
8	虐待防止 自然災害(BCP)訓練 レクリエーション技法	全員
9	(法)感染症及び食中毒～理解度テスト 緊急時の対応	全員
10	感染(BCP)訓練	全員
11	総合火災訓練 自然災害(BCP)訓練 口腔ケア	全員
12	福祉避難所開設訓練	全員
2	虐待防止	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
5	青森県災害福祉支援チーム登録研修	1名
6	デイサービス職員スキルアップ研修	1名
7	内部監査員養成研修	2名
8	令和6年度青森県認知症介護実践研修(実践者研修)	1名
8	心理学でささえる認知症	1名
8	令和6年度介護施設における安全対策担当者養成研修	1名
9	令和6年度青森県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名
9	東北ブロック老人福祉施設大会・研究会	1名
10	甲種防火管理新規講習会	1名
10	青森県小規模多機能型居宅介護職員研修会	1名
10	令和6年度青森県歯科保健指導者研修会	1名
11	令和6年度青森県新介護職員応援イベント	1名
12	令和6年度認定調査従事者現認研修	1名
12	令和6年度能登半島地震発生に伴う介護職員の派遣	1名
1	介護職員の口腔ケアに関する知識・技術の習得	1名
2	アセッサー講習	1名
3	青森DWTコーディネート研修	1名

シニアライフ大津 令和 6 年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・サービス付き高齢者住宅(混合型特定施設入居者生活介護施設) ・介護保険法：混合型特定施設入居者生活介護施設 ・老人福祉法：該当しないが、老人福祉法規制の対象施設	
開設日	平成 24 年 10 月 サービス付き高齢者住宅シニアライフ大津開設 平成 30 年 6 月介護保険法「(介護予防)特定施設入居者生活介護」取得
住所	青森県三沢市大津二丁目 12-374
連絡先	0176-58-5057
定員	40 名
入居対象者	要支援・要介護認定を受けている方
入居可能地域	定めなし
営業日	年中無休 24 時間、日中稼働時間 6:00~21:00(夜間も常駐)

《施設環境》

施設		
居室：全室個室 19.87 m ² 全 40 室(全室トイレ・洗面台付)		医務室 12.96 m ²
食堂 南棟 90.81 m ²	訓練室 79.49 m ²	談話室 44.71 m ²
食堂 北棟 90.81 m ²	事務所・休憩 10.9 m ²	健康管理室 12.7 m ²
事務所・休憩室 10.9 m ²	食堂・機能訓練室 81.81 m ²	
送迎用車両		
車両：2 台(病院受診等)		

《シニアライフ大津 基本方針》

・お客様 1 人 1 人がその人らしく、自立した生活が出来るよう支援する。 ・ご家族や地域との関りを大切に、行事や防災などを通し地域交流・連携を図る。 ・働きやすい職場環境と専門職育成の為に仕組み作りに努める。 ・持続可能な施設運営の一環として、エネルギー使用量の削減と効率化を図る。

2【重点目標】

目標	取り組みおよび結果
品質向上	・三沢訪問看護ステーションのPT・OTの週2回の訪問指導によりリハビリ体制が強化され達成 ・NPI・眠りスキャンによる分析を主治医に提供し、薬物療法・非薬物療法によりQOL改善した事例があり達成
防災・感染症対策	・自然災害・感染症BCPの研修と訓練を実施し達成
働きやすい職場	・スライディングボード等の福祉用具を用いてノーリフトケアの推進を試みるが腰痛化率は横ばいで未達 ・眠りスキャン・福祉の森フューチャーを活用し情報共有や業務スケジュールの効率化を図れたことで達成
専門性の向上	・高齢者虐待防止委員会の活発な活動で達成
経営の安定	・下半期に人員配置の見直しとデイサービス併設、業務改善を試み、黒字化が実現可能な状況となったため達成

1【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	164,216,527.00	165,577,080.00	166,990,910.00
経費合計	84,619,001.00	82,473,007.00	86,313,282.00
差引収益	79,597,526.00	83,104,073.00	80,677,628.00
総時間	42,054.00	43.670.00	43,525.00
時間当り	1,892.80	1,903.00	1,853.60

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
50 歳代～100 歳代		86.3 歳	13 名	27 名	11 名		
《利用区分》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 名	0 名	7 名	9 名	6 名	9 名	9 名	3.10
お客様 ADL		自立歩行 3 名 手介助 0 名 杖歩行 0 名 車いす 32 名 歩行器 5 名					
年度の終結		総数 13 名内訳：転居(他施設入居)1 名、死亡 9 名、3 ヶ月入院 3 名					

・利用状況

《入所状況／人》													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
入所	1,157	1,168	1,168	1,230	1,222	1,200	1,240	1,191	1,226	1,209	1,030	1,194	1,186

≪費用徴収基準月額≫ ※食費 1 日あたり 1,445 円 ※居室費 1 日あたり 855 円						
～100,000	～120,000	～140,000	～160,000	～180,000	～200,000	200,001～
4 名	0 名	6 名	25 名	3 名	2 名	0 名

5【主なサービスメニュー】

(1) 施設介護サービス

施設介護サービス	実施内容(結果)
介護サービス計画	6 ヶ月に 1 回以上の見直し、状態変化に伴う見直し 介護計画(ケアプラン)に沿った、食事や入浴、排せつ支援等 の実施
モニタリング	3 ヶ月に 1 回以上、ケアプラン評価を 6 ヶ月毎に 1 回以上実 施
主な活動および日課	日課：ラジオ体操、歩け歩け体操 アクティビティ：誕生会(毎月)、セブンイレブン訪問販売 (月 2 回)、制作活動(時季により実施)、外出支援(個別希望 時) 大行事：敬老会 クリスマス会 ミニ運動会等

(2) 医療・看護サービス

医療サービス		実施内容(結果)	
入所者の主治医と医療連携		サービスの提供中にお客様の病状等が急変、またはその他緊急事態が生じた時は、速やかに主治医又は協力医療機関(三沢市立三沢病院)に連絡、搬送、往診対応を行う	
看護処置		吸引、インシュリン注射、排便、浣腸、褥瘡等処置、胃ろう	
ケアプランに沿った、健康管理支援の実施		家族の希望を医療側に伝える事で必要に応じた処置検討を促す、各医院への紹介状依頼、緊急搬送後の情報提供 末期や必要時は回診時に指示を受ける	
劇薬など薬の管理		自己管理の薬以外は全て医務室管理庫で看護師が管理	
看取り		前年度複数名の看取りを実施、本年度も精神面のケアを中心にした看取りを実施、看取り総数 9 名	
≪入所者の疾患の状況≫			
脳梗塞	心疾患	糖尿病	高血圧
脳出血	パーキンソン病	アルツハイマー病	多系統萎縮症
脊髄小脳変性症	肺癌	前立腺癌	
≪上記に必要な処置等の状況≫			
吸引	吸入	血糖チェック	排便
在宅酸素	インスリン注射	経管栄養	褥瘡処置(軽度含む)

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容	
ケアプランに基づいた訓練の実施	歩行状態や起居移乗動作など日常生活の中で付き添い、見守りしながら、日常生活の中で生活リハビリとして取り組めるよう練習内容を計画し介護職と連携を図り取り組んでいる	
訓練内容		
歩行練習	筋力・移乗能力の維持	座位保持練習
筋力強化・維持練習	車椅子自操	生活習慣の改善
バランス練習	上肢機能維持	歩行器練習

(4)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
入居者又はそのご家族様からの相談	お客様の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者又はそのご家族様からの相談に応じるとともに、必要な助言その他の援助を行う
相談件数	・入所者との入所契約 12 名(うち家族との代理契約 12 名) ・入所希望者との面談、意思確認等のケースワーク 15 名 ・入所希望者家族との面談 15 名 ・ケースカンファレンス 4 月～3 月 116 件
その他活動	居宅ケアマネからの相談、医療機関地域連携室からの相談(医療行為にどこまで対応できるか等)を受け、受け入れ可能であれば繋げていく

(5)食事サービス

取り組み		実施内容			
食事サービス		日清医療食品様へ委託契約し、栄養士により管理された食事をお客様の状態に合わせて提供、楽しみとして季節ごとの行事食の提供あり			
食事サービス会議		会議を毎月開催し、食事に対する要望や改善点を日清医療食品様と共有、解決し、食事サービスの満足度向上に努めている			
備蓄品の管理方法見直し		3 日分から 4 日分に拡大			
給食管理の状況					
食種	常食	一口大	ムース	ミキサー	経管栄養
食種割合(%)	35.70%	51.50%	0.00%	10.00%	1.25%

(6)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見ドライブ(11)、手作りおやつ(20)、誕生日会(3)
5	つつじ散策(4)、誕生日会(8)
6	つつじ散策(4)、誕生日会(2)
7	お楽しみ会(20)、誕生日会(2)
8	納涼お楽しみ会(20)、誕生日会(2)
9	敬老会(40)、誕生日会(1)
10	誕生日会(4)
11	秋のお楽しみ会(40)、誕生日会(1)
12	年の瀬お楽しみ会(40)、誕生日会(1)
1	新年お楽しみ会(40)、誕生日会(3)
2	節分(40)、ミニ運動会(40)、誕生日会(2)
3	ひな祭り(40)、誕生日会(4)
	施設計画(行事以外)
5	総合訓練
7	ボイラー点検、貯水槽清掃、配管殺菌
9	水質検査、防災設備点検
3	ボイラー点検、消防設備点検、水質検査

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
拠点会議	毎月	施設長、ケアマネ、相談員、介護リーダー、看護責任者
職員会議	毎月	全職員
事故防止委員会	毎月	委員会組織メンバー
感染予防委員会	毎月	委員会組織メンバー
生産性向上委員会	毎月	委員会組織メンバー
防災対策委員会	年4回	委員会組織メンバー

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
ボランティア受入れ	音楽活動ボランティア3名、カットボランティア2名

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1.0 名	介護支援専門員 1.0 名	生活相談員 1.0 名	看護師 2.7 名
介護職員 15.7 名	事務員 0.75 名	ハウスキーパー 1.28 名	
目標	生産性向上を推進し人員削減しサービス提供する		
方法	相談・看護・介護のオペレーションの課題を抽出し改善を試みる 特に入浴介助、看護業務、受診介助、情報共有について重点的に改善を図る		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1.0 名	介護支援専門員 1.0 名	生活相談員 1.0 名	看護師 2.65 名
介護職員 13.7 名	事務員 0.75 名	ハウスキーパー 1.28 名	
結果	成果として、R6.4 介護職員 15.7 人→R7.3 介護職員 13.7 人と生産性向上を図ることが出来た 各棟完結型から両棟完結型に業務改善し人員配置を工夫、重複記録を撤廃し記録システム中心に情報共有、備品の整理整頓で動線を改善、看護業務のシステム化などの改善に成功した		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導担当の配置と各種研修参加支援 キャリアラダーランクアップは 0 名 R2 研修参加 1 名
技能実習生の育成	介護技術を学びながら日本語のレベルアップ(日本語能力検定合格)を目標に就業介護初級試験合格 1 名、N3(日本語能力検定)合格 1 名

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 11 名	主事 5 名	介護支援専門員 1 名	防災士 0 名
看護師 2 名	准看護師 1 名	理学療法士 0 名	管理栄養士 0 名
調理師 0 名	青森県災害福祉支援チーム員登録 1 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護福祉士	受験 1 名(不合格)		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	8月10日
ハラスメント防止啓発活動	8月10日～8月31日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	介護技術、自然災害 BCP	全員
5	防災マニュアル、感染症 BCP	全員
6	接遇マナー、自然災害 BCP	全員
7	事故防止、高齢者虐待防止	全員
8	ハラスメント、感染症 BCP	全員
9	身体拘束適正化、自然災害 BCP	全員
10	防災マニュアル	全員
11	感染症予防、事故防止	全員
12	自然災害 BCP	全員
1	高齢者虐待防止	全員
2	身体拘束適正化、感染症予防	全員
3	感染症 BCP	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
5	口腔ケアに対する知識・技術の習得	2名
6	高齢者ケアスタッフ研修	1名
7	喀痰吸引等研修	1名
8	喀痰吸引等研修	1名
9	喀痰吸引等研修	1名
10	国際福祉機器展	1名
10	防火安全研修会	1名
11	感染対策特別研修会	1名
1	人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス	1名
3	科学的介護情報システム研修会	2名

三沢デイサービスセンター 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・地域密着型通所介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業 ・介護保険法：指定通所介護事業所、指定介護予防・日常生活支援総合事業 ・老人福祉法：老人デイサービス事業	
開設日	昭和58年1月三沢デイサービスセンター開設 令和6年8月指定変更(通常規模から地域密着へ) 令和6年10月事業所を三沢拠点から大津拠点へ移転
住所	青森県三沢市大津二丁目12番374
連絡先	0176-58-5058
定員	18名
利用対象者	要介護1～5の認定を受けた方(予防：要支援者と65歳以上の方)
利用可能地域	三沢市
営業日	月～土 午前8時15分～午後5時15分

《施設環境》

施設		
食堂兼機能訓練室 71.28 m ²	静養室 11.59 m ²	相談室 8.28 m ²
脱衣室 19.02 m ²	浴室 29.81 m ²	特浴脱衣室 11.59 m ²
特浴室 16.56 m ²		
送迎用車両		
リフト付き福祉車両2台、スロープ付き福祉車両1台、軽自動車1台		

《三沢デイサービスセンター 基本方針》

三沢デイサービスセンターとして、①お客様満足、②職員の満足、③環境問題、④防災活動についての取り組みを方針とし、介護サービスとしての品質向上はもちろんとし、職員や地域からも魅力のある事業として評価して頂ける様に取り組んで参ります。

1【重点目標】

目標	結果
(1)お客様の満足 ①顧客満足度調査の実施	今年度は、事業所の移転し満足度を調査するにあたり、時期の延期が適当であると判断し未実施
②行事やレクレーションの見直し	お客様が「自己決定」できるように、活動を数パターン準備、楽しみとなるよう行事やレクレーションを企画して、年間開催数 23 回から 26 回の開催実施
(2)職員の満足	職員満足度調査の実施 Q1 担当する職場について⇒普通 7 名、やや不満 1 名 Q2 職場の労働環境について⇒やや満足 2 名、名普通 6 名 Q3 実施しているサービスについて⇒やや満足 1 名、普通 7 名
(3)環境問題	デスクネッツ回覧での情報共有を継続、居宅事業所へインターネット FAX 等を活用しペーパーレス化に取り組むことで、令和 2 年度事務書類比較 7%の削減
(4)防災活動	BCP 図上訓練を実施し非常災害時の確認を図っている

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	40,335,363.00	43,739,563.00	42,184,093.00
経費合計	14,808,529.00	15,416,082.00	16,478,773.00
差引収益	25,526,834.00	28,323,481.00	25,705,320.00
総時間	17,732.00	15,536.97	15,590.00
時間当り	1,439.60	1,823.00	1,648.80

3【お客様の現況】

《利用者》						
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》	
50 歳代～100 歳代		86.7 歳	15 名	24 名	39 名	
《利用区分》						
総合事業	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
10 人	9 人	10 人	6 人	3 人	0 人	2.1
お客様 ADL		自立歩行 18 名 手介助 3 名 杖歩行 13 名 車いす 5 名				
年度の終結		総数 14 名内訳：転居(他施設入居、サービスへ移行)10 名、永眠 3 名、3 ヶ月入院 2 名				

・利用状況

《利用状況／人》													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
稼働日	26	27	25	27	27	23	27	26	25	24	24	26	26
利用数	342	359	317	348	336	322	387	391	391	357	342	384	356
日平均	13.2	13.3	12.7	12.9	12.4	14.0	14.3	15.0	15.6	14.9	14.3	14.8	14.0
《費用徴収基準月額》 ※食費 1食あたり 520円													
0～8,000	～10,000			～20,000			～30,000			～40,000			～50,000
11人	5人			10人			11人			1人			0人

4【主なサービスメニュー】

(3) 通所介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
6ヶ月毎のモニタリング	通所介護計画書をもとにサービスを展開
疾患別ケア	車椅子5人 麻痺7人 認知症による行動障害 4人 不安愁訴3人
処遇計画に多職種の視点で計画・実施・評価	個別ニーズを反映した支援及び介護の提供のため、生活改善の取り組みとして各係(食事・入浴・排泄)を設け改善体制を整え活動、検討課題については会議で検討し、全職員に周知

・1日の流れ

AM	メニュー	PM	メニュー
～10:00	送迎	～13:30	静養・余暇
～10:30	バイタル、体調チェック	～14:30	体操、機能訓練
～11:30	余暇・趣味、機能訓練、入浴	～15:30	レクリエーション、おやつ
～12:30	昼食、口腔ケア	15:40～	送迎
午後のアクティビティ			
塗り絵、手芸、トランプ、オセロ、将棋、カラオケ、買物散策など			
脳トレ(毎日)お客様のご要望に合わせて提供(計算・間違い探し・クロスワード・パズル・知恵の輪など)			
体操(毎日) 集団レク(輪投げ・ストラックアウト・ゲートボウリング・ボール入れ・風船バレー・物送り・魚釣り・DVD鑑賞など)週に6回程度実施			

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)		
体調管理	体調管理(バイタル測定)		
処置	服薬管理、医師の指示のもと患部処置		
既往症			
脳梗塞		脳出血	心疾患

骨粗鬆症等	高血圧症	内臓疾患
レビー小体型認知症	アルツハイマー型認知症	皮膚疾患
脳血管性認知症	糖尿病	その他

(3) 機能訓練サービス

項目	実施内容(結果)		
個別機能訓練	機能訓練指導員(看護師兼務)と PT により評価(3 ヶ月毎)、計画、実施		
訓練内容			
歩行練習	筋力・移乗能力の維持	座位保持練習	
筋力強化・維持練習	骨盤の後傾位改善	生活習慣の改善	
角度維持・バランス練習	車いす自操、上肢機能維持	歩行器練習	

(4) 相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援	お客様やご家族の介護・生活上の悩み等の相談に生活相談員や職員が応じる
担当者会議	年間 40 件

(5) 食事サービス

取り組み		実施内容		
食事サービス		三沢老人ホームの管理栄養士が献立を作成し調理した食事を運搬し提供		
嗜好調査と代替対応		嗜好のヒヤリングをして代替で適宜対応している		
食事運搬の管理		運搬時間の測定と室内温度を適切に保つために専用の保冷保温できる容器での運搬と温度測定の実施		
行事食		年４回以上		
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース	ミキサー
食種割合(%)	85%	12.5%	2.5%	0%

(6) 年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	花見散策(十和田官庁街観桜～産直での買物)(22)
5	料理クラブ(15)園芸(6)、買物散策(18)
6	料理クラブ(13)、買物散策(14)
7	料理クラブ(12)、斗南藩ドライブ散策(13)、買物散策(21)
8	買物散策(14)、アグリのに里散策(16)ミニ夏祭り(13)

9	敬老会(34)、買物散策(23)
10	ハロウィンお茶会(12)、買物散策(18)
11	紅葉散策(20)、買物散策(20)
12	クリスマス会(14)、買物散策(18)
1	小正月もちつき(15)、買物散策(19)
2	節分(13)、料理クラブ (13)
3	ひな祭り(17)、買物散策(17)
	施設計画(行事以外)
4	防災訓練
6	総合避難訓練
7	ボイラー点検
8	指定変更(地域密着型通所介護へ変更)
9	総合避難訓練 消防設備点検
10	事業所移転(大津拠点へ移転)
2	感染症 BCP 訓練、自然災害 BCP 訓練
3	運営推進会議

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
経営会議	毎月	施設長、所長、相談員、介護支援専門員
部門会議	毎月	全職員
事故防止委員会	毎月	委員会メンバー
生産性向上委員会	毎月	委員会メンバー
高齢者虐待委員会	年 4 回	委員会メンバー
身体拘束適正化委員会	年 4 回	委員会メンバー
感染対策委員会	年 4 回	委員会メンバー
災害対策委員会	年 4 回	委員会メンバー

5【地域貢献活動】

計画	実施内容(結果)
カットボランティア	年間 33 件ボランティア受け入れあり

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	生活相談員 1 名	看護職員 2 名	介護職員 4 名
ケアアシスタント 1 名	運転手 1 名		
目標	・サービス提供体制加算をⅢからⅠの取得に向けて取り組む ・間接業務を削減して生産性向上を推進し働きやすい職場を目指す		
方法	・資格取得支援、採用活動や法人内人事異動などを働きかける ・3M(ムリ、ムダ、ムラ)を削減、ケアアシスタントとの業務分担		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	生活相談員 1 名	看護職員 2 名	介護職員 4 名
ケアアシスタント 1 名	運転手 1 名		
結果	・介護職員(介護福祉士)の異動により、サービス提供体制加算が最上位となる ・間接業務を見直し、ケアアシスタントの住み分けを行うことで、生産性が向上 働きやすい職場を目指し離職は 0 件		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導担当の配置と各種研修参加支援／R2 法人階層別研修 1 名

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 6 名	主事 3 名	准看護師 2 名	
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
特になし	取得なし		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	9 月 20 日
ハラスメント防止啓発活動	12 月 10 日、3 月 10 日
倫理・法令遵守に係る研修	5 月 28 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	認知症ケア	全員
5	倫理、法令遵守について	全員
6	高齢者虐待防止研修、身体拘束廃止研修	全員
8	プライバシー保護	全員
9	ハラスメント研修	全員
10	事故防止	全員
1	介護技術(入浴介助)	全員
2	感染症対策	全員
3	非常災害時の対応研修	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
5	安全対策担当者研修	1 名
7	内部監査員養成研修	1 名
7	エビデンスに基づく認知機能の低下予防セミナー	1 名
1	入浴介助加算(ⅠⅡ)	8 名
3	バーセルインデックス研修	8 名

障害者トライアルセンターボイス(堀口多機能型)

令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
障害者総合支援法：第5条に基づく障害福祉サービス 就労継続支援A型(第14項)／就労継続支援B型(第14項)／生活介護(第7項)	
開設日	平成25年4月 就労継続支援B型 開設 平成26年9月 生活介護 開設 平成27年4月 就労継続支援A型 開設
住 所	三沢市大字三沢字堀口164-1
連絡先	0176-58-5660
定 員	就労継続支援A型10名／就労継続支援B型20名／生活介護10名
利用対象者	実施地域内の知的・身体・精神・発達障害者・その他難病等
利用可能地域	三沢市、上北郡(おいらせ町、東北町、六戸町)
営業日	就労継続支援A型：月・火・木・金・土曜日(ただし年末年始の休業日を除く) 就労継続支援B型：月～金曜日(ただし土、日、祝祭日、年末年始の休業日を除く) 生活介護：月～金曜日(ただし土、日、祝祭日、年末年始の休業日を除く)

《施設環境》

就労継続支援A型

カフェホール 72.00 m ²	バックヤード室 6.00 m ²	倉庫 5.00 m ²	ステージ 25.00 m ²
休憩室・更衣室 9.90 m ²	調理室 34.00 m ²	トイレ(2) 10.00 m ²	

就労継続支援B型・生活介護(施設共有)

訓練室 30.00 m ²	作業室 34.20 m ²	介護室 40.00 m ²	休憩室(2) 10.00 m ²
浴室 7.50 m ²	洗面所 6.00 m ²	相談室 8.00 m ²	トイレ男子2箇所
トイレ女子2箇所	トイレ多目的1箇所		

車両

就労継続支援A型：1台／就労継続支援B型：5台／生活介護：2台

《障害者トライアルセンターボイス(堀口多機能型) 基本方針》

- ・収支の見直しを行い、多機能型事業所での黒字化を図ります。
- ・多様なニーズに対応できるよう、働く場の開拓や日中活動の見直しを行います。
- 職員の専門性の向上やスキルアップを目指せる環境を整えていきます。

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
稼働率 80%以上を目指す	A 型 84%→62%、B 型 122%→107%、生活 100%→80% A 型職員の補充は見送りのため未達成、全体的としては前年度より稼働率向上かつ安定しているため、次年度の課題としていく
外部研修への参加、伝達研修の実施、資格取得研修の受講	職員の専門性やスキルアップ、資格取得のための研修参加について計画し、受講している※詳細は 7【研修・人材育成】(4)研修年間表に記載

2【本事業所の経営の目標値】

就労継続支援 A 型

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	18,974,723.00	17,018,769.00	17,151,046.00
経費合計	18,217,246.00	19,156,215.00	19,349,309.00
差引収益	757,477.00	▲ 2,137,446	▲ 2,198,263.00
総時間	14,362.65	17,816.00	14,644.00
時間当り	52.70	▲ 120.0	▲ 150.10

就労継続支援 B 型

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	63,232,908.00	69,660,270.58	62,847,979.00
経費合計	27,469,731.00	27,979,171.00	26,447,396.00
差引収益	35,763,177.00	41,681,099.58	36,400,583.00
総時間	23,390.48	21,772.00	22,108.00
時間当り	1,529.00	1,914.40	1,646.50

生活介護

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	25,603,211.00	30,044,383.52	25,429,674.00
経費合計	8,561,948.00	8,908,585.00	8,971,039.00
差引収益	17,041,263.00	21,135,798.52	16,458,635.00
総時間	10,622.53	12,424.00	8,617.00
時間当り	1,604.30	1,701.20	1,910.10

3【お客様の現況】

《利用者》 定員								
	利用者年齢	平均	男性	女性	《うち新規利用者》			
A 型	20 歳代～60 歳代	32.0 歳	4 名	3 名	0 名			
B 型	10 歳代～70 歳代	33.2 歳	20 名	17 名	7 名			
生活介護	20 歳代～60 歳代	48.6 歳	5 名	6 名	2 名			
《手帳種別／名》								
	手帳無し	愛護	精神	身体	難病	合計		
A 型	0	3	2	2	0	7		
B 型	5	22	9	0	1	37		
生活介護	1	7	1	2	0	11		
《障害支援区分／名》 ※生活								
	未申請	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
愛護	0	0	0	2	1	2	2	0
精神	0	0	0	0	1	0	0	0
身体	0	0	0	0	0	1	1	0
難病	0	0	0	0	0	0	0	0
なし	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	0	0	0	3	2	3	3	0
令和 6 年度の終結								
A 型	1 名(内訳：介護保険移行 1)							
B 型	4 名(内訳：入院 1、サービス変更 1、介護保険移行 1、転居 1)							
生活介護	1 名(内訳：転居 1)							

・利用状況

《通所利用状況/人》												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A 型	137	130	130	135	126	112	135	133	130	124	120	135
B 型	434	473	426	492	346	430	495	459	461	459	443	505
生活	163	172	157	179	157	155	185	162	157	153	159	170
《利用料》 その他実費お弁当 400 円×利用日数												
～10,000	～15,000		～20,000		～25,000		～30,000		～40,000			
22 人	0 人		0 人		0 人		0 人		0 人			

4【主なサービスメニュー】

(1)支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
A 型	企業等での就職は困難であっても、適切な支援により雇用契約に基づく就労が可能な方を対象に、就労の機会の提供、一般就労に必要な訓練等の支援を行います
賃金アップに向けて	スイーツ販売の拡充(新商品の開発や販促、ギフト販売等)、広告の積極的活用(一心亭様とのコラボスイーツ・インスタでの情報発信)による集客の強化、カフェ営業収益アップに繋がっている
B 型	企業等での就労が困難な方を対象に、就労の機会を提供し、継続して働けるよう支援、また、生産活動に参加し行った作業の対価として、工賃をお支払いします
工賃アップに向けて	収益増のための生産活動の拡大、価格高騰による経費や価格設定および菓子製造体制の見直し、工賃アップのため営業日の調整、振替利用における生産活動の設定など実施 目標値：32,700 円 実績値：30,085 円
生活介護	常時介護を必要とする方に対し、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護や日常生活等に関する支援、その他、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います
個別支援計画の見直し	本人、ご家族の意向を踏まえて個々のニーズを捉えたケアプランを作成し必要な支援計画を作成、個別支援会議を行います また、6 カ月ごとに見直しを行います
モニタリング	6 カ月ごとに評価をします
健康管理	利用時の体調確認、服薬その他必要な管理等の支援や医療との連携を行います
緊急時の対応	急変等の緊急時には、緊急連絡先や医療機関への連絡等必要な対応を行います
食事	希望により食事提供、季節のイベント等による行事食の提供も行っています
相談援助	希望する生活や利用者の心身の状況等の把握に努め、適切な相談、助言、援助を行います
求職活動等の支援	一般就労に必要な知識、能力が高まった方については、関係機関と連携して求職活動の支援や職場定着の為の支援を行います

(2)年間行事

月	主な行事・催事 ※()内は参加人数
4	生活介護：花見ドライブ(9)
7	生活介護：ドライブ(7)
7	B 型：地域奉仕活動と BBQ 交流会(13)
9	B 型：三沢基地航空祭 事前見学会(9)
11	B 型・生活介護：ボイス de アート～ミニツリーと落ち葉デザインアート
11	B 型：福祉アンテナショップ(1)
12	A 型：親睦会(7)
12	B 型・生活介護：おつかれさま会(31)
2	生活介護：ボイス de アート～絵の具を使って絵を描こう
3	生活介護：ひな祭りパーティー
毎月	生活介護：誕生会 ※12 月、2 月、3 月対象者なしのため未開催
施設計画(行事以外)	
6	避難訓練
11	避難訓練
	実習生の受け入れ(養護学校：7 件、ソーシャルワーク実習：3 件)

(3)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
安全衛生委員会(法人)	年 6 回	拠点長
職員会議	毎月	拠点長、職員
虐待・身体拘束防止委員会	年 2 回	担当職員
介護・看護委員会	年 2 回	担当職員
防災・消防訓練委員会	年 2 回	担当職員

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
奉仕活動(ゴミ拾い)	7 月、3 月
こども宅食	5 月、7 月、9 月、11 月、1 月

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標		
A 型	管理者(兼務)1名	サービス管理責任者(兼務)1名
	生活支援員1名	職業指導員1名
	賃金向上達成指導員(兼務1)2名	A型職員8名+2名
B 型	管理者(兼務)1名	サービス管理責任者(兼務)1名
	生活支援員1名	目標工賃達成指導員1名
	職業指導員(兼務3)10名	
生 活	管理者(兼務)1名	サービス管理責任者(兼務2)2名
	生活支援員(兼務2)4名+2名	看護職員1名
	強度行動障害支援者(兼務)1名	
目 標	A型はカフェ営業及び福祉サービス費増を狙いA型職員増を検討 生活介護は産休取得職員の欠員補充、加算取得のため増員が必要	
方 法	収支状況や職員配置の見直しも行いつつ、就業希望者の見学対応・ハローワーク等を利用した採用活動を行っていく	

・人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)		
A 型	管理者(兼務)1名	サービス管理責任者(兼務)1名
	生活支援員(兼務)1名	職業指導員1名
	賃金向上達成指導員(兼務1)2名	A型職員7名 1名減
B 型	管理者(兼務)1名	サービス管理責任者(兼務)1名
	生活支援員1名	目標工賃達成指導員1名
	職業指導員(兼務2)8名+1名	
生 活	管理者(兼務)1名	サービス管理責任者(兼務2)2名
	生活支援員名(兼務2)4名+3名	看護職員1名
	強度行動障害支援者(兼務)1名	
結 果	A型は移動による生活支援員の補充、A型職員の増員はなし B型は職業指導員2名欠員あり、1名補充している 生活介護は2名育休取得中の欠員補充、次年度加算取得条件達成のため3名増	

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	(4)研修年間表に記載

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 5 名	主事 2 名	社会福祉士 4 名	精神保健福祉士 1 名
准看護師 1 名	栄養士 1 名	防災士 1 名	
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
強度行動障害支援者	基礎研修、実践研修修了者 1 名		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメントについて	6 月、11 月

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	感染予防対策(BCP)①	全員
5	虐待防止・権利擁護・身体拘束防止①	全員
6	防災訓練・自然災害 BCP①	全員
8	個別支援計画①	全員
10	感染予防対策(BCP)② 虐待防止・権利擁護・身体拘束防止①	全員
12	防災訓練・自然災害 BCP②	全員
1	楽晴会経営倫理	全員
3	感染予防対策(BCP)③ 個別支援計画②	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
7	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	1 名
7	相談支援従事者現任研修	1 名
10	防災士スキルアップ研修	1 名
10	安全運転管理者・副安全運転管理者等講習	1 名
10	強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	1 名
11	強度行動障がい支援セミナー	2 名
11	令和 6 年度青森県知的障害者福祉協会 新任職員研修会	1 名
2	青森県障がい者虐待防止・権利擁護研修会	1 名

「療育・障害者相談センターボイス」令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・ 障害者総合支援法：第5条に基づく障害福祉サービス ・ 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業・指定一般支援事業(1～23項)	
開設日	平成25年4月1日療育・障害者相談センターボイス
住 所	三沢市大字三沢字堀口164-1
連絡先	0176-53-2241
定 員	定員等無し：現在 者233名、児133名：合計366名 利用
利用対象者	身体障害者(肢体不自由・視覚・聴覚言語・内部障害)知的障害者・精神障害者・難病等対象者
利用可能地域	三沢市、おいらせ町、六戸町
営業日	月曜日から金曜日 ただし、年末年始および祝日を除く

・施設環境

施設
事務所 25.88 m ²
車両
4 台

《障害者トライアルセンターボイス(堀口多機能型) 基本方針》

障害のある人、障害の児童に対して相談支援を行いながら広域・専門的な支援や人材育成を強化し市町村と共に支える。

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
相談件数の拡大	相談件数 431件 昨年より85件減
専門的知識の習得	精神保健福祉士、社会福祉士資格者 2名合格 各研修会への参加

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	49,676,774.00	54,241,480.00	55,877,089.00
経費合計	11,795,877.00	11,986,210.00	11,976,004.00
差引収益	37,880,897.00	42,255,270.00	43,901,085.00
総時間	15,915.00	17,007.67	16,016.00
時間当り	2,380.10	2,484.50	2,741.20

3【お客様の現況】

《利用者》 定員											
一般	利用者年齢			平均		男性		女性		《うち新規利用者》	
	10 歳代～80 歳代			29 歳		137 名		94 名		24 名	
	内訳										
	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代			
	9	55	48	28	39	32	14	1			
児童	利用者年齢			平均		男性		女性		《うち新規利用者》	
	0 歳代～18 歳代			12.5 歳		111 名		43 名		20 名	
	内訳										
	未就学	小 1.2	小 3.4	小 5.6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	
	34 名	22 名	18 名	20 名	5 名	10 名	2 名	4 名	8 名	2 名	
《支援区分／人》											
	区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計			
一般	131 人	0 人	21 人	20 人	27 人	11 人	23 人	233 人			
児童	129 人	0 人	1 人	5 人	0	0	0	133 人			
年度の終結											
一般	30 件										
児童	10 件										

・利用状況

≪相談件数≫												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
一般	104	111	102	107	101	107	109	108	107	124	127	132
児童	437	434	455	433	387	376	427	433	439	397	389	420

4【主なサービスメニュー】

(1)支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援 500 件目標	障害者、障害児の計画作成を実施(一般相談、計画相談)500 件の実施
認定調査 毎月 10～15 件目標	三沢市、おいらせ町にて認定調査を年間 115 件実施
三沢市基幹相談センター(三沢市委託)	総合的・専門的な相談の実施、地域の相談支援体制強化の取り組み、権利擁護、虐待の防止、地域移行・地域定着の促進の取り組みなど行う
指導、調整	現任研インターバル研修指導、三沢市障害者支援専門性向上研修会開催、新規事業所への助言指導、触法関係の事業所調整などを実施
三沢市地域活動支援センターボイス強化事業(三沢市・おいらせ町委託)	障害者総合支援法にもとづき、障害のある人を対象として創作的活動・生産活動・社会との交流促進などの機会を提供する支援機関 三沢市 80 名、おいらせ町 5 名
三沢障害者地域生活コーディネート事業(三沢市委託)	24 時間緊急時相談支援業務(緊急時の電話相談に 24 時間 365 日対応)、地域生活支援コーディネート業務(障がい者の親亡き後支援、共同生活援助等の体験利用の勧奨、必要な体験の機会・場の提供及び地域移行に関する情報提供)》 44 名登録 自宅訪問、緊急時電話相談、緊急時ステイ事業の実施

(2)医療・看護サービス

三沢市医療的ケア児コーディネート事業 (三沢市委託)	医療的ケア児のケース 3 件実施中、学校等訪問事業への調整会議参加、県主催の研修会参加 医療的ケア児等に身近な各圏域における相談支援体制の整備を推進することを目的に、青森県医療的ケア児等圏域アドバイザーを 5 名配置しています(青森圏域・西北五圏域 1 名、津軽圏域 1 名、八戸圏域 1 名、上十三圏域 1 名、下北圏域 1 名)
-------------------------------	---

(3)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	お花見ドライブ (7)
5	自然観察 NAMIKI (9)
6	あぐりの里おいらせ (5)
7	ブレットスタジオほのかに行こう (6)
8	イオン外出 (11)

9	焼肉弁当作り（9）
10	ハロウィンミニパフェ作り（6）
11	Cafe42 でランチ 2024 年半年を振り返ろう（7）
12	クリスマスシチューづくり（4）
1	アレンジレシピでお餅を食べよう（6）
2	マクドナルド三沢店（6）
3	和食のテーブルマナー（7）
	施設計画(行事以外)
6	避難訓練
11	避難訓練

(4)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
安全衛生委員会	月 1 回	拠点長、法人安全衛生委員会委員
各委員会	隔月	拠点長、管理者、委員長
定例ケース会議	週 1 回	全職員
地活定例ケース会議	週 1 回	地活職員
相談支援会議	月 1 回	全職員
全体会議	月 1 回	相談、多機能職員全員
支援協議会(三沢市)	年間計画	相談 1 名、コーディネート事業担当者
支援協議会(おいらせ町)	年間計画	担当相談員 1 名

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
こども宅食事業参加	5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月(各回 2 名参加)
清掃活動	年 2 回実施済み

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標	
管理者 1 名	相談支援専門員 3 名
主任相談支援専門員 1 名	相談員 2 名
事務職員 1 名	
目標	相談業務強化のため必要人員の増強
方法	ハローワークでの求人にて相談支援専門員特定での募集を行う

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)	
管理者 1 名	相談支援専門員 3 名
主任相談支援専門員 1 名	相談員 2 名
事務職員 1 名	
結果	主任相談支援専門員退職に伴い、1 名募集をしていたが、採用募集なしの状態であった

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアランクアップに向けてラダーと業務の指導を行う

(2)資格取得目標

保持資格状況			
相談支援専門員 4 名	主任相談支援専門員 1 名	主事 1 名	介護福祉士 3 名
社会福祉士 3 名	精神保健福祉士 3 名	保育士 1 名	
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
精神保健福祉士	1 名合格		
社会福祉士	1 名合格		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
就業規則について	11 月 1 日(デスクネット回覧・周知)

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	感染予防対策(BCP)①	全員
5	虐待防止・権利擁護・身体拘束防止①	全員
6	防災訓練・自然災害 BCP①	全員
8	個別支援計画①	全員
10	感染予防対策(BCP)②	全員
10	虐待防止・権利擁護・身体拘束防止①	全員
12	防災訓練・自然災害 BCP②	全員
1	楽晴会経営倫理	全員
3	感染予防対策(BCP)③	全員
3	個別支援計画②	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
4	4/26 東北主任相談支援専門員フォローアップ研修（岡部）	1
6	6/19 安全運転管理者等講習（吉田）	1
7	7/5.18・8/23・9/27 相談支援従事者現任研修（吉田）	1
7	7/6 青森県相談支援専門員等協会 総会・記念講演会（月舘・坂井）	2
7	7/8 青森県知的障害者福祉協会 児童発達支援部会研修会（吉田）	1
8	8/9 ISO 内部監査員養成研修（小泉）	1
8	8/8.9・9/12.13・10/24・11/28.29 相談支援従事者初任者研修（西野）	1
8	8/28-30 強度行動障がい支援者養成研修（吉田）	1
9	9/7 青森県小児在宅支援センターシンポジウム（吉田・小泉・月舘）	3
9	9/20 青森県入院者訪問支援員養成研修（吉田・小泉・十文字・月舘・坂井）	5
10	10/5 青森県相談支援専門員等協会実践研修（月舘・西野）	2
10	10/30 司法福祉専門職研修（吉田・佐藤）	2
11	11/19 認定調査員フォローアップ研修（坂井）	1
11	11/22 基幹相談支援センター強化研修（相談員7名）	7
11	11/23.24 サービス管理責任者基礎研修（坂井）	1
12	12/4 精神保健福祉総合研修（月舘・西野）	2
12	12/14.15 サービス管理責任者更新研修（小泉）	1
1	1/29.30 専門コース別研修（児童）（坂井）	1
2	2/4 障がい者虐待防止・権利擁護研修会（坂井）	1
2	2/15 医療のケア児等コーディネーターフォローアップ研修（小泉）	1
3	3/15 青森県社会福祉士会上十三支部研修会（吉田・十文字・月舘・西野）	4

障害者グループホーム「インディペンデントⅠ」令和６年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
障害者総合支援法：第５条に基づく障害福祉サービス 外部サービス利用型共同生活援助	
開設日	平成 26 年 8 月インディペンデントⅠ(本体施設 5 室)開設 平成 29 年 2 月インディペンデントⅠ(サテライト施設 2 室)開設
住 所	青森県三沢市大字三沢字堀口 164-1(本体) 青森県三沢市堀口 2 丁目 2-1 エルシャトー(105、205 号室)(サテライト)
連絡先	0176-53-2241
定 員	7 名
利用対象者	身体、知的、精神、発達、難病等対象疾患対象者(18 歳未満を除く)
利用可能地域	三沢市、おいらせ町、六戸町
営業日	管理者 8:30～17:30、世話人 6:00～19:00

・施設環境

施設	
本体	居室(全個室)13.04 ㎡ 5 室(洗面所 4.86 ㎡、トイレ 2.07 ㎡、)共同食堂 18.22 ㎡
サテライト	居室(全個室)26.49 ㎡ 2 室(各部屋に居室、キッチン、ユニットバス)
車両	
1 台(相談と共有)	

《障害者グループホーム「インディペンデントⅠ」 基本方針》

地域で共に暮らし社会性を保てる支援を行う

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
入居率 100%を維持する	入居率は 84%、外泊、入院から退去に至ったケースがあり
サテライト 2 室の稼働率を上げる	サテライトは 1 室、退去後の入居が決まらず空室の状態が続いた為、稼働率減
待機者の確保	待機者は現在 1 名となっている(今後の課題)

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	10,509,758.00	10,803,269.00	9,423,808.00
経費合計	7,410,565.00	7,045,693.00	6,723,912.00
差引収益	3,099,193.00	3,757,576.00	2,699,896.00
総時間	3,239.00	3,337.24	2,435.00
時間当り	956.90	1,125.90	1,108.90

3【お客様の現況】

《利用者》 定員								
利用者年齢			平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
20 歳代～60 歳代			38.2 歳	0 名	6 名	1 名		
《支援区分／人》								
	区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
人数	4	0	0	1	1	0	0	6
年度の終結								
1 名								

・利用料徴収区分

≪月額総請求額≫	
居室費：本体 ¥36,000	居住費助成- ¥10,000
サテライト ¥31,000	居住費助成- ¥10,000
光熱水費：¥10,000～¥25,000	送迎費：¥2～3,000(受診時、買物等希望者)
食費実費負担	その他実費負担

4【主なサービスメニュー】

(1)支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
個別支援	サービス管理責任者がお客様の担当相談員が作成した内容から共同生活援助で必要な課題を抽出し作成し、必要に応じて担当者会議の参加、6ヶ月毎に見直し作成
外出支援	希望者により、買い物外出を支援
食事提供	希望により朝食¥400、昼食¥500、夕食 ¥380 にて弁当の提供
医療連携	協力医の相沢俊二医師(あいざわクリニック)と医療連携

(2)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
G H職員会議	月 1 回	管理者、サビ管、世話人
相談、G H会議	月 1 回	管理者、サビ管、世話人
全体会議	月 1 回	管理者、サビ管
担当者会議	適宜	事案によって招集範囲が異なる
お客様会議	適宜	入居者、管理者、サビ管、世話人

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
地域貢献活動	清掃活動(年 2 回)実施予定であったが実施できず

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	サービス管理責任者 1 名	世話人 2 名	事務職員 1 名
目標	待機者の確保をする		
方法	相談支援事業所、市町村へ空き情報を提供し、新規での申し込み者の受付と見学を随時受け入れる		

・人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	サービス管理責任者 1 名	世話人 2 名	事務職員 1 名
結果	次年度継続		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
自立支援協議会	グループホームとして参画

(2)資格取得目標

保持資格状況			
社会福祉主事 1 名	サービス管理責任者 1 名	介護福祉士 1 名	事務職員 1 名
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
社会福祉士	本人のスキルアップの為、挑戦し取得		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
就業規則について	11月1日(デスクネッツ回覧・周知)
ハラスメント防止啓蒙活動	職員会議、朝礼、申し送り時に周知

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	感染予防対策(BCP)①	全員
5	虐待防止・権利擁護・身体拘束防止①	全員
6	防災訓練・自然災害 BCP①	全員
8	個別支援計画①	全員
10	感染予防対策(BCP)②	全員
10	虐待防止・権利擁護・身体拘束防止①	全員
12	防災訓練・自然災害 BCP②	全員
1	楽晴会経営倫理	全員
3	感染予防対策(BCP)③	全員
3	個別支援計画②	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
7	自立支援協議会 グループホームとして参画	1

大町児童デイサービスセンターひかり令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・種別：児童発達支援・放課後等デイサービス 多機能型 ・児童福祉法：第21条の5の3第1項の規定に基づく	
開設日	平成24年6月 大町児童デイサービスセンターひかり開設
住 所	青森県三沢市大町2丁目2-1
連絡先	0176-58-7507
定 員	児童発達支援5名(未就学)、放課後等デイサービス15名(小～高校生)
利用対象者	主たる障害の制限なし
利用可能地域	おいらせ町、三沢市、東北町、六戸
営業日	月～土(祝祭日を除く)、営業時間：9時～17時

・施設環境

施設		
食堂 39.33 m ²	静養室①9.94 m ²	静養室②6.62 m ²
相談室 10.77 m ²	浴室 4.13 m ²	機能訓練室 12.42 m ²
車両		
送迎車両乗用4台		

《大町児童デイサービスセンターひかり 基本方針》

- ・児童と家庭、地域、社会資源と連携を図りながら適切な支援を行います。
- ・「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」この5領域を含めた総合的な支援を提供します。
- ・職員の専門性向上とスキルアップを図ります。

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
強度行動障害を有する者の受入体制強化	強度行動障害者支援者研修基礎研修修了者 7名配置 強度行動障害者支援者研修実践研修修了者 3名配置 自閉症研修会主催 支援者セミナー 受講2名 事業所内で内部研修実施、年3回 強度行動障害児支援加算取得への整備(R7年度より申請)

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	61,000,160.00	54,577,960.00	60,977,600.00
経費合計	12,779,662.00	13,043,718.00	13,582,525.00
差引収益	48,220,498.00	41,534,242.00	47,395,075.00
総時間	15,471.52	16,328.00	15,749.00
時間当り	3,116.70	2,543.70	3,009.40

3【お客様の現況】

≪利用者≫						
	利用者年齢	平均	男児	女児	≪うち新規利用者≫	
発達	0 歳～6 歳	4.7 歳	17 名	7 名	10 名	
放課後	6 歳～18 歳	10.3 歳	25 名	10 名	1 名	
≪)障害者認定区分／人≫						
		人数	(内)自閉症	(内)ダウン症	(内)肢体不自由	(内)個別サポート
発達	発達障害	24	5	0	0	0
放課後	発達障害	25	0	1	0	0
	知的障害	10	7	1	1	0
年度の終結						
発達	10 名 放課後等デイサービスへ移行					
放課後	4 名 小学校卒業(2 名) 他県へ転出(2 名)					

・利用状況

≪通所利用状況／人≫												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人	567	522	540	587	521	515	547	530	548	529	509	540
≪利用料≫ その他実費												
～10,000	～15,000		～20,000		～25,000		～30,000		～40,000			
58人	人		人		人		人		人			

4【主なサービスメニュー】

(1)支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
個別支援計画	児童発達支援管理責任者による作成
相談支援	個別支援計画を6か月ごとに見直し実施、計画作成数116件、モニタリング3ヶ月ごとに実施、計232件実施
面談	保護者との面談、65名実施

保護者茶話会	第1回 6月15日 個別就労相談会 5名参加
	第2回 12月7日 食事会 4名参加
	第3回 3月8日 食事会 4名参加

(2)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)		
理学療法(委託)	月 1 回来所、未就学児・放課後児童 1～2 名をリハビリ・評価実施		
言語聴覚士(委託)	月 1 回月曜日に、未就学児童 23 名を対象に訓練実施		
作業療法士	三沢訪看と連携し、月 2 時間、放課後児童 1 名を対象に訓練実施		
絵画教室(委託)	毎週水曜日放課後等児童を対象に 15：15～16：15 実施		
訓練内容			
歩行練習	筋力・移乗能力の維持	座位保持練習	
筋力強化・維持練習	骨盤の後傾位改善	生活習慣の改善	
角度維持・バランス練習	情操教育・アート活動	関節可動域維持・測定	

(3)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	進級式 (20)
5	じゃがいも植え (15)
6	茶話会(保護者4名)
7	遠足(児童発達) (8)
8	SDGs 学習 (4)
9	じゃがいも掘り (18)
11	親子行事(35)、七五三参(11)
12	クリスマス会(23)、茶話会(4)
1	初詣、グルメツアー(34)
3	卒業祝いイベント(33)
	施設計画(行事以外)
10	消防設備点検
12	合同避難訓練

(4)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
身体拘束禁止・虐待防止委員会	月2回	拠点長、大町所長、担当者
安全衛生委員会	月1回	拠点長、法人安全衛生委員会委員
事故防止委員会	月1回	拠点長、緑ヶ丘所長、担当職員
感染症対策委員会	年6回	拠点長、大町所長、緑ヶ丘所長
職員会議	月1回	職員全員
MR 会議	月一回	拠点長、大町所長、緑ヶ丘所長

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
こども宅食事業参加	5月、7月、9月(各回1名参加)
地域のゴミ拾い活動週間	毎月1回

6【職員状況】

(1) 人員配置目標

計画時の配置人員と目標		
管理者1名	児童発達支援管理責任者1名	児童指導員7名
目標	既存職員数での業務効率化できる人員配置	
方法	多機能事業所の強みを生かし、放課後等デイサービス、児童発達支援の担当業務だけでなく、横断的な支援配置、多角的な視点による支援の質の向上と効率化を図る	

(2) 人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)		
管理者1名	児童発達支援管理責任者2名	児童指導員6名
結果	児童指導員配置加算取得 職員の増減なく、横断的な人員配置を可能とする 児童発達支援管理責任者研修修了者1名、2人目の児童発達支援管理責任者として配置 OJTの実施、多職種連携や、保護者面談の同席、個別支援計画の原案作成を行う	

7【研修・人材育成】

(1) 人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導担当の配置と各種研修参加支援キャリアラダーR1-1⇒R1-2に3名、R1-2⇒R1-3に1名の計4名ランクアップ
児童発達支援管理責任者研修参加	児童発達支援管理責任者 基礎研修 参加1名
強度行動障害者支援者養成研修参加	強度行動障害者支援者養成研修 基礎研修 参加2名

(2) 資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士3名	主事3名	社会福祉士1名	防災士1名
保育士1名			
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
社会福祉主事	令和6年度取得		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	9月26日
ハラスメント防止啓発活動	10月3日
倫理・法令遵守に係る研修	4月23日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	楽晴会経営倫理と人権について	全員
5	ガイドラインについて	全員
6	(法)食中毒について	全員
7	(法)事業継続 BCP 自然災害について	全員
8	医療的ケア児について	全員
9	(法)事業継続 BCP 感染症について	全員
10	意思決定支援について	全員
11	(法)感染症について	全員
12	強度行動障害について	全員
1	身体拘束廃止・虐待防止について	全員
2	自閉症スペクトラムの支援	全員
3	リスクマネジメントについて	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
4	CLM 方式による保育所・幼稚園での発達支援	1名
5	障害児・者 福祉施設新任職員研修	1名
6	自閉症支援者セミナー	2名
6	保育所セミナー	1名
7	青森県知的福祉協会 児童発達支援部会研修会	2名
8	強度行動支援者養成研修 基礎研修	2名
10	青森県知的福祉協会 人権倫理委員会研修	1名
11	自分の心と相手の心を守るためのメンタルヘルス研修	1名
11	障害児・者 支援セミナー	1名
11	青森県知的福祉協会 新任職員研修	1名
11	青森県新介護職員応援イベント	1名
11	サービス管理責任者研修 基礎研修	1名
12	青森県知的福祉協会 中堅職員研修	1名
1	専門別研修	1名
1	発達障害と適切なケア	1名
2	青森県障害福祉者虐待防止・権利擁護研修会	1名

堀口児童デイサービスセンターひかり 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
種別：児童発達支援・放課後等デイサービス 多機能型 児童福祉法：第21条の5の3第1項の規定に基づく	
開設日	2018年6月 堀口児童デイサービスセンターひかり開設
住 所	青森県三沢市大字三沢字堀口239-3
連絡先	0176-57-3525
定 員	児童発達支援5名(未就学)、放課後等デイサービス15名(小～高校生)
利用対象者	主たる障害の制限なし
利用可能地域	おいらせ町、三沢市、東北町、六戸
営業日	月～土(祝祭日を除く)、営業時間：9時～17時

・施設環境

施設		
食堂 39.33 m ²	静養室① 9.94 m ²	静養室② 6.62 m ²
相談室 10.77 m ²	浴室 4.13 m ²	機能訓練室 12.42 m ²
車両		
送迎車両乗用3台		

《堀口児童デイサービスセンターひかり 基本方針》

- ・児童の家庭や地域・社会資源との連携を図りながら適切な支援を目指します。
- ・「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」5領域を含めた総合的な支援を提供します。
- ・職員の専門性の向上とスキルアップを図ります。

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
経営状況の向上	総サービス高目標 53,439,317 円⇒実績結果 53,749,369 円 (時間当たり結果 126.0 円増) 上半期より新規児童獲得し目標達成となった
行事・レクの向上	親子行事や季節の行事を企画し、利用増を図った
機能訓練の向上	言語聴覚士や理学療法士に加え今年度は作業療法士による 専門的支援を実施し家族に評価されていた
顧客満足度向上	目標 90%⇒ 結果 100.0% と目標達成となった
職員高ストレス者 0 名	適宜面談を実施の結果 0 名
スキル向上	強度行動障害支援者養成基礎研修 2 名 サービス管理責任 者更新研修 1 名 サービス管理責任者等研修 1 名

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	57,379,190.00	53,439,317.00	53,749,369.00
経費合計	12,261,634.00	12,415,885.00	12,722,768.00
差引収益	45,117,556.00	41,023,432.00	41,026,601.00
総時間	12,260.00	13,674.57	13,124.27
時間当り	3,680.00	3,000.00	3,126.00

3【お客様の現況】

≪利用者≫ 定員						
	利用者年齢	平均	男児	女児	≪うち新規利用者≫	
発達	0 歳～6 歳	4.6 歳	11 名	6 名	8 名	
放課後	6 歳～18 歳	11.9 歳	21 名	8 名	3 名	
≪障害者認定区分／人≫						
		人数	(内)自閉症	(内)ダウン症	(内)肢体不自由	(内)個別サポート
発達	発達障害	17	2	0	0	0
放課後	発達障害	5	1	0	1	0
	知的障害	24	9	3	2	0
年度の終結						
発達	6 名(放課後へ移行)					
放課後	5 名(サービス終結・転居・高等部卒業就労)					

・利用状況

《通所利用状況/人》												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人	445	466	459	529	472	449	499	459	485	487	460	498
《利用料》 その他実費												
～10,000		～15,000		～20,000		～25,000		～30,000		～35,000		
46 人		0 人		0 人		0 人		0 人		0 人		

4【主なサービスメニュー】

(1)支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
個別支援計画	児童発達支援管理責任者研修終了者による作成 今年度より 5 領域の視点を踏まえた
相談支援	個別支援計画を 6 か月ごとに見直し実施、計画作成数 96 件、モニタリング 3 ヶ月ごとに実施、計 150 件実施
面談	保護者との面談、28 名実施
保護者茶話会	第 1 回 6 月 15 日 個別就労相談会 2 名参加 第 2 回 12 月 7 日 食事会 2 名参加 第 3 回 3 月 8 日 食事会 3 名参加

(2)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)
理学療法(委託)	月 1 回来所、未就学児・放課後児童 1～2 名をリハビリ・評価実施
言語聴覚士(委託)	毎週 1 回 未就学児童 12 名を対象に訓練実施
作業療法士	三沢訪看と連携し、月 3 時間、放課後児童 6 名を対象に訓練実施
絵画教室(委託)	毎週木曜日放課後等児童を対象に 15:30～16:30 実施 トヨハシブリュットアートコンテスト優秀賞 1 名、奨励賞 1 名入賞
訓練内容	
筋力測定・評価	筋力維持・強化 体幹ストレッチ
体幹運動	片足立ち・踵上げ 粗大運動
記憶課題	プットイン課題 役割遊び
弁別課題	情操教育・アート活動 作品出展

(3)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	進級式(22)、買い物デー(13)
5	じゃがいも植え(22)、買い物デー(14)
6	買い物デー(14)

7	六ヶ所原燃 PR センター遠足(15)、買い物デー(12)
8	グルメツアー(24)、ロッジ散策(10)
9	買い物デー(15)
10	ハロウィーン制作(11)、買い物デー(8)
11	七五三(13)、親子行事(19)、買い物デー(13)
12	クリスマス会(26)、買物デー (12)
1	グルメツアー(13)、買い物デー(13)
2	買い物デー(13)
3	卒業を祝う会(13)、買い物デー(13)
	施設計画(行事以外)
7	消防設備点検
9	自然災害 BCP 児童拠点合同机上訓練
12	児童拠点合同避難訓練
1	電気設備定期点検

(4)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
身体拘束廃止・虐待防止委員会	年 2 回	拠点長、大町所長・担当職員
感染症対策委員会	年 6 回	各事業所長
事故防止委員会	月 1 回	拠点長、緑ヶ丘所長・担当職員
職員会議	月 1 回	職員全員
MR 会議	月 1 回	各事業所所長

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
こども宅食事業参加	9 月 2 名参加、11 月 2 名参加、2 月 2 名参加、3 月 1 名参加
地域ごみ拾い	毎月実施

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標	
管理者 1 名	児童発達管理責任者 1 名
児童指導員 6 名	事務職員 1 名
目標	支援業務強化のため必要人員の増強
方法	ハローワークに登録し募集をかける 在職者のレベルアップを図る

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)	
管理者 1 名	児童発達管理責任者 1 名
児童指導員 6 名	事務職員 1 名
結果	児童指導員 2 名退職(健康上の理由)、ハローワーク経由で 3 名の人材獲得、介護福祉士 1 名、保育士 2 名入職、拠点内で人員配置している、また 1 名の職員が介護福祉士資格保有者の実務研修修了している

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導 各種研修参加支援／キャリアラダーランクアップ者なし

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 2 名	社会福祉主事 3 名	介護支援専門員 1 名	保育士 4 名
社会福祉士 1 名	青森県災害福祉支援チーム員登録 1 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護福祉士	介護職員実務者研修修了		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
倫理・人権に係る研修	4 月 30 日
ハラスメント防止研修	8 月 27 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	経営倫理と人権について	全員
5	放課後等デイサービスガイドラインについて	全員
6	(法)夏場に発生する食中毒について	全員
7	リスクマネジメントについて	全員
8	(法)ハラスメント人権尊重の方針について	全員
9	医療的ケア児について	全員
10	(法)感染症について	全員
12	職場の安全衛生	全員

1	自閉スペクトラム症について	全員
2	(法)身体拘束廃止・虐待防止について	全員
3	強度行動障害児への支援について	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
7	青森県知的障害者福祉協会 児童発達支援部会	1名
8	強度行動障害支援者実践研修	1名
10	強度行動障害支援者基礎研修	1名
11	青森県新介護職員応援イベント	1名
11	サービス管理責任者更新研修	1名
11	青森県知的障害者福祉協会 新任職員研修	1名
12	青森県知的障害者福祉協会 中堅職員研修	1名
1	発達障害理解研修会	1名

緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・種別：児童発達支援・放課後等デイサービス 多機能型 ・児童福祉法：第21条の5の3第1項の規定に基づく	
開設日	平成27年12月 緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり開設
住 所	青森県上北郡おいらせ町緑ヶ丘一丁目50-2162
連絡先	0176-58-5153
定 員	児童発達支援5名(未就学)、放課後等デイサービス15名(小～高校生)
利用対象者	主たる障害の制限なし
利用可能地域	おいらせ町、三沢市、東北町、六戸
営業日	月～土(祝祭日を除く)、営業時間：9時～17時

・施設環境

施設		
食堂 39.33 m ²	静養室①9.94 m ²	静養室②6.62 m ²
相談室 10.77 m ²	浴室 4.13 m ²	機能訓練室 12.42 m ²
車両		
送迎車両乗用3台		

《緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり 基本方針》

- ・児童の家庭や地域・社会資源との連携を図りながら適切な支援を目指します。
- ・職員の専門性の向上とスキルアップを図ります。

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
特性・学習スタイル理解 の為の自立課題アセスメントの実施	100%実施

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	55,675,390.00	48,889,090.00	57,187,147.00
経費合計	11,788,896.00	12,203,746.00	12,392,454.00
差引収益	43,886,494.00	36,685,326.00	44,794,693.00
総時間	13,777.33	14,670.50	13,617.66
時間当り	3,185.40	2,500.60	3,289.50

3【お客様の現況】

《利用者》 定員						
	利用者年齢	平均	男児	女児	《うち新規利用者》	
発達	0 歳～6 歳	4 歳	12 名	5 名	6 名	
放課後	6 歳～18 歳	11 歳	22 名	11 名	6 名	
《障害者認定区分／人》						
		人数	(内)自閉症	(内)ダウン症	(内)肢体不自由	(内)個別サポート
発達	発達障害	17	2	0	1	1
放課後	発達障害	8	1	0	0	0
	知的障害	24	9	5	2	17
年度の終結						
発達	5 名(未就学修了児童館へ移行)					
放課後	5 名(高等部卒業、他事業所移行)					

・利用状況

《通所利用状況/人》												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人	528	511	482	180	438	452	508	462	469	480	451	528
《利用料》 その他実費												
～10,000		～15,000		～20,000		～25,000		～30,000		～40,000		
49人		0人		0人		0人		0人		0人		

4【主なサービスメニュー】

(1)支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
個別支援計画	児童発達支援管理責任者研修終了者による作成
相談支援	個別支援計画を6か月ごとに見直し実施、計画作成数95件、モニタリング6ヶ月ごとに実施、計92件実施
面談	保護者との面談、60名実施

保護者茶話会	第1回 6月15日 個別就労相談会 3名参加 第2回 12月7日 食事会 7名参加 第3回 3月8日 食事会 4名参加
--------	---

(2)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)		
理学療法(委託)	月 1 回来所、未就学児・放課後児童 1～2 名をリハビリ・評価実施		
言語聴覚士(委託)	月 1 回木曜日に、未就学児童 8 名を対象に訓練実施		
作業療法士	三沢訪看と連携し、月 2 時間、未就学児童 1 名を対象に訓練実施		
絵画教室(委託)	毎週金曜日放課後等児童を対象に 15：30～16：30 実施		
訓練内容			
関節可動域維持・測定	座位保持練習	筋力強化・維持練習	
動作能力テスト	骨盤の後傾位改善	サーキット	
角度維持・バランス練習	感覚運動・動作性課題・言語課題	情操教育・アート活動	

(3)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	進級式・歓迎会・交通安全教室(18)、グルメデー(8)
5	じゃがいも植え(16)
6	遠足(15)、茶話会(3)
7	買い物外出(11)、SDGs学習(16)、グルメデー(6)
8	グルメデー(13)、小川原湖ロッジ散策(19)、ミニ夏祭り(14)
9	じゃがいも堀・収穫祭(12)
10	親子行事(14)、お月見会(12)、ハロウィンパーティー(8)
11	七五三(12)
12	クリスマス会(26)、児童拠点合同避難訓練(14)、茶話会(4)
1	初詣・書初め・ミニ新年会(15)、グルメデー(19)
2	節分会(16)
3	年度振り返りの会・修了式・卒業生を送る会(23)、茶話会(4)
施設計画(行事以外)	
5	浄化槽保守点検
8	浄化槽保守点検
11	浄化槽保守点検
12	児童拠点合同避難訓練
2	消防設備点検
2	浄化槽保守点検

(4)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
身体拘束廃止・虐待防止委員会	年 2 回	拠点長、各事業所看護職員
事故防止委員会	月 1 回	拠点長、緑ヶ丘所長・担当職員
感染症対策委員会	年 4 回	安全衛生委員会参加 大町・緑ヶ丘所長
職員会議	月 1 回	職員全員
MR 会議	年 6 回	拠点長・各事業所所長

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
こども宅食事業参加	5 月、7 月、9 月(各回 1 名参加)
地域のごみ拾い	毎月実施

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標		
管理者 1 名	児童発達管理責任者 1 名	児童指導員 5 名
看護師 1 名		
目標	支援業務強化のため必要人員の増強	
方法	社員紹介制度を利用した採用活動を行う	

・人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)		
管理者 1 名	児童発達管理責任者 1 名	児童指導員 5 名
看護師 1 名	指導員 1 名	
結果	児童指導員 1 名増後、令和 7 年度産休となる 法人内異動により、介護福祉士取得者配置	

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導 非常勤職員より、常勤職員へ、各種研修参加支援キャリア ラダーR1-1 へ 1 名 計 1 名ランクアップ

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 1 名	主事 1 名	社会福祉士 1 名	防災士 1 名
看護師 1 名	精神保健福祉士 1 名	保育士 3 名	
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
こども家庭 SW	令和 6 年度取得		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止内部研修	8 月 27 日
ハラスメント防止啓発活動	8 月 27 日
倫理・法令遵守に係る研修	4 月 23 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	楽晴会経営倫理と人権について	全員
5	ガイドラインについて	全員
6	(法)食中毒について	全員
7	(法)事業継続計画 BCP 感染症・リスクマネジメントについて	全員
8	ハラスメント・人権尊重の方針について	全員
9	医療的ケア児について	全員
10	自閉症スペクトラムについて	全員
11	(法)感染症について	全員
12	強度行動障害について	全員
1	苦情受付について	全員
2	小児てんかんについて	全員
3	(法)身体拘束廃止・虐待防止について	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
7	ペアレント・トレーニング事業指導者養成研修会	1 名
8	安全衛生推進者養成講習	1 名
8	内部監査員研修	1 名
10	強度行動障害支援者養成研修	1 名
10	青森県知的障害者福祉協会 人権倫理委員会研修	1 名
11	青森県知的障害者福祉協会 新任職員研修	1 名
12	青森県知的障害者福祉協会 中堅職員研修	1 名
2	虐待防止・権利擁護研修会	2 名

世田谷希望丘ホーム 令和 6 年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・ 指定介護老人福祉施設 ・ 介護保険法：介護老人福祉施設 ・ 老人福祉法：特別養護老人ホーム 第五条の三、第二十条の五に基づく	
開設日	平成 30 年 4 月 世田谷希望丘ホーム
住所	東京都世田谷区船橋六丁目 25-25
連絡先	03-5316-5388
定員	長期 110 名
入居対象者	要介護度 3 以上で 65 歳以上の方、特定疾患が認められた要介護度 3 以上の 40~64 歳の方、要介護 1~2 の特例措置該当の方
入居可能地域	世田谷区
営業日	年中無休 24 時間

《施設環境》

施設	
居室全個室(10.78~12.43 m ²)110 室	食堂各ユニット(39.6~45.3 m ²)
車両	
病院受診用 2 台(リフト付き)	

《世田谷希望丘ホーム 基本方針》

安定した黒字化の継続

地域福祉の拡大

令和 6 年度介護報酬改定への対応及び加算算定に向けての準備

品質向上(楽晴会ケアの徹底)

1【重点目標】

目標	取り組みおよび結果
満床状態の維持	月平均 105 名 達成率 95.89%
介護報酬改定・新規加算の算定	協力医療機関との連携、緊急時対応の見直し、ユニットケア施設管理者受講済み、生産性向上員会の設置など対応済み令和 6 年度新規加算について対象となる加算をすべて算定済み
人件費の削減	配置時間・人件費共に削減
感染対策の徹底	インフルエンザ・新型コロナ感染症が複数回発生するも拡大防止実施
品質向上	内部・外部研修の実施他、第三者評価の有効活用
地域との連携	認知症カフェ・地域自治会との交流、地域ボランティアの受入れを実施

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	596,088,818.00	625,155,644.00	633,926,421.00
経費合計	193,311,157.00	193,650,489.00	243,445,905.00
差引収益	402,777,661.00	431,505,155.00	390,480,516.00
総時間	159,439.00	163,613.86	155,911.90
時間当り	2,526.20	2,637.30	2,504.50

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
60 歳代～100 歳代		88.6 歳	24 名	84 名	25 名		
《利用区分》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 名	0 名	1 名	0 名	24 名	50 名	33 名	4.06
お客様 ADL		自立歩行 9 名 手介助 5 名 杖歩行 9 名 車いす 86 名					
年度の終結		総数 20 名内訳：他施設転居 3 名、逝去 12 名、入院 5 名					

・利用状況

《入所状況／人》													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
入所	3,100	3,221	3,107	3,172	3,253	3,263	3,356	3,225	3,311	3,263	3,017	3,375	3,221
《費用徴収基準月額》													
～30,000		～50,000		～100,000		～150,000		～200,000		～250,000			
0 名		0 名		18 名		29 名		59 名		4 名			

4【主なサービスメニュー】

(1)施設介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
ケアプラン	6 か月毎にケアプラン更新、状態変化時は適宜カンファレンス実施
ケアカンファレンス	長期入居者に対して年2回以上の実施、お看取りの方に対して3ヵ月毎の実施
ノーリフト推進	スライディングボードの使用 技術力の研鑽
行事・レク	大型の行事(夏祭りなど)6回開催、外部ボランティア(レク)49日、延べ84名、集団レク・個別レクを各ユニット毎に実施
改善活動	品質向上

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
医師との連携	嘱託医(内科)毎週水曜日、成城格蘭クリニック 信太暁子医師、往診医(精神科)月2回(日曜日の午前中)あんずクリニック古田信夫医師、往診医(皮膚科)月4回 いなだ皮膚科井澤医師、往診医(歯科)月4回 複数の医師 玉堤歯科
看護	受診の付き添いや家族の希望を医療側に伝え、必要に応じた処置検討を促す、各医院への紹介状依頼、緊急搬送後の情報提供、末期や必要時は回診時に指示受ける
劇薬など薬の管理	医務室管理庫で看護師が管理
改善活動	入院者を出さないよう、日々の健康管理に注力
看取り	精神面ケアを中心に、指示点滴、麻薬管理等の実施 11名のお看取り実施

・入居者の状況

既往症		
レビー小体型認知症	アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症
脳梗塞	脳出血	心疾患
混合型認知症	パーキンソン病	悪性新生物
貧血	便秘症	糖尿病
緑内障	白内障	その他(高血圧症、骨粗鬆症等)
≪上記に必要な処置等の状況≫		
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布、褥瘡処置
疼痛管理(頓服・湿布)	劇薬(抗精神病薬)管理	点滴管理
浣腸,摘便	採血	点眼
バルーンカテーテル管理	軟膏塗布、褥瘡処置	在宅酸素療法管理
血糖測定・インシュリン注射		

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)	
看護師による機能訓練の提供	セラピストの下で教育を受けている看護師が機能訓練を実施	
レク活動の中での運動の実施	レク活動の中で集団体操や脳トレ・嚥下体操などの機能訓練を提供	
外部サービスの活用	外部のセラピストなどに訪問して頂き、機能訓練を提供	
訓練内容		
歩行練習	関節可動域練習	座位保持練習
筋力強化・維持練習	リラクゼーション・ストレッチ	棒体操等集団体操参加促し
立位保持・バランス練習	車椅子自乗練習	移乗練習
嚥下機能練習	介助時協力動作の促し	体位交換・ポジショニング

(4)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
入居者又はそのご家族様からの相談	お客様の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者又はそのご家族様からの相談に応じるとともに、必要な助言その他の援助を行う
相談件数	・入所者との入所契約 25 名 ・入所希望者との面談、意思確認等のケースワーク 35 名 ・入所希望者家族との面談 40 名 ・ケースカンファレンス 4 月～3 月 96 件
その他活動	施設見学の問い合わせから案内まで、土日祝日問わず受入れを実施、併設事業所との連携により入居希望数の増加
緊急ショート対応	緊急ショートの受入れ実績無し

(5)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)			
味付けの改善		クレームのあった料理の味付けを調味料や量を変更して改善に繋げる(カレー・汁物)			
肉・魚の工夫		肉・魚類に酵素剤や改良剤を使用し食べやすく調理、その結果残菜減に繋がった			
備蓄食の見直しと入替え		備蓄食の 80%が期限を迎えたため、内容の見直しと入替えを実施(食数増と献立修正)			
食事形態					
食種	常食	一口大	キザミ	ソフト	ミキサー
食種割合(%)	25%	21%	34%	8%	12%

(6)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	(給食)お花見献立
5	(給食)端午の節句献立
6	(給食)大分県ご当地献立
7	夏祭り(200名ほど)/(給食)七夕献立
8	日色ともゑ・マリオネットコンサート(30)/(給食)土用の丑献立
9	敬老会(110)/(給食)敬老祝い膳・お月見献立
10	(給食)ハロウィン献立
11	(給食)九州ご当地献立
12	ハンドベルコンサート(31)/(給食)クリスマス献立・おおみそか献立
1	(給食)正月献立・七草粥献立
2	(給食)バレンタイン献立
3	(給食)ひなまつり献立
	施設計画(行事以外)
6	防災訓練・自然災害 BCP 訓練・消防設備点検
9	感染症 BCP 訓練
10	自然災害 BCP 訓練・福祉避難所開設訓練・炊き出し訓練
12	(夜間想定)防災訓練・消防設備点検
2	感染症 BCP 訓練

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
身体拘束等適正化・虐待防止検討委員会	月 1 回	施設長、ユニットリーダー、担当職員
感染対策・褥瘡対策委員会	月 1 回	看護師、担当職員
事故防止委員会	月 1 回	担当職員
生産性向上委員会	月 1 回	施設長、担当職員
防災委員会	年 6 回	施設長、担当職員
給食委員会	年 6 回	担当職員
安全衛生委員会	月 1 回	担当職員
行事委員会	月 1 回	担当職員
お看取りケア委員会	月 1 回	担当職員
広報委員会	年 6 回	担当職員
職員会議	月 1 回	全職員
管理者会議	月 2 回	部門責以上
フロアリーダー会議	月 1 回	施設長、施設長代理、フロアリーダー
ユニットリーダー会議	月 1 回	施設長、施設長代理、ユニットリーダー
ユニット会議	月 1 回	ユニットスタッフ、看護師、栄養士、相談員

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
きぼうカフェ(8/21)	夏バテ予防献立紹介・経口補水液作り(外部 13 名参加)
ほっとスクールと交流(9/18)	ちぎり絵作りに参加(外部 3 名参加)
中学生職場体験(9/24～9/26)	千歳中学校より 1 名参加
希望丘保育園と交流(10/3)	ソーラン節の披露(年長組参加)
中学生職場体験(10/28～10/30)	船橋中学校より 2 名参加
きぼうカフェ(10/30)	健康リズム体操(外部 16 名参加)
きぼうカフェ(11/20)	感染症予防講座～手洗い(外部 10 名参加)
希望丘保育園と交流(11/28)	お遊戯会の歌を披露(年長組参加)
きぼうカフェ(2/19)	介護相談会(外部 4 名参加)
ボランティア受入れ	ボランティア活動相談、登録受付、活動集計 ピアノ演奏・ギター演奏・習字・傾聴など年間 49 日、延べ 84 名の方を受け入れ

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	生活相談員 3 名	介護支援専門員 3 名	介護職員 44 名+2
看護師 5 名+1 名	管理栄養士 1 名	調理員 13 名	その他 11 名
目標	・ユニットリーダー人員の増強 ・派遣社員から正規雇用への切り替え強化		
方法	・SNS 活用や企業説明会への参加、紹介会社利用などの採用活動を行う		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	生活相談員 3 名	介護支援専門員 3 名	介護職員 46 名
看護師 7 名	管理栄養士 1 名	調理員 11 名	その他 11 名
結果	・ユニットリーダーの充足でできず未達成、次年度継続目標とする		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	ランクアップに向けた指導担当の配置と各種研修参加支援／ R1-1⇒R1-2 に 1 名、R1-3⇒R2 に 1 名の計 2 名ランクアップ

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 13 名	介護支援専門員 3 名	正看護師 4 名	准看護師 2 名
管理栄養士 1 名	調理師 5 名	防災士 2 名	
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
認知症介護基礎研修	e ラーニング受講 18 名		
介護職員初任者研修	受講 3 名		
介護職員実務者研修	受講 6 名		
その他	准介護福祉士 1 名		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
倫理・法令遵守に係る研修	3 月 1 日～31 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	法人理念	全員
5	(法)事故発生または再発防止に関する研修	全員
6	(法)緊急時対応に関する研修	全員
7	(法)感染症・食中毒の予防及び蔓延防止(外部講師)	全員
8	(法)身体拘束の防止及び虐待の防止(外部講師)	全員
9	(法)お看取りに関する研修(外部講師)	全員
10	(法)非常災害時の対応(炊き出し訓練)	全員
11	(法)事故発生または再発防止に関する研修(外部講師)	全員
12	(法)精神的ケアに関する研修	全員
1	(法)認知症及び認知症ケア(外部講師)	全員
2	(法)身体拘束の防止及び虐待の防止(外部講師)	全員
3	(法)プライバシーの保護の取り組み (法)倫理及び法令順守	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
4	世田谷区内施設長会 ※9 月・3 月同参加	1 名
5	東京都社会福祉協議会 総会 ※10 月・2 月同参加	1 名
6	世田谷区内感染対策向上加算地域連携 令和 6 年度第 1 回合同カンファレンス・訓練	1 名
6	ネスレ食事支援セミナー ～認知症の方への食支援アプローチ～	1 名

6	障害者雇用における公正採用に向けた精神障害の基礎知識	1 名
7	栄養士のための介護報酬改定と新しい栄養評価基準について	1 名
9	日本老年行動科学会 テーマ「RE：ケアと研究の出会い」	2 名
11	社会福祉法人が目指す地域包括ケアについて	1 名
12	レクリエーションセミナー研修	1 名
2	認知症介護基礎研修	6 名
2	ユニットリーダー研修	3 名
2	介護人材確保総合セミナー	1 名
2	ソーシャルワークアカデミー	1 名
2	東京都介護支援専門員現任研修 専門研修 I II	1 名

世田谷希望丘ホームショートステイ 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・指定介護老人福祉施設 ・介護保険法：短期入所生活介護 ・老人福祉法：特別養護老人ホーム 第五条の三、第二十条の五に基づく	
開設日	令和5年7月 世田谷希望丘ホーム ショートステイ
住所	東京都世田谷区船橋六丁目 25-25
連絡先	03-5316-5383
定員	短期 20 名
利用対象者	要介護度 1 以上で 65 歳以上の方
利用可能地域	世田谷区、杉並区
営業日	年中無休 24 時間

《施設環境》

施設	
居室全個室(10.78～12.43 m ²)10 室	食堂各ユニット(39.6～45.3 m ²)
車両	
病院受診用 1 台(リフト付き)	

《世田谷希望丘ホームショートステイ 基本方針》

B ユニットオープンによる収入増加
 黒字化に向けた基盤の構築
 品質向上(楽晴会ケアの徹底)

1【重点目標】

目標	結果
稼働率 90%の維持	79.8%の着地、12 月に B ユニットをオープンしたが人員が不足しており、満床 20 床を受け入れることが出来ない
経費削減	使い慣れた排泄用品をご持参頂くことで、経費の削減が出来ている
感染対策の徹底	利用の入れ替わり時などしっかりと清掃を行うことで感染者の発生を抑えることが出来ている
品質の向上	外国籍スタッフの方もおられることで言葉の課題はあるも日本人スタッフのフォローと能力を活かした業務体制の構築にて品質は維持、ケアマネよりは評価を頂けている

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	25,200,294.00	44,470,523.00	50,509,997.00
経費合計	10,269,879.00	14,495,751.00	15,738,340.00
差引収益	14,930,415.00	29,974,772.00	34,771,657.00
総時間	9,216.00	16,236.82	13,873.00
時間当り	1,620.00	1,846.10	2,506.40

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
60 歳代～100 歳代		87.0 歳	9 名	35 名	6 名		
《利用区分》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 名	0 名	6 名	10 名	11 名	10 名	7 名	3.02
お客様 ADL		自立歩行 10 名 手介助 8 名 杖歩行 11 名 車いす 15 名					
年度の終結		総数 8 名内訳：転居(他施設入居)4 名、死亡 1 名、3 ヶ月入院 3 名					

・利用状況

《入所状況／人》													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
	263	264	269	247	288	245	282	268	324	354	349	373	293.9
《費用徴収基準月額》													
～30,000		～50,000		～100,000		～150,000		～200,000		～250,000			
21名		6名		6名		5名		1名		0名			

4【主なサービスメニュー】

(1)短期入所生活介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
競合事業所との差別化	柔軟な送迎体制(午前中の迎え・午後の送り) 他事業所では逆になっている
満足度に拘る	サービス利用時のおもてなしを実施 送りの送迎時など、ご家族様とのしっかりとしたコミュニケーションの実施
経費の削減	普段より使用している排泄用品を持参して頂く ※排泄用品は施設提供でもあるが、ご利用者様にとってより慣れた用品を使用して頂く

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
医師との連携	基本的にそれぞれのご利用者様の主治医と必要に応じて連携 特養嘱託医(内科)成城格蘭クリニック 信太暁子医師 緊急時及び感染症蔓延時の相談先
看護	健康状況の確認、異変時の対応他、血糖測定・インシュリン注射など
改善活動	サービスの品質向上

・入居者の状況

既往症		
レビー小体型認知症	アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症
脳梗塞	脳出血	心疾患
混合型認知症	パーキンソン病	悪性新生物
貧血	便秘症	糖尿病
緑内障	白内障	その他(高血圧症、骨粗鬆症等)
《上記に必要な処置等の状況》		
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布、褥瘡処置
疼痛管理(頓服・湿布)	バルーンカテーテル管理	血糖測定・インシュリン注射
浣腸,摘便	在宅酸素療法管理	点眼

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)
機能訓練	特養と同様にセラピストの採用を進めている
訓練内容	
現在はなし	

(4)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
ケアマネージャーからの相談	世田谷区ではショートステイの申し込みが2カ月前からとなっており、ほとんどの利用申し込みが2カ月前に確定するも退院後など、急な依頼も空室状況に合わせ、受入れ出来ている
併設事業所との連携	特養入居相談からのショートステイでの待機、ショートステイ利用からの特養申し込み、小規模多機能型居宅介護に向いている利用者様のコラボケアセンターへの紹介など相互紹介が機能している

(5)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)			
ユニット配膳	目の前で盛り付けし、召し上がる量も加減して提供し残菜も減少				
朝食の選択	朝食の主食についてご飯、パン、パン粥と嗜好に応じて選択できる				
禁食対応(療養食)	ご利用者の処方薬やアレルギー、食事の意向に合わせて食材や食事の提供				
食事形態					
食種	常食	一口大	キザミ	ソフト	ミキサー
食種割合(%)	72%	20%	8%	0%	0%

(6)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	(給食)お花見献立
5	(給食)端午の節句献立
6	(給食)大分県ご当地献立
7	夏祭り(7)/(給食)七夕献立
8	日色ともゑ・マリオネットコンサート(2)/(給食)土用の丑献立
9	敬老会(10)/(給食)敬老祝い膳・お月見献立
10	(給食)ハロウィン献立
11	(給食)九州ご当地献立
12	ハンドベルコンサート(6)/(給食)クリスマス献立・おおみそか献立
1	(給食)正月献立・七草粥献立
2	(給食)バレンタイン献立
3	(給食)ひなまつり献立
施設計画(行事以外)	
6	防災訓練・自然災害 BCP 訓練・消防設備点検
9	感染症 BCP 訓練
10	自然災害 BCP 訓練・福祉避難所開設訓練・炊き出し訓練
12	(夜間想定)防災訓練・消防設備点検
2	感染症 BCP 訓練

(7)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
身体拘束等適正化・虐待防止検討委員会	月 1 回	施設長、ユニットリーダー、担当職員
感染対策・褥瘡対策委員会	月 1 回	看護師、担当職員
事故防止委員会	月 1 回	担当職員
生産性向上員会	月 1 回	施設長、担当職員
防災委員会	年 6 回	施設長、担当職員

広報委員会	年 6 回	担当職員
職員会議	月 1 回	全職員
管理者会議	月 2 回	部門責以上

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
きぼうカフェ(8/21)	夏バテ予防献立紹介・経口補水液作り(外部 13 名参加)
ほっとスクールと交流(9/18)	ちぎり絵作りに参加(外部 3 名参加)
中学生職場体験(9/24～9/26)	千歳中学校より 1 名参加
希望丘保育園と交流(10/3)	ソーラン節の披露(年長組参加)
中学生職場体験(10/28～10/30)	船橋中学校より 2 名参加
きぼうカフェ(10/30)	健康リズム体操(外部 16 名参加)
きぼうカフェ(11/20)	感染症予防講座～手洗い(外部 10 名参加)
希望丘保育園と交流(11/28)	お遊戯会の歌を披露(年長組参加)
きぼうカフェ(2/19)	介護相談会(外部 4 名参加)
ボランティア受入れ	ボランティア活動相談、登録受付、活動集計 ピアノ演奏・ギター演奏・習字・傾聴など年間 49 日、延べ 84 名の方を受け入れ

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	介護職員 8 名+4 名		
目標	B ユニットオープンの為、介護職員を採用		
方法	ハローワーク、WEB 求人、お仕事説明会等を利用した採用活動を行う		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	介護職員 9 名		
結果	介護職員 2 名増 12 月に B ユニートをオープンさせる		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーR1-2⇒R1-3 に 1 名ランクアップ ユニットリーダー登用 1 名 サブリーダー登用 1 名

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士4名	准介護福祉士1名	介護職員実務者研修2名	介護職員初任者研修0名
認知症介護基礎研修2名			
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
認知症介護基礎研修	1名受講		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
倫理・法令遵守に係る研修	3月1日～31日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	法人理念	全員
5	(法)事故発生または再発防止に関する研修	全員
6	(法)緊急時対応に関する研修	全員
7	(法)感染症・食中毒の予防及び蔓延防止(外部講師)	全員
8	(法)身体拘束の防止及び虐待の防止(外部講師)	全員
9	(法)お看取りに関する研修(外部講師)	全員
10	(法)非常災害時の対応(炊き出し訓練)	全員
11	(法)事故発生または再発防止に関する研修(外部講師)	全員
12	(法)精神的ケアに関する研修	全員
1	(法)認知症及び認知症ケア(外部講師)	全員
2	(法)身体拘束の防止及び虐待の防止(外部講師)	全員
3	(法)プライバシーの保護の取り組み (法)倫理及び法令順守	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
	本年度は参加実績無し、次年度は参加体制を整える	

世田谷トラスト希望丘事業所 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・都市型軽費老人ホーム ・老人福祉法：(都市型)軽費老人ホーム(老人福祉法第20条の6)	
開設日	平成30年4月 都市型軽費老人ホーム トラスト希望丘 開設
住 所	東京都世田谷区船橋六丁目25-25
連絡先	03-5316-5377
定 員	20名
利用対象者	孤立していて、生活するのに不安があり、身の回りのことができる人で、かつ、世田谷区に住民票のある60歳以上の方
利用可能地域	世田谷区
営業日	年中無休24時間

・施設環境

施設	
宿泊居室 8.24 m ² (平均)、20室	談話スペース 5.94 m ²
食堂 84.25 m ²	相談室(面談室)6.11 m ²
浴室 12.45 m ²	脱衣室 11.54 m ²

《世田谷トラスト希望丘事業所 基本方針》

お客様の特性に配慮した安心安全な住まいを提供すること

自主自立性を尊重し、相談、助言の援助を行うこと

居宅サービスの利用を協力し、自立した日常生活を過ごせるよう援助を行うこと

疾病時、緊急時の対応を行うこと

退去者を抑制し、満床を常とし、支出に気を配り、利益を確保すること

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
介護研修	法人内他施設と連携 介護援助を出来る限り各職員が実施出来るようにする
接遇・傾聴研修の実施	法人内他施設と連携 お客様の心身に不安な事が無いか、日々用紙観察を行い傾聴に心がける、職員のコミュニケーション能力向上に努める
お客様・多職種の連携	受診や服薬等の情報収集を行う 居宅サービス事業所と積極的に連携を図り情報共有を行う
法人内他施設へのご案内	自立が難しくなったと判断される場合、保証人様、ケアマネジャーと迅速に連携を図り、法人内別施設担当者へ相談する

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	40,138,625.00	41,011,600.00	44,627,782.00
経費合計	18,651,876.00	17,863,746.00	17,093,202.00
差引収益	21,486,749.00	23,147,854.00	27,534,580.00
総時間	11,328.00	12,009.00	11,506.30
時間当り	1,896.80	1,927.50	2,393.00

3【お客様の現況】

《利用者》 定員						
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》	
70 歳代～97 歳代		85.54 歳	1 名	19 名	0 名	
《利用区分》						
自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	平均介護度
2 人	3 人	4 人	8 人	2 人	1 人	1.36
お客様 ADL		自立歩行 10 名 杖歩行 3 名 歩行器 7 名				
年度の終結		総数 240 名内訳：転居(他施設入居)1 名、入居(病院より)1 名				

・利用状況

≪入所状況／人≫													
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用数	600	620	582	620	620	600	620	600	620	620	560	620	607
≪費用徴収基準月額≫ ※食費1日あたり1,490円 ※居室費1ヶ月あたり53,700円													
～100,000	～120,000	～140,000	～160,000	～180,000	～200,000	200,001～							
5名	11名	3名	1名	0名	0名	0名							

4【主なサービスメニュー】

(1)施設介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
個々人に合わせたケア	お一人それぞれお客様の生活リズムに合わせた生活支援を行い、ケアマネやご家族様と連携を取り現状維持できる様支援を行う
外部ケアマネとの連携	外部ケアマネによる介護サービス計画等に沿った支援を行う、状態の変化等常に連携を図る
改善活動	生活の改善、健康状態維持のための活動を促す
アクティビティ	個々に合わせた活動計画で機能維持⇒アクティビティ、生活リハビリ、朝・夕の体操、おやつレクレーション実施
行事	散策・個別支援・四季の花植え・夏祭り・敬老会・クリスマス会実施

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
訪問医との連携	訪問医がお客様の心身状況を把握し訪問看護指示書を作成
訪問看護との連携	訪問看護指示書に基づき、お客様の健康状態の観察、相談対応、緊急時の対応など行う
緊急対応	緊急時は拠点看護師と協力し対応にあたる
服薬管理	医師の指示があった場合は、お客様の服薬確認、服薬後の経過観察、報告の実施

・利用者の状況

既往症	既往症	既往症
高血圧	皮膚疾患	高次機能障害
糖尿病	パーキンソン病	その他
≪上記に必要な処置等の状況≫		
バイタルチェック	内服確認	軟膏塗布
		その他

(3)相談支援サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援	日常生活に必要な相談・助言を相談員兼務の施設長が実施 ADL 低下や認知症症状等により自立型施設での生活が難しくなった場合、ご家族・ケアマネジャーと連携を取りお客様に寄り添える施設の提案を行う

(4)食事サービス

取り組み	実施内容(結果)			
食事提供	お客様様の心身状況などにより自炊が困難な方に健康的に生活ができるよう、施設内の食堂で食事を提供			
栄養管理	拠点の管理栄養士の協力・管理の下、料理毎にレシピ(品質基準)を作成			
行事食	イベントや季節行事のお膳、敬老のお祝い膳などを提供			
お楽しみメニュー	お客様の意向を聞き職員が考案し、毎月とワクワクメニューの提供			
給食管理の状況				
食種	常食	きざみ食	ムース	ミキサー
食種割合(%)	100%	0%	0%	0%

(5)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加数
4	お花見(20)
5	母の日(20)
6	父の日(20)
7	七夕まつり(20)
8	夏祭り(20)
9	敬老会(20)、お月見(20)
10	ハロウィン(20)
11	書道教室(10)
12	クリスマス会(20)、
1	元旦式典(20)、書初め(10)
2	節分(20)
3	ひな祭り(20)
	施設計画(行事以外)
5	トラスト会
6	防災訓練
11	インフルエンザ予防接種
12	防災訓練
1	トラスト会

(6)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
管理者会議	月2回	理事、各施設長
職員会議	月1回	理事、各施設長、各ユニットリーダー
トラスト職員会議	月1回	施設長、職員

身体拘束・虐待防止委員会	月 1 回	各施設内担当職員
行事会議	年 6 回	各施設内担当職員
感染・褥瘡対策委員会	月 1 回	各施設内担当職員
事故防止委員会	月 1 回	各施設内担当職員
生産性向上委員会	月 1 回	各施設内担当職員
防災委員会	年 6 回	各施設内担当職員
給食委員会	年 6 回	各施設内担当職員

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容(結果)
希望カフェ(認知症カフェ)	希望丘ホーム・コラボと連携し参加実施 (8/21・10/30・11/20・2/19)
ホットスクール	希望丘保育園と連携(希望丘ホーム・コラボと連携)実施
職場体験	中学校 2 校の受け入れ実施(9/24～26・10/28～10/30)

6【職員状況】

(1)員配置目標

計画時の配置員と目標			
管理者 1 名	相談員 1 名	介護職員 3 名	ケアアシスタント 2 名

(2)員配置の活動結果

年度末現在の配置員(結果)			
管理者・相談員兼務 1 名	介護職員 1 名	ナイトアシスタント 3 名	ケアアシスタント 2 名
結果	相談員 1 名減(管理者兼務)、介護職員 2 名減、ナイトアシスタント 3 名増、 ※ナイトアシスタント派遣 2 名含む、介護職員 1 名次年度募集持越し		

7【研修・材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	現在常勤職員無し、キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導を行う予定(R1-1→R1-2)

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 3 名	初任者研修 1 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
初任者研修	自立型施設であるが介護に興味を持って頂ける様、身近な事から研修を実施		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
論理及び法令遵守	3 月(動画研修)
プライバシー保護の取り組み	3 月(動画研修)

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加数
4	楽晴会 法人理念	全員
5	事故発生または再発防止研修	全員
6	お看取りに関する研修	全員
7	感染症食中毒予防研修	全員
8	緊急時に関する研修	全員
9	身体拘束虐待防止委研修	全員
10	非常災害時研修(炊き出し訓練)	全員
11	プライバシー保護の取り組み	全員
12	認知症及び認知症ケア研修	全員
1	身体拘束虐待防止研修	全員
2	精神的ケアに関する研修	全員
3	論理及び法令遵守研修	全員

世田谷希望丘コラボケアセンター 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
・介護保険法：指定(介護予防)小規模多機能型居宅介護事業所 ・老人福祉法：5条に基づく	
開設日	平成30年4月 世田谷希望丘コラボケアセンター 開設
住所	東京都世田谷区船橋6丁目25番25号
連絡先	03-5316-5385
定員	定員25人(通いサービス定員15人、宿泊サービス定員9人)
利用対象者	要介護の認定を受けた方で、事業者と同一の市町村に住んでいる方
利用可能地域	世田谷区
営業日	年中無休 日中時間帯/6時00分~22時00分 通い8時30分~18時/訪問8時30分~18時/宿泊18時~8時30分 ※緊急時ならびに必要時においては柔軟に、通い、訪問および宿泊サービスを提供します

《施設環境》				
宿泊室 8.73 m ² 、10.55 m ² 9 室	食堂 77.33 m ²	浴室 6.6 m ²	脱衣室 8.3 m ²	
《訪問・送迎車両》				
リフト付き1台 (セレナ)				

【世田谷希望丘コラボケアセンター 基本方針】

- ・地域の方の「困っている」に寄り添い、地域の暮らしを支える。
- ・地域交流を深め、顧客満足度を高める。
- ・介護の「質」を上げる。

1【重点目標】

取り組み	結果
登録25名	現在11名(目標継続)
外部研修参加促し(職員一人当たり年間2講座以上)	新人職員に対する研修実施 職員1名参加
施設見学会実施(年3回)	7/17、2/21 2回実施
運営推進会議の充実	6回開催 合計29名の参加
顧客満足度向上のための施策実施	外出レクリエーション(近隣散歩を含む)の充実 室内イベントやレクリエーションの充実
認知症カフェの実施	希望丘ホームと協働で4回開催

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	33,320,822.00	53,031,555.00	38,515,315.00
経費合計	12,191,584.00	17,006,549.00	14,387,796.00
差引収益	21,129,238.00	36,025,006.00	24,127,519.00
総時間	15,995.00	21,541.62	17,267.00
時間当り	1,321.00	1,672.30	1,397.40

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
50 歳代～100 歳代		80.00 歳	3 名	8 名	24 名(内 8 名短期利用)		
《介護度》							
要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 人	1 人	1 人	1 人	3 人	3 人	2 人	2.90
お客様 ADL		自立歩行 2 名 手引介助 0 名 杖歩行 1 名 歩行器 6 名 車いす 2 名					
年度の終結		総数 13 名内訳：転居(他施設入居)2 名、入院 4 名、居宅 7 名					

・利用状況

≪利用状況／人≫													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通所	197	221	226	213	183	162	170	189	145	152	177	186	185.08
宿泊	79	112	116	97	91	90	112	122	84	78	110	111	100.16
訪問	72	49	69	63	41	34	35	32	29	29	30	31	42.83
≪利用料≫ 食費：朝食600円 昼食(8月～)610円 夕食600円 宿泊1泊3,500円													
0～8,000	～10,000			～30,000			～50,000			～100,000			100,001～
1人	0人			4人			0人			3人			3人

4【主なサービスメニュー】

(1)施設介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
居宅サービス計画書	居宅サービス計画書…6カ月ごとに見直し
サービス担当者会議	サービス担当者会議6カ月ごとに開催
モニタリング	モニタリング毎月ごとに評価実施 月8名～12名
通い	入浴、機能訓練、レクリエーション、軽作業、手芸、料理
訪問	配食、食事準備、服薬管理、排泄介助、掃除、健康観察
宿泊	就寝・起床に関する介助業務、排泄介助

(2)医療・看護サービス

取り組み	実施内容(結果)
健康管理	お客様のバイタル、受診時(緊急時)の対応、排便管理
服薬管理	お客様の服薬管理、精神科受診者の服薬後の経過観察、報告

・利用者の状況

既往症			
レビー小体型認知症		アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症
脳梗塞		脳出血	心疾患
混合型認知症		パーキンソン病	悪性新生物
腰椎圧迫骨折		変形膝関節症	間質性肺炎
その他(高血圧症、骨粗鬆症等)		統合失調症	高脂血症
≪ 上記に必要な処置等の状況 ≫			
バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布、褥瘡処置	疼痛管理(頓服・湿布)
劇薬(抗精神病薬)管理	点眼	浣腸、摘便	

(3)機能訓練サービス

取り組み	実施内容(結果)		
エアロバイク 歩行訓練	希望者にエアロバイクを提案・実施(足が軽くなった等効果あり) フロア周回(ADL を維持できた)		
訓練内容			
歩行訓練	エアロバイク実施	座位保持練習	
筋力強化・維持練習	骨盤の後傾位改善	生活習慣の改善	
角度維持・バランス練習	筋力・移乗能力の維持	歩行器練習	

(4)食事サービス

取り組み		実施内容(結果)			
食事提供		・管理栄養士が献立作成と食材発注し、職員が調理し提供 ・季節毎にメニューを工夫			
嚥下障害に配慮		個別に食形態を変えて提供、常食・刻み食・ソフト食・ミキサー食			
行事食		イベントや季節行事のお膳、敬老のお祝い膳などを提供			
給食管理の状況					
食種	常食	一口大	キザミ	ミキサー	
食種割合(%)	75.00%	8.33%	16.66%	0%	

(5)年間行事

月	主な行事 ※()内は参加人数
4	さくら祭り～葭根町会(5)、(給食)お花見献立
5	(給食)端午の節句献立
6	(給食)大分県ご当地献立
7	夏祭り～希望丘ホーム(5)、(給食)七夕献立
8	スイカ割り大会(8)、日色ともゑ・マリオネットコンサート(3)、(給食)土用の丑献立
9	資生堂美容教室(4)、敬老会(8)、(給食)敬老祝い膳・お月見献立、外食レク(2)
10	(給食)ハロウィン献立
11	(給食)九州ご当地献立
12	クリスマス会(7)、(給食)クリスマス献立・おおみそか献立
1	新年会(4)、(給食)正月献立・七草粥献立
2	節分会(6)、(給食)バレンタイン献立
3	(給食)ひなまつり献立
	施設計画(行事以外)
6	防災訓練・自然災害 BCP 訓練・消防設備点検
9	感染症 BCP 訓練
10	自然災害 BCP 訓練・福祉避難所開設訓練・炊き出し訓練
12	夜間想定防災訓練

(6)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
感染・褥瘡・喀痰吸引委員会	月 1 回	担当職員
身体拘束適正化等・虐待防止 検討委員会	月 1 回	担当職員
安全衛生委員会	月 1 回	担当職員
事故防止委員会	月 1 回	担当職員
生産性向上委員会	月 1 回	担当職員
給食委員会	隔月	担当職員
広報委員会	隔月	担当職員
防災委員会	隔月	担当職員
行事委員会	月 1 回	担当職員
職員会議	月 1 回	管理者
管理者会議	月 2 回	管理者
コラボ会議	月 1～2 回	管理者、出勤職員
地域運営推進会議	隔月	管理者、担当外部委員、ご家族、ご利用者

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
きぼうカフェ	(8/21)夏バテ予防献立紹介・経口補水液作り(外部 13 名参加)
ほっとスクールと交流	(9/18)ちぎり絵作りに参加(外部 3 名参加)
中学生職場体験	(9/24～9/26)千歳中学校より 1 名参加
希望丘保育園と交流	(10/3)ソーラン節の披露(年長組参加)
中学生職場体験	(10/28～10/30)船橋中学校より 2 名参加
きぼうカフェ	(10/30)健康リズム体操(外部 16 名参加)
きぼうカフェ	(11/20)感染症予防講座～手洗い(外部 10 名参加)
希望丘保育園と交流	(11/28 お遊戯会の歌を披露(年長組参加)
きぼうカフェ	(2/19)介護相談会(外部 4 名参加)

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者・生活相談員 1 名	計画作成担当 1 名	看護職員 1 名	介護職員 15 名
目標	利用者 3 名：介護職員 1 名+訪問職員の基準を満たす サービス体制強化加算 算定		
方法	お仕事説明会、インターネット(SNS)、社員紹介制度を利用した採用活動 地域活動時、求人の紹介実施		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者・生活相談員 1 名	計画作成担当 1 名	看護職員 1 名	介護職員 11 名
結果	サービス提供体制強化加算について、常勤比率が満たせなかったため、加算取得に届かず ※未達成分は次年度継続目標とする ハローワーク・地域ポスティング・WEB 求人(5 サイト運用)・紹介予定派遣・紹介や外国籍人材の確保など実施 その他、SNS 発信やハローワークのマッチングルームの活用、世田谷区と連携しての企業説明会への参加		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導担当の配置と各種研修参加支援キャリアラダー R1-1⇒R1-2 に 2 名、R1-3⇒R2 に 1 名の計 3 名ランクアップ

外国人職員の育成	介護技術を学びながら日本語のレベルアップ(日本語能力検定合格)を目標にしたが、本人の意思で受験せず
----------	---

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 7 名	社会福祉主事 1 名	介護支援専門員 2 名	初任者研修 1 名
看護師 1 名	基礎研修 1 名	特定技能 1 名	社会福祉士 1 名
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
介護支援専門員	介護職員 1 名		
認知症介護基礎研修	e ラーニング受講 1 名		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
倫理・法令遵守に係る研修	3 月 1 日～31 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	法人理念	全員
5	(法)事故発生または再発防止に関する研修	全員
6	(法)緊急時対応に関する研修	全員
7	(法)感染症・食中毒の予防及び蔓延防止(外部講師)	全員
8	(法)身体拘束の防止及び虐待の防止(外部講師)	全員
9	(法)お看取りに関する研修(外部講師)	全員
10	(法)非常災害時の対応(炊き出し訓練)	全員
11	(法)事故発生または再発防止に関する研修(外部講師)	全員
12	(法)精神的ケアに関する研修	全員
1	(法)認知症及び認知症ケア(外部講師)	全員
2	(法)身体拘束の防止及び虐待の防止(外部講師)	全員
3	(法)プライバシーの保護の取り組み (法)倫理及び法令順守	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
7	信頼関係を築くための接遇・マナー向上研修	1 名
9	認知症ケア研修 制度の理解「権利擁護について」	1 名

ソーシャルワークセンター 令和6年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
社会貢献事業 ・法人独自の要援護者への相談支援活動の拠点 ・生活困窮者・児童・ひとり親世帯・女性・ひきこもり・成年後見等の相談業務	
開設日	
平成22年9月	ソーシャルワークセンター、親子安心ネットワーク・みさわ、成年後見センター開設
令和2年11月	三沢こども宅食おすそわけ便開始
令和3年4月	三沢市(子育て支援課)と「三沢市対象児童等見守り強化事業」契約
令和4年9月	三沢市(広報広聴課)と「三沢市地域女性活躍推進事業」契約 ウィメンズライツみさわ活動開始
令和6年4月	三沢市(生活福祉課)と「三沢市ひきこもりサポート事業」契約 共同参画フォーラムユアサイド活動開始
住 所	三沢市桜町3丁目1-2
連絡先	0176-53-2231
定 員	定めなし
利用対象者	三沢市在住の生活困窮者、女性、こども、ひきこもり、子育て世帯等
利用可能地域	三沢市
営業日	月～金(楽晴会休日表に準ずる)営業時間 8:30～17:30

・施設環境

女性・子どもの居場所8畳	相談室5畳	キッチン6畳
物置8畳	トイレ2か所	事務所1カ所
車両2台		

《ソーシャルワークセンター 基本方針》

- ・こどもが安心・安全な環境で成長できるよう支援する
- ・女性の地位や権利を守れるよう支援する
- ・生活困窮者や生きづらさを抱えた人々の支援を行う
- ・ひきこもりの当事者、その家族をサポートする
- ・ソーシャルワークを実践する

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
親子安心ネットワーク・みさわの業務	親子安心ネットワーク・みさわ事業報告参照
ウィメンズライツみさわの業務	ウィメンズライツみさわ事業報告参照
共同参画フォーラムユアサイドの業務	共同参画フォーラムユアサイド事業報告参照
成年後見・任意後見の業務	任意成年後見 1 名、後見 1 名
生活に問題を抱えた人の支援、生活困窮者支援	生活困窮者に食糧支援・日用品支援を行った／青森県社会福祉協議会のしあわせネットを利用し経済的援助 12 件、制服支援 3 名を実施した／ホームレス、DV 被害者、その他状況に応じ支援した

3【お客様の現況】

≪相談利用者≫				
生活困窮	こども宅食	女性活躍	引きこもり	成年後見
117	1,915 世帯	473	260	9

・利用状況

≪利用状況／人≫													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
生活困窮	8	10	9	10	8	8	8	11	11	12	8	8	117
こども宅食	000	289	108	276	52	313	0	311	105	0	264	277	1995
制服教材支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
DV	4	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0	6
入居債務保証、ホームレス、触法者は居住支援法人、無料定額宿泊所の事業報告書を参照													

6【主なサービスメニュー】

(1) ソーシャルサービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援	生活困窮者、女性、こども、子育て世帯、ひきこもり当事者、その家族等の相談支援
情報交換	要保護児童対策地域協議会(子育て支援課主催)で要支援、要保護児童に関する情報交換、支援内容に関する協議を行う
家庭訪問等	必要に応じてを家庭訪問等行い、家庭状況を確認しイベントの参加を促し、その他、登校支援、食糧支援、通院支援等
女性活躍	女性が生活しやすい環境を整備するための活動、女性用品の配布

要保護児童対策地域協議会とは

要保護児童対策地域協議会とは、要保護児童の適切な保護、支援等を行うため、子どもに関係する機関等により構成される機関であり、児童福祉法により、地方公共団体は児童福祉法改正法にて設置努力義務に位置づけられた。

(2)その他運営管理：会議

名称	開催頻度	構成
桜町拠点ケース会議	ケース毎不定期	SW 職員 3 名 60 件
桜町拠点ミーティング	毎日	SW 職員 3 名

5【地域貢献活動】

ソーシャルワークセンターすべてが地域貢献であることを職員は自覚し、関係機関、市民に理解してもらうよう努力する

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標		
管理者 1 名(社会福祉士)	ソーシャルワーカー 1 名	相談員 1 名
目標	現状の業務効率化を図り現状の職員数でも相談対応件数増を目指す	
方法	PC スキルの向上や現状の業務体制の見直し	

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)		
管理者 1 名(社会福祉士)	ソーシャルワーカー 1 名	相談員 1 名
結果	PC スキルの向上や現状の業務体制の見直しで相談対応件数増	

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーを用い、スキルアップに向けた指導を行う
資格等	業務に必要な研修や資格習得への体制を取る

(2)資格取得目標

保持資格状況			
社会福祉士 1 名	主事 1 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
社会福祉士	申し込み準備中		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	9月4日
ハラスメント防止啓発活動	12月3日、3月4日
倫理・法令遵守に係る研修	4月28日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
4	(法)倫理及び法令順守	全員
6	接遇マナー研修	全員
7	夏休み期間の子どもの見守りについて	全員
10	(法)ハラスメントについて	全員
1	職場の安全衛生	全員
3	事故発生予防の KYT	全員

・外部 参加研修

月	研修名	参加人数
7	配偶者暴力相談支援センター実務者等連絡協議会	2名
11	こどもの貧困対策ネットワーク会議	3名
2	(特営)ふうどばんく東北 AGAIN あがいん視察研修	2名
2	初めての PC スキル入門セミナー(広報広聴課主催)	2名

三沢市支援対象児等見守り強化事業 親子あんしんネットワーク令和6年度事業報告

1【重点目標の結果】

目標	実施内容(結果)
要保護児童対策地域協議会	参加回数 12 回(子育て支援課主催)
こども宅食おすそわけ便	年 6 回開催(配達、受け取り、パントリー)
長期休暇中の子どもたち	フリースペース(子ども食堂)を開催

2【年度報告および決算報告表】

月 日	活動と各予算	参加人数
5 月 25 日(土)	三沢こども宅食おすそわけ便	配達 49 世帯、事業所受取 172 世帯 パントリー68 世帯
6 月 29 日(土)	中高生イベント	80 名 (配達 28 名)
7 月 27 日(土)	三沢こども宅食おすそわけ便	配達 42 世帯、事業所受取 174 世帯 パントリー60 世帯
7/31、8/6、8、16、 20、22計6回	フリースペース (子ども食堂)	参加名 22 名 延(配達含)108 食
8 月 31 日(土)	ミニおすそわけ便(おむつ、おしりふき、ティッシュペーパー等)	52 世帯
9 月 21 日(土)	三沢こども宅食おすそわけ便	配達 44 世帯、事業所受取 178 世帯 パントリー91 世帯
11 月 30 日(土)	三沢こども宅食おすそわけ便	配達 55 世帯、事業所受取 175 世帯 パントリー81 世帯
12 月 20 日(土)	ミニおすそわけ便(絵本、ケーキ、ペットボトル米、ベーコン)	受取 90 世帯、配達 15 世帯(ケーキは大家族には 2 個渡した)
12/25、1/7、10 計3回	フリースペース (子ども食堂)	参加 5 名 (配達含)84 食
2 月 1 日(土)	三沢こども宅食おすそわけ便	配達 39 世帯、事業所受取 145 世帯 パントリー80 世帯
3 月 30 日(土)	三沢こども宅食おすそわけ便	配達 59 世帯、事業所受取 154 世帯 パントリー64 世帯
	合計	1,807 世帯、中高生 108 人 フリースペース 192 名 子ども延 3911 名

※支援内容の概要

名称	取り組み内容
三沢こども宅食 おすそわけ便	社会的に孤立しがちな子育て世帯に定期的に食品等(企業や個人からの寄付)を届ける活動 配達、指定場所、パントリーと受取にも配慮して活動
パントリー	楽晴会の「パントリー」とは、三沢こども宅食おすそわけ便で申込なく食や物資の支援が受けられる場所(活動)のこと
フリースペース (子ども食堂)	様々な企業より寄付のあった食材を活用してお弁当を作り、センター内で食堂を開催し、またひとり親家庭・子育て家庭に配布する活動
中高生イベント	不安や困難を抱える女子生徒へ生理用品を配布する支援と、男子生徒にはアンケートを取り、女性の生理に対する認知度を把握する活動

3 支援事例の報告(まとめ)

名称	取り組み内容
三沢こども宅食おすそわけ便	年 6 回開催 詳細は※支援内容の説明を参照
要保護児童対策地域協議会	参加⇒(12 回) 保健指導を除く SW センターが関わる対象児童 32 名
不登校児の訪問支援	15 名
家庭訪問	要保護児童を含む対象児童の家庭訪問を定期的実施 不登校児及び虐待を受けていると思われる児童 19 名対象
中高生限定イベント	年 1 回開催 中高生の女子には女性用品と文房具を、男子には文房具を用意し、時期に応じてファミチキバンズ、川守田の調理パンと一緒に配布、目的は女性用品が買えない生徒のため、また、男子には女性の生理について少しでも理解を深めるために開催
おむつ必要な世帯限定のおすそわけ便	SW センターにておむつを必要とする世帯限定に、おむつ、お尻ふき、日用品等を一緒に配布する窓口おすそわけ便を開催
おすそわけ便	SW センターにて、弘前で絵本を子どもたちに配る団体を立ち上げている駒井さんから提供された 100 冊の絵本とキューピー(株)様よりベーコン、(株)KAWACHO RICE 様より頂いたペットボトル米(426 本)にケーキを組み合わせしておすそわけ便を開催
フリースペース(子ども食堂)	フリースペース(子ども食堂)を夏期・冬期休暇中で給食が食べられない子及び不登校の子どもたちに子ども食堂を開催
食支援	「食支援」より 8 月から 3 月までの食材費として 297 万円の食材費用の提供を受け 6 年度のこども宅食おすそわけ便に活用

ウィメンズライツみさわ 令和6年度事業報告

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
女性活躍推進	・ 女性の問題に関する相談支援を実施 ・ コロナ禍の対策によって様々な制限を受け、人と接することへの難しさを抱えた女性が社会生活や自立をするための支援として講演会を開催

2【ウィメンズライツみさわ イベント活動年間表】

月 日	イベント名	活動	準備数	配布人数
4 月	小中学校へ生理用品配布案内	女性用品配布	100	65
5 月 25 日(土)	ウィメンズライツ相談室	女性用品配布	250	215
6 月 29 日(土)	中高生限定イベント開催	女性用品配布	0	40
7 月 27 日(土)	ウィメンズライツ相談室	女性用品配布	210	180
8 月 2 日(金)	地域の社会福祉資源を活用し支援に至った DV 被害者について	事例発表		
8 月 31 日(土)	ウィメンズライツミニ相談室	女性用品配布	0	52
9 月 21 日(土)	ウィメンズライツ相談室	女性用品配布	200	219
10 月 12 日(土)	女性の健康ライフ講演会	絆創膏	200	100
11 月 30 日(土)	ウィメンズライツ相談室	女性用品配布	150	231
2 月 1 日(土)	ウィメンズライツ相談室	女性用品配布	250	221
3 月 1 日(土)	講座開催	マスク配布	60	14
3 月 29 日(土)	ウィメンズライツ相談室	女性用品配布	250	214

※事情によりイベントに来られなかった方や直接相談された方にも必要に応じ配布を行っております。

3 支援事例の報告(まとめ) 【相談実数 39 名、延べ相談人数 473 名】

取り組み	実施内容
DV 被害の相談	6 件(離婚成立 1 件、暮らしサポートセンター入居中 1 件、法テラスに相談中 1 件、自宅へ戻った 2 件)
住居支援	2 件(市内 1 件、緊急連絡先登録 1 件)
受診同行支援	2 件(他市町村 2 件)
訪問	8 件(定期的な訪問を継続中)
生活困窮相談	4 件(しあわせネットへ繋ぐ 2 件、生活用品食料支援 2 件)
相談対応	4 件(法テラスへ繋ぐ 2 件、児童デイサービスへ繋ぐ 1 件、匿名 1 件)
サロン	『ほめ上手になれる HAPPY 子育てサロン』を開催(年 1 回)

共同参画フォーラム「ユアサイド」令和6年度事業報告

1【重点目標の結果】

目標	実施内容(結果)
フリースペース 人生食堂	フリースペース人生食堂で弁当提供を実施
おすそわけ便	おすそわけ便でワークサポート実施
長期休暇中の子どもたち	長期休暇中の子どもたちにフリースペース(こども食堂)開催時に対象者も参加しワークサポートを実施
就労体験	ファミリーマートフードドライブ回収(就労体験)実施
アンケート実施	ひきこもりの実態把握ためにアンケートを実施

※支援内容の概要

名称	取り組み内容
フリースペース (人生食堂)	フリースペース(人生食堂)…様々な企業より寄付のあった食材を活用してお弁当を作り、センター内で食堂を開催し、ひきこもり状態にある家庭・ひきこもり状態にある者と同居し生活困窮の家庭に配布する活動
ワークサポート	ワークサポートは就労を希望するものの仕事に就くことに不安があったり、就労継続することが困難な者に対し、事業所で就労体験や社会参加活動の機会や場所を提供することにより、「働きたいけど、働きにくい人」たちが、就労にむけて踏み出す一歩を支援する活動（応援付き就労体験活動）

2 支援事例の報告(まとめ)

取り組み	実施内容
ワークサポート①	こども宅食おすそわけ便で荷物搬入作業を8回行った
ワークサポート②	フリースペース子ども食堂で後片付け作業を8回行った
ワークサポート③	ファミリーマートフードドライブで段ボール回収作業を3回実施
家庭訪問	フリースペース(人生食堂)毎月第2火曜日に、ひきこもり・不登校状態にある家庭訪問を定期的に実施
相談対応	家庭訪問等で相談を受け各関係機関と連携して支援 ひきこもり状態にあると思われる者11名
アンケート	民生委員を対象にひきこもりの実態把握のためのアンケートを実施

「暮らしサポートセンター・三沢」 無料低額宿泊所

令和 6 年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
無料低額宿泊所 ・社会福祉法第 68 条の 2 の規定に基づく ・社会福祉法第 2 条第 3 項第 8 号に規定する生計困難な方に無料又は低額な料金で一時的な居住の場の提供を行い自立した日常生活を営めるように支援を行う事業所	
開設日	令和 4 年 6 月 無料低額宿泊所開設
住 所	青森県三沢市東町 4-4-7
連絡先	0176-51-0585
定 員	7 名
利用対象者	生活困窮者等・居住要困難者・生活保護受給者・DV 被害者・触法者
利用可能地域	三沢市近郊
営業日	年中無休 24 時間 営業日時間:月~土 AM8:30~PM18:00 日 AM 8:30~9:30

・施設環境

施設			
居室 7.93 m ³ 2 室、8.69 m ³ 1 室、7.45 m ³ 2 室、12.42 m ³ 1 室、8.97 m ³ 1 室			
食堂・ホール	13.24 m ³	食堂・ホール	25.80 m ³
車両			
乗用車 1 台			

《暮らしサポートセンター三沢 無料低額宿泊所 基本方針》

入居者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、居住支援や関係機関との連携を図り必要な支援行う。

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
自立支援	個別支援計画の作成・運用・・・17名
自立準備ホーム運営	保護観察処分者の利用・・・2名

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	2,883,991.00	3,394,169.00	4,458,330.00
経費合計	6,210,151.00	6,252,898.00	4,453,886.00
差引収益	-3,326,160.00	-2,858,729.00	4,444.00
総時間	2,454.00	3,061.66	2,223.00
時間当り	-1,355.40	-933.70	2.00

3【お客様の現況】

《利用者》 定員							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
20 歳代～100 歳代		50.5 歳	16 名	1 名	17 名		
《主な利用居住地》							
三沢市	おいらせ町	七戸町	東北町	八戸市	三戸町	黒石市	その他
3	2	1	1	6	1	1	2
年度の終結		賃貸：8 名 社員寮：2 名 知人宅：1 名 その他：5 名(福祉移設)					

・利用状況

《利用状況／人》													
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入居	6	5	6	7	7	7	4	5	2	2	4	1	4.67
《利用料》 月当たり													
居室利用費		食費(朝)		食費(夕)		水道光熱費・日用品費・共益費・暖房費							
30,000 円		6,000 円		16,500 円		27,500 円							
《利用者属性》													
居住要困難者(ホームレス)(7名)							触法者(4名 内1名自立準備ホーム利用)						
派遣切り		(3名)		DV 被害		(2名)		その他		(1名)			

4【主なサービスメニュー】

(1)施設介護サービス

取り組み	実施内容(結果)
相談支援サービス	自立するために必要な(生活・居住・就労)計画の作成を行い、行政・他職種との連携を図り、支援又は助言の実施
計画書作成	ケース属性・他職種との連携・調整
計画書作成ケース内容	
ケース属性	他職種との連携先・調整・面談
派遣切り	三戸地域自立支援窓口、行政、居住支援、就労支援
居住要困難者・ホームレス	八戸市生活福祉課、行政
触法者	三沢市生活福祉課、宮城県検察庁古川支部行政
居住要困難者・ホームレス	八戸市生活福祉課、行政、居住支援
居住要困難者・入院中 派遣切り	八戸市民病院、地域医療連携室、八戸市生活福祉課、居住支援
居住要困難者・ホームレス	三沢市生活福祉課、就労機関
居住要困難者・ホームレス	三沢市生活福祉課、居住支援
居住要困難者・ホームレス	三沢市生活福祉課、就労関係機関
居住要困難者・ホームレス	八戸市生活福祉課、居住支援
DV	関係施設・居住支援
居住要困難者・ホームレス	三戸地方福祉事務所、関係市町村
DV	関係市町村(行政)、警察署・医療機関・居住支援・ソーシャルワークセンター

(2)食事サービス

取り組み	実施内容(結果)
食事提供	希望者に朝食、夕食を準備提供 朝食：908食 ¥181,600 夕食：896食 ¥492,800
給食会議	2カ月に1回(提供食材内容、費用など)

(3)その他運営管理：会議

開催日	月日	構成
職員会議	月1回	拠点長・全職員
給食会議	2カ月に1回	拠点長・全職員
カンファレンス	月1回	拠点長・SW

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容
こども宅食事業参加	5月、7月、9月、11月、1月、3月(各回1名参加)

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標		
管理者 1名 兼務	相談支援員 1名 兼務	アシスタント 1名
目標	働きやすい現場づくり 有給取得：3日以上連続取得	
方法	居住支援法人との共同業務整理を行い、スタッフ個々で不在が可能な時間を拡大する	

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)		
管理者 1名 兼務	相談支援員 1名 兼務	アシスタント 1名
結果	業務整理の不足にて、3日以上連続取得に至れず	

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

計画	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	至れず同ランクにて経過

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 1名	社会福祉士主事 1名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
-	-		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	9月4日
ハラスメント防止啓発活動	12月3日、3月4日
倫理・法令遵守に係る研修	4月28日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	内部 実施研修	参加人数
4	〈法定研修〉倫理及び法令遵守	全員
5	〈法定研修〉虐待予防、身体拘束	全員
6	新型コロナ感染防止対策研修	全員
	ノロウイルス感染対策	全員
7	ハラスメント防止研修	全員

・外部 参加研修

月	外部 参加研修	参加人数
7	青森県居住支援協議会「居住支援部会・住環境部会」合同会議	2
10	令和6年度司法福祉専門職研修	1
11	北海道・東北地方自立準備ホーム勉強会・研修会	1

暮らしサポートセンター・三沢 居住支援法人

令和 6 年度事業報告

《事業所基本情報》

施設サービス種別	
無料低額宿泊所 居住支援法人 社会福祉法人 楽晴会 ※居住支援法人とは住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進し実施する事業であり、通称「住宅セーフティネット法」に基づき、居住支援を行う法人として都道府県が指定するものです	
開設日	令和 4 年 4 月 1 日 開設
住 所	青森県三沢市東町 4-4-7
連絡先	0176-51-0585
定 員	7 名
利用対象者	住宅確保要配慮者
利用可能地域	三沢市、おいらせ町、六戸町、三沢市近郊
営業日	年中無休 24 時間 営業日時間：月～金 AM 8：30～17：30

《暮らしサポートセンター・三沢 居住支援法人 基本方針》

- ・住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅へ円滑な入居を促進する為の取り組みの実施
- ・行政・法人・民間賃貸不動産の資源を活かし、要配慮者等の生活の対応支援
- ・法人の資源を活かし、本人の属性に対応した、自立支援援助

1【重点目標】

目標	実施内容(結果)
三沢市近郊の不動産会社等への居住支援法人周知の為のセミナー開催を行い関係構築に努める	・ あんしん賃貸住宅登録不動産会社等への挨拶を実施 ・ 三沢市全体の不動産会社挨拶回りを行う ・ 三沢市行政との不定期開催の意見交換会実施 (12/17 三沢市福祉センターにて開催)

2【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	2,759,284.00	2,600,000.00	3,130,122.00
経費合計	940,896.00	994,414.00	986,854.00
差引収益	1,818,388.00	1,605,586.00	2,143,268.00
総時間	1,912.00	1,960.00	1,948.00
時間当たり	950.80	819.2	1,103.00

3【お客様の現況】

《相談利用者》 定員なし							
利用者年齢		平均	男性	女性	《うち新規利用者》		
20 歳代～80 歳代		70.38 歳	23 名	15 名	33 名		
《主な利用居住地》							
三沢市	おいらせ町	六戸町	東北町	八戸市	その他		
20	4	1	1	6	6		
《相談利用状況／38 人》							
生困窮者	障がい者	DV 被害者	触法者	ホームレス	高齢者	その他	
12	2	2	2	3	13	4	

・利用状況

《相談状況／33人》													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
相談	1	2	3	3	2	6	5	4	1	2	2	2	2.75
《一時保護からの入所実績(属性の重複含む)／17人 無料低額宿泊所》													
生困窮者	障がい者	DV被害者	触法者	ホームレス	高齢者	その他							
7	0	2	4	3	0	1							

4【主なサービスメニュー】

(1)施設介護サービス

取り組み	実施内容(結果)		
相談支援サービス	自立するために必要な(生活・居住・就労)計画の作成を行い、行政・他職種との連携を図り、支援又は助言の実施		
相談者就労支援実績	人材派遣登録 2 名		
主な入居先種類			
障がい者施設	有料高齢者住宅	社員寮	民間賃貸住宅
市、町営住宅	無料低額宿泊所		
他事業所との連携			
三沢市生活福祉課		八戸市生活福祉課	
おいらせ町 行政・社協・包括		三戸地方福祉事務所	
青森県保護観察所		障がい者相談支援センター	
青森県地域定着支援センター		その他 東北町、十和田市、行政、社協	

(2)年間行事

月	主な行事
4	各自治体、社会福祉関係、建設課、社協等への挨拶回り
5	各自治体、社会福祉関係、建設課、社協等への挨拶回り
6	各自治体、社会福祉関係、建設課、社協等への挨拶回り
7	居住支援セミナー(行政等対象)
8	居住支援セミナー(不動産関連)
2	行政等への年度報告挨拶
	施設計画(行事以外)
	無料低額宿泊所、施設計画と同様

(3)その他運営管理：会議 無料低額宿泊所と同様

名称	開催頻度	構成
職員会議	月1回	拠点長・全職員
給食会議	年6回	拠点長・全職員
カンファレンス	月1回	拠点長・SW

5【地域貢献活動】

取り組み	実施内容(結果)
こども宅食事業参加	9月、12月、1月、3月(各回1名参加)

6【職員状況】

(1)人員配置目標

計画時の配置人員と目標			
管理者 1 名	相談支援員 2 名		
目標	有給取得：3 日以上連続取得		
方法	無料低額宿泊所との共同業務整理を行い、スタッフ個々で不在が可能な時間を拡大する		

(2)人員配置の活動結果

年度末現在の配置人員(結果)			
管理者 1 名	相談支援員 2 名		
結果	業務整理の不足にて、3 日以上の連続取得に至れず		

7【研修・人材育成】

(1)人材育成

取り組み	実施内容(結果)
法定研修	研修年間表に記載
キャリアランクのアップ	キャリアラダーをもとにランクアップの指導を行ったが、至れず同ランクにて経過、次年度へ継続

(2)資格取得目標

保持資格状況			
介護福祉士 1 名	主事 1 名		
目標の取得資格名	実施内容(結果)		
現状維持	現状維持		

(3)職場環境の向上研修

計画	実施月日
ハラスメント防止研修	9 月 4 日
ハラスメント防止啓発活動	12 月 3 日、3 月 4 日
倫理・法令遵守に係る研修	4 月 28 日

(4)研修年間表

・内部 実施研修

月	研修名 ※(法)は法定研修	参加人数
11	普通救命講習	1

・外部 実施研修

月	研修名	参加人数
7	青森県居住支援協議会「居住支援部会・住環境部会」合同会議	2
11	居住支援セミナー「住まいの課題を地域連携で解決～居住支援の重要性を知る」ZOOM 研修	1
12	【令和 6 年度居住支援研修会】ZOOM 研修	1
3	『令和 6 年度 居住支援全国サミット』ZOOM 研修	1